

改	正	後																												
別紙																														
森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式 試行実施要領																														
第 1 ～ 第 3 （略）																														
第 4 本方式における留意点 （略）																														
1 （略）																														
2 工種の適用範囲 本方式の基準による積算の各工種の適用範囲は、次のとおりとする。 （1） 「1 章. 土工」の適用範囲 （略） ①・② （略） ③ 路体（築堤）盛土																														
<table><tr><th colspan="2">積算条件</th><th colspan="2">適用可否</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>施工幅員</th><th>施工数量</th><th>山地治山土工に 該当しない場合</th><th>山地治山土工に 該当する場合</th></tr><tr><td>2.5m未満</td><td>－</td><td>○</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>2.5m以上 4.0m未満</td><td>－</td><td>○※</td><td>×</td><td>※ 林道工事：×</td></tr><tr><td rowspan="2">4.0m以上</td><td>20,000 m³未満</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>20,000 m³以上</td><td>○</td><td>×</td><td></td></tr></table>			積算条件		適用可否		備考	施工幅員	施工数量	山地治山土工に 該当しない場合	山地治山土工に 該当する場合	2.5m未満	－	○	×		2.5m以上 4.0m未満	－	○※	×	※ 林道工事：×	4.0m以上	20,000 m³未満	×	×		20,000 m³以上	○	×	
積算条件		適用可否		備考																										
施工幅員	施工数量	山地治山土工に 該当しない場合	山地治山土工に 該当する場合																											
2.5m未満	－	○	×																											
2.5m以上 4.0m未満	－	○※	×	※ 林道工事：×																										
4.0m以上	20,000 m³未満	×	×																											
	20,000 m³以上	○	×																											
④ 路床盛土																														
<table><tr><th colspan="2">積算条件</th><th colspan="2">適用可否</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>施工幅員</th><th>施工数量</th><th>山地治山土工に 該当しない場合</th><th>山地治山土工に 該当する場合</th></tr><tr><td>2.5m未満</td><td>－</td><td>○</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>2.5m以上 4.0m未満</td><td>－</td><td>○※</td><td>×</td><td>※ 林道工事：×</td></tr><tr><td rowspan="2">4.0m以上</td><td>20,000 m³未満</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>20,000 m³以上</td><td>○</td><td>×</td><td></td></tr></table>			積算条件		適用可否		備考	施工幅員	施工数量	山地治山土工に 該当しない場合	山地治山土工に 該当する場合	2.5m未満	－	○	×		2.5m以上 4.0m未満	－	○※	×	※ 林道工事：×	4.0m以上	20,000 m³未満	×	×		20,000 m³以上	○	×	
積算条件		適用可否		備考																										
施工幅員	施工数量	山地治山土工に 該当しない場合	山地治山土工に 該当する場合																											
2.5m未満	－	○	×																											
2.5m以上 4.0m未満	－	○※	×	※ 林道工事：×																										
4.0m以上	20,000 m³未満	×	×																											
	20,000 m³以上	○	×																											
⑤・⑥ （略）																														
（2）～（4） （略）																														
3～8 （略）																														
第 5 （略）																														
（参考資料） （略）																														

現	行																												
別紙																													
森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式 試行実施要領																													
第 1 ～ 第 3 （略）																													
第 4 本方式における留意点 （略）																													
1 （略）																													
2 工種の適用範囲 本方式の基準による積算の各工種の適用範囲は、次のとおりとする。 （1） 「1 章. 土工」の適用範囲 （略） ①・② （略） ③ 路体（築堤）盛土																													
<table><tr><th colspan="2">積算条件</th><th colspan="2">適用可否</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>施工幅員</th><th>施工数量</th><th>山地治山土工に 該当しない場合</th><th>山地治山土工に 該当する場合</th></tr><tr><td>2.5m未満</td><td>－</td><td>○</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>2.5m以上 4.0m未満</td><td>－</td><td>○</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">4.0m以上</td><td>10,000 m³未満</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>10,000 m³以上</td><td>○</td><td>×</td><td></td></tr></table>		積算条件		適用可否		備考	施工幅員	施工数量	山地治山土工に 該当しない場合	山地治山土工に 該当する場合	2.5m未満	－	○	×		2.5m以上 4.0m未満	－	○	×		4.0m以上	10,000 m³未満	×	×		10,000 m³以上	○	×	
積算条件		適用可否		備考																									
施工幅員	施工数量	山地治山土工に 該当しない場合	山地治山土工に 該当する場合																										
2.5m未満	－	○	×																										
2.5m以上 4.0m未満	－	○	×																										
4.0m以上	10,000 m³未満	×	×																										
	10,000 m³以上	○	×																										
④ 路床盛土																													
<table><tr><th colspan="2">積算条件</th><th colspan="2">適用可否</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>施工幅員</th><th>施工数量</th><th>山地治山土工に 該当しない場合</th><th>山地治山土工に 該当する場合</th></tr><tr><td>2.5m未満</td><td>－</td><td>○</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>2.5m以上 4.0m未満</td><td>－</td><td>○</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">4.0m以上</td><td>10,000 m³未満</td><td>×</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>10,000 m³以上</td><td>○</td><td>×</td><td></td></tr></table>		積算条件		適用可否		備考	施工幅員	施工数量	山地治山土工に 該当しない場合	山地治山土工に 該当する場合	2.5m未満	－	○	×		2.5m以上 4.0m未満	－	○	×		4.0m以上	10,000 m³未満	×	×		10,000 m³以上	○	×	
積算条件		適用可否		備考																									
施工幅員	施工数量	山地治山土工に 該当しない場合	山地治山土工に 該当する場合																										
2.5m未満	－	○	×																										
2.5m以上 4.0m未満	－	○	×																										
4.0m以上	10,000 m³未満	×	×																										
	10,000 m³以上	○	×																										
⑤・⑥ （略）																													
（2）～（4） （略）																													
3～8 （略）																													
第 5 （略）																													
（参考資料） （略）																													

森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式の基準

1章 土工

① 土量変化率

1～3（略）

4. 土質区分の対応

（略）

表4. 1 適用土質（1）

施工パッケージ 区分 分類名称	掘削	床掘り・ 埋戻し	積込（ル- ズ）	人力積込	押土（ル-ズ）
レキ質土	土砂	土砂	土砂	土砂	土砂
砂・砂質土					
粘性土					
岩塊・玉石	岩塊・ 玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石
軟岩Ⅰ （A）	土砂	—	土砂	土砂	土砂
軟岩Ⅰ （B）	軟岩	—	土砂	—	土砂
軟岩Ⅱ					
中硬岩	硬岩	—	破碎岩	—	破碎岩
硬岩Ⅰ・Ⅱ				—	
転石	—	—	—	—	—

5（略）

② 土工

1・2（略）

3. 施工パッケージ

3－1・3－2（略）

3－3 整地

（1）（略）

森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式の基準

1章 土工

① 土量変化率

1～3（略）

4. 土質区分の対応

（略）

表4. 1 適用土質（1）

施工パッケージ 区分 分類名称	掘削	床掘り・ 埋戻し	積込（ル- ズ）	人力積込	押土（ル-ズ）
レキ質土	土砂	土砂	土砂	土砂	土砂
砂・砂質土					
粘性土					
岩塊・玉石	岩塊・ 玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石	岩塊・玉石
軟岩Ⅰ （A）※		—	土砂	軟岩	土砂
軟岩Ⅰ （B）	軟岩	—	土砂	軟岩	土砂
軟岩Ⅱ					
中硬岩	硬岩	—	破碎岩	中硬岩	破碎岩
硬岩Ⅰ・Ⅱ				硬岩	
転石	—	—	—	—	—

※軟岩Ⅰ（A）は、積上げ積算によること。

5（略）

② 土工

1・2（略）

3. 施工パッケージ

3－1・3－2（略）

3－3 整地

（1）（略）

(2) 代表機労材規格
下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表3. 21 整地 代表機労材規格一覧

作業区分	項目		代表機労材規格	備考
残土受入地での処理	(略)		(略)	(略)
敷均し (ルーズ)	機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）〕 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ）	賃料
		K2	-	
		K3	-	
	労務	(略)		
	材料	(略)		
	市場単価	(略)		

3-4~3-7 (略)
3-8 人力積込み
(1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表3. 30 人力積込み 積算条件区分一覧
(積算単位：m³)

土質等区分
土砂
岩塊・玉石
(削る。)
(削る。)
(削る。)
(削る。)
(削る。)

(注) 1. 上表は、仮置きされた土砂、岩塊・玉石を人力により直接積込むまでの作業に必要な全ての労務・材料費（損料等を含む）を含む。
2 (略)

(2) (略)

3-9~3-11 (略)

(2) 代表機労材規格
下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表3. 21 整地 代表機労材規格一覧

作業区分	項目		代表機労材規格	備考
残土受入地での処理	(略)		(略)	(略)
敷均し (ルーズ)	機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（2011年規制）〕 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ）	賃料
		K2	-	
		K3	-	
	労務	(略)		
	材料	(略)		
	市場単価	(略)		

3-4~3-7 (略)
3-8 人力積込み
(1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表3. 30 人力積込み 積算条件区分一覧
(積算単位：m³)

土質等区分
土砂
岩塊・玉石
軟 岩
中硬岩
硬 岩
アスファルト塊
コンクリート塊

(注) 1. 上表は、仮置きされた土砂、岩(アスファルト塊、コンクリート塊を含む)を人力により直接積込むまでの作業に必要な全ての労務・材料費（損料等を含む）を含む。
2 (略)

(2) (略)

3-9~3-11 (略)

③ 土工(ICT)

1. ～5. (略)

6. 参考資料(掘削(ICT)※[ICT建機使用割合 100%以外])

6－1 (略)

6－2 積算例 (ICT建機使用割合 100%以外の場合)
(略)

【ICT建機使用割合 25%の場合】

・施工数量の判定
(略)

・積算

施工箇所①：(略)

施工箇所②：{「掘削(ICT)※ [ICT 建機使用割合 100%]、土砂、オープンカット、障害無し、
50、000 m³以上」の単価} × 10、000 m³ + {「掘削、土砂、オープンカット、押
土無し、障害無し、50、000 m³以上」の単価} × 30、000 m³

施工箇所③：(略)

④ (略)

⑤ 床掘工(ICT)

1. 適用範囲

(略)

1－1 (略)

1－2 適用できない範囲

1－2－1 床掘り (ICT)

(1) 3D-MG又はMCバックホウ以外による作業土工 (床掘り)

(2) 山地治山土工による作業土工 (床掘り) (ICT)

2～5 (略)

⑥ 作業土工(埋戻工)

1. 適用範囲

(略)

1－1 (略)

1－2 適用できない範囲

1－2－1 埋戻し

(1) 山地治山土工による埋戻し

1－2－2 タンパ締固め

(1) 山地治山土工におけるタンパ締固め

2・3 (略)

⑦ (略)

⑧ 安定処理工

1・2 (略)

3. 施工パッケージ

3－1 安定処理

(1) (略)

③ 土工(ICT)

1. ～5. (略)

6. 参考資料(掘削(ICT)※[ICT建機使用割合 100%以外])

6－1 (略)

6－2 積算例 (ICT建機使用割合 100%以外の場合)
(略)

【ICT建機使用割合 25%の場合】

・施工数量の判定
(略)

・積算

施工箇所①：(略)

施工箇所②：{「掘削(ICT)※ [ICT 建機使用割合 100%]、土砂、オープンカット、障害無し、
50、000 m³以上」の単価} × 30、000 m³ + {「掘削、土砂、オープンカット、押
土無し、障害無し、50、000 m³以上」の単価} × 10、000 m³

施工箇所③：(略)

④ (略)

⑤ 床掘工(ICT)

1. 適用範囲

(略)

1－1 (略)

1－2 適用できない範囲

1－2－1 床掘り (ICT)

(1) 3D-MG又はMCバックホウ以外による作業土工 (床掘り)

(新設)

2～5 (略)

⑥ 作業土工(埋戻工)

1. 適用範囲

(略)

1－1 (略)

(新設)

2・3 (略)

⑦ (略)

⑧ 安定処理工

1・2 (略)

3. 施工パッケージ

3－1 安定処理

(1) (略)

(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 2 安定処理 代表機労材規格一覧

使用機種	施工箇所	項目		代表機労材規格	備考	
スタビライザ	—	(略)		(略)	(略)	
バックホウ	路床	機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付排出ガス対策型（2014年規制）〕 山積 0.50 m ³ （平積 0.40 m ³ ）吊能力 2.9t 吊	賃料	
			K2	(略)		
			K3	(略)		
		労務	(略)			
		材料	(略)			
		市場単価	(略)			
バックホウ	構造物基礎	機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付排出ガス対策型（2014年規制）〕 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ）吊能力 2.9t 吊	賃料	
			K2	(略)		
			K3	(略)		
		労務	(略)			
		材料	(略)			
		市場単価	(略)			

(注) バックホウ及び振動ローラは賃料とする。

(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 2 安定処理 代表機労材規格一覧

使用機種	施工箇所	項目		代表機労材規格	備考	
スタビライザ	—	(略)		(略)	(略)	
バックホウ	路床	機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付排出ガス対策型（2011年規制）〕 山積 0.50 m ³ （平積 0.40 m ³ ）吊能力 2.9t 吊	賃料	
			K2	(略)		
			K3	(略)		
		労務	(略)			
		材料	(略)			
		市場単価	(略)			
バックホウ	構造物基礎	機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付排出ガス対策型（第3次基準値）〕 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ）吊能力 2.9t 吊	賃料	
			K2	(略)		
			K3	(略)		
		労務	(略)			
		材料	(略)			
		市場単価	(略)			

(注) バックホウ及び振動ローラは賃料とする。

- ① (略)
- ② 吹付法面取壊し工

1. 適用範囲

本資料は、モルタルの吹付法面取壊し工のうち、「仮設ロープを用いたピックハンマ、又はコンクリートカッタ、又はピックハンマとコンクリートカッタの併用による人力取壊し作業」と「機械による取壊し作業（高さ 5 m まで）」に適用する。
ただし、モルタル厚は 5 ～ 15 cm とする。
また、繊維入りモルタルの取壊しは適用範囲外とする。

2. 施工概要

(1) 施工フローは、下記を標準とする。

図 (略)
(注) (略)
図 2-1 施工フロー

③ プレキャストコンクリート板設置工

1・2 (略)

3. 施工パッケージ

- 3-1 ～ 3-3 (略)
- 3-4 プレキャストコンクリート板
 - (1) (略)
 - (2) 代表機労材規格(略)

表 3. 2 プレキャストコンクリート板 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (<u>2014 年規制</u>)] 25t 吊	賃料
	K2	—	
	K3	—	
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

3-5 ～ 3-12 (略)

④・⑤ (略)

⑥ コンクリートブロック積(張)

1・2 (略)

3. 施工パッケージ

- 3-1 (略)
- 3-2 大型ブロック積
 - (1) 条件区分(略)

表 3. 4 大型ブロック積 積算条件区分一覧
(略)

(注) 1. 上表は、大型ブロック（勾配 1 割未満、ブロック質量 4,600kg/個以下、控え長 500mm 以上）の設置、鉄筋（加工・組立）、目地材の設置、調整コンクリートの打設（材料費を含む。）、現場内小運搬（50m まで）のほか、水抜きパイプ（水抜き孔用吸出し防止材を含む。）等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む。）を含む。ただし、大型ブロック材料費、鉄筋材料費及び目地材料費は含まない。

2 (略)

- ① (略)
- ② 吹付法面取壊し工

1. 適用範囲

本資料は、モルタルの吹付法面取壊し工のうち、「仮設ロープを用いたピックハンマ、又はコンクリートカッタ、又はピックハンマとコンクリートカッタの併用による人力取壊し作業」と「機械による取壊し作業（高さ 5 m まで）」に適用する。
ただし、モルタル厚は 5 ～ 15 cm とする。

2. 施工概要

(1) 施工フローは、下記を標準とする。

図 (略)
(注) (略)

③ プレキャストコンクリート板設置工

1・2 (略)

3. 施工パッケージ

- 3-1 ～ 3-3 (略)
- 3-4 プレキャストコンクリート板
 - (1) (略)
 - (2) 代表機労材規格(略)

表 3. 2 プレキャストコンクリート板 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (<u>第 1 次基準値</u>)] 25t 吊	賃料
	K2	—	
	K3	—	
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

3-5 ～ 3-12 (略)

④・⑤ (略)

⑥ コンクリートブロック積(張)

1・2 (略)

3. 施工パッケージ

- 3-1 (略)
- 3-2 大型ブロック積
 - (1) 条件区分(略)

表 3. 4 大型ブロック積 積算条件区分一覧
(略)

(注) 1. 上表は、大型ブロック（勾配 1 割未満、ブロック質量 4,600kg/個以下、控え長 500mm 以上）の設置、鉄筋（加工・組立）、目地材の設置、調整コンクリートの打設（材料費を含む。）、現場内小運搬（50m まで）のほか、水抜きパイプ（水抜き孔用吸出し防止材を含む。）等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む。）を含む。ただし、鉄筋材料費及び目地材料費は含まない。

2 (略)

3 裏込材投入転圧又は胴込材投入転圧は「3－11 胴込・裏込材（碎石）」より計上する。
4～6 （略）
7 大型ブロック材料費は別途計上する。

（2）代表機労材規格
（略）

表 3. 5 大型ブロック積 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	(略)		
労務	(略)		
材料	Z 1	<u>軽油</u> <u>パトロール給油</u>	(削る。)
	Z 2	<u>—</u>	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	(略)		

3－3 大型ブロック（材料費）
大型ブロック（材料費）における積算条件区分はない。
積算単位は、㎡とする。

3－4～3－26 （略）

4 （略）

⑦・⑧ （略）

⑨ 場所打擁壁工（1）

1・2 （略）

3. 施工パッケージ

3－1 （略）

3－2 重力式擁壁

（1） （略）

（2）代表機労材規格
（略）

3. 7 重力式擁壁 代表機労材規格一覧

平均擁壁高さ	項目		代表機労材規格	備考
1m 超 2m 未満	(略)		(略)	(略)
2m 以上 5m 以下	機械	K 1	(略)	
		K 2	(略)	
		K 3	発動発電機[ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 <u>5kVA</u>	<u>・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</u> <u>・賃料</u>
	労務	(略)		
	材料	(略)		
	市場単価	(略)		

[参考図] （略）

3 裏込材投入転圧又は胴込材投入転圧は「3－10 胴込・裏込材（碎石）」より計上する。
4～6 （略）

（2）代表機労材規格
（略）

表 3. 5 大型ブロック積 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	(略)		
労務	(略)		
材料	Z 1	<u>大型ブロック</u> <u>控え 500mm</u>	2、000kg／個 以下の場合
		<u>大型ブロック</u> <u>控え 2000mm</u>	2、000kg／個 超えの場合
	Z 2	<u>軽油</u> <u>パトロール給油</u>	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	(略)		

（新設）

3－3～3－25 （略）

4 （略）

⑦・⑧ （略）

⑨ 場所打擁壁工（1）

1・2 （略）

3. 施工パッケージ

3－1 （略）

3－2 重力式擁壁

（1） （略）

（2）代表機労材規格
（略）

3. 7 重力式擁壁 代表機労材規格一覧

平均擁壁高さ	項目		代表機労材規格	備考
1m 超 2m 未満	(略)		(略)	(略)
2m 以上 5m 以下	機械	K 1	(略)	
		K 2	(略)	
		K 3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 <u>(50/60Hz) 2.7/3kVA</u>	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合
	労務	(略)		
	材料	(略)		
	市場単価	(略)		

[参考図] （略）

- 3－3 もたれ式擁壁擁壁
(1) (略)
(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 9 もたれ式擁壁 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	(略)	
	K 2	(略)	
	K 3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 <u>5kVA</u>	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

- 3－4 逆T型擁壁
(1) (略)
(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 12 逆T型擁壁 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	(略)	
	K 2	(略)	
	K 3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 <u>5kVA</u>	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

- 3－5 L型擁壁
(1) (略)
(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 12 L型擁壁 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	(略)	
	K 2	(略)	
	K 3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 <u>5kVA</u>	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

3－6～3－10 (略)

- 3－3 もたれ式擁壁擁壁
(1) (略)
(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 9 もたれ式擁壁 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	(略)	
	K 2	(略)	
	K 3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 <u>(50/60Hz) 2.7/3kVA</u>	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

- 3－4 逆T型擁壁
(1) (略)
(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 12 逆T型擁壁 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	(略)	
	K 2	(略)	
	K 3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 <u>(50/60Hz) 2.7/3kVA</u>	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

- 3－5 L型擁壁
(1) (略)
(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 12 L型擁壁 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	(略)	
	K 2	(略)	
	K 3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 <u>(50/60Hz) 2.7/3kVA</u>	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

3－6～3－10 (略)

⑩ 場所打擁壁工(2)

1 (略)

2. 施工パッケージ

2-1 コンクリート (場所内擁壁)

(1) (略)

(2) 代表機労材規格
(略)

表 2. 3 コンクリート (場所打擁壁) 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	(略)	
	K 2	(略)	
	K 3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 <u>5kVA</u>	<u>・賃料</u> <u>・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</u>
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

2-2～2-4 (略)

⑪ (略)

⑫ 補強土壁工(帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁・ジオテキスタイル補強土壁)

1・2 (略)

3. 施工パッケージ

3-1～3-4 (略)

3-5 まき出し・敷均し、締固め

(1) 条件区分

表 3. 6 まき出し・敷均し、締固め 積算条件区分一覧

表 (略)

(注) 1. 上表は、補強土壁工(帯鋼補強土壁 (1)・帯鋼補強土壁 (2)・アンカー補強土壁・ジオテキスタイル補強土壁 (二重壁タイプ)) のまき出し、敷均し、締固め、盛土内の浸透水の排除を目的とする水平排水層の設置のほか、振動ローラ (舗装用・ハンドガイド式)、タンパの運転経費等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む。)を含む。ただし、水平排水層の材料費は含まない。

2. 水平排水層の設置の有無にかかわらず適用できる。

3. 水平排水層に使用する材料費 (砕石や透水マット等の水平排水材) は、必要量を別途計上する。

4. 施工量の範囲は、壁面上端までと補強材後部までの盛土を対象とする (参考図参照)。

5. 現場条件により表 3.7 に示す代表機械の規格により難い場合は、別途考慮する。

(2) (略)

3-6～3-8 (略)

⑩ 場所打擁壁工(2)

1 (略)

2. 施工パッケージ

2-1 コンクリート (場所内擁壁)

(1) (略)

(2) 代表機労材規格
(略)

表 2. 3 コンクリート (場所打擁壁) 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	(略)	
	K 2	(略)	
	K 3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 <u>(50/60Hz) 2.7/3kVA</u>	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

2-2～2-4 (略)

⑪ (略)

⑫ 補強土壁工(帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁・ジオテキスタイル補強土壁)

1・2 (略)

3. 施工パッケージ

3-1～3-4 (略)

3-5 まき出し・敷均し、締固め

(1) 条件区分

表 3. 6 まき出し・敷均し、締固め 積算条件区分一覧

表 (略)

(注) 1. 上表は、補強土壁工(帯鋼補強土壁 (1)・帯鋼補強土壁 (2)・アンカー補強土壁・ジオテキスタイル補強土壁 (二重壁タイプ)) のまき出し、敷均し、締固めのほか、振動ローラ (舗装用・ハンドガイド式)、タンパの運転経費等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む。)を含む。

(新設)

(新設)

2. 施工量の範囲は、壁面上端までと補強材後部までの盛土を対象とする (参考図参照)。

3. 現場条件により表 3.7 に示す代表機械の規格により難い場合は、別途考慮する。

(2) (略)

3-6～3-8 (略)

⑬ 補強盛土工

1・2 (略)

3. 施工パッケージ

3－1～3－3 (略)

3－4 まき出し・敷均し、締固め

(1) 条件区分

(略)

(注) 1. ジオテキスタイルを用いた補強土壁工及び補強土壁工のまき出し、敷均し、締固め、盛土内の浸透水の排除を目的とする水平排水層の設置のほか、振動ローラ（ハンドガイド式）、タンパ及びランマの運転経費等、その施工に要する全ての費用を含む。ただし、水平排水層及び盛土材の材料費は含まない。

2. 水平排水層の設置の有無にかかわらず適用できる。

3. 水平排水層に使用する材料費（砕石やマット等の水平排水材）は、必要量を別途計上する。

4. ジオテキスタイル工1段当たりのまき出し厚さ及び締固め回数に関係なく適用する。

5. 補強盛土工範囲（図3. 1参考図参照）の盛土材については、必要に応じて別途計上する。

6. 現場発生土の粒径処理等が必要な場合は、別途計上する。

(2) (略)

3－5～3－7 (略)

4. 参考資料

4－1 (略)

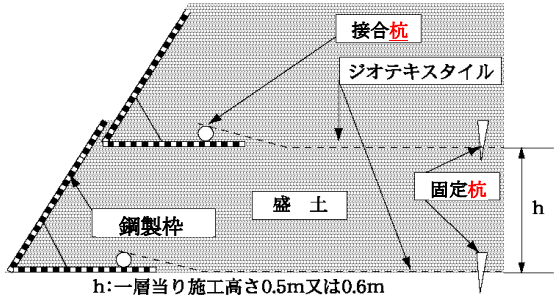
4－2 壁面材使用量

壁面材の実面積（直面積）100 m²当たり鋼製枠タイプ使用量は、次表を参考とする。

表4. 2 鋼製枠タイプ標準使用量

(直面積)100 m²当たり

壁面材種類	タイプ	一層当たり施工高	単位	数 量	標準図
鋼製枠タイプ	タイプA	500 mm以下	個	100	図①
	タイプB	600 mm以下		83	
	タイプC	600 mm以下		167	
	タイプD	600 mm以下		139	



図① 鋼製枠タイプ施工数量標準図

⑬ 補強盛土工

1・2 (略)

3. 施工パッケージ

3－1～3－3 (略)

3－4 まき出し・敷均し、締固め

(1) 条件区分

(略)

(注) 1. ジオテキスタイルを用いた補強土壁工及び補強土壁工のまき出し、敷均し、締固め、水平排水材、層厚管理材の設置のほか、振動ローラ（ハンドガイド式）、タンパ及びランマの運転経費等、その施工に要する全ての費用を含む。ただし、水平排水材、層厚管理材及び盛土材の材料費は含まない。

2. 水平排水材、層厚管理材の材料費は別途計上する。

3. ジオテキスタイル工1段当たりのまき出し厚さ及び締固め回数に関係なく適用する。

4. 補強盛土工範囲（図3. 1参考図参照）の盛土材については、必要に応じて別途計上する。

5. 現場発生土の粒径処理等が必要な場合は、別途計上する。

(2) (略)

3－5～3－7 (略)

4. 参考資料

4－1 (略)

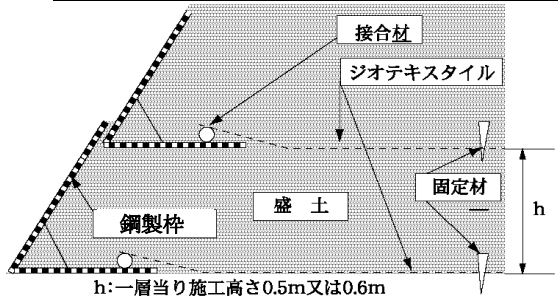
4－2 壁面材使用量

壁面材の実面積（直面積）100 m²当たり鋼製枠タイプ使用量は、次表を参考とする。

表4. 2 鋼製枠タイプ標準使用量

(直面積)100 m²当たり

壁面材種類	タイプ	一層当たり施工高	単位	数 量	標準図
鋼製枠タイプ	タイプA	500 mm以下	個	100	図①
	タイプB	600 mm以下		83	
	タイプC	600 mm以下		167	
	タイプD	600 mm以下		139	



図① 鋼製枠タイプ施工数量標準図

⑭排水構造物工

1. 適用範囲

本資料は、プレキャスト製排水構造物の据付、撤去、据付・撤去作業に適用する。

1-1 適用できる範囲

1-1-1 ヒューム管（B形管）

- (1) ヒューム管 （B形管（ソケット管））の据付、撤去、据付・撤去の場合
- (2) ヒューム管 （B形管（ソケット管））を仮設に使用する場合

1-1-2・1-1-3 （略）

1-1-4 フィルター材

- (1) 暗渠排水管の据付に伴うフィルター材（クラッシュラン・単粒度碎石等）の敷設の場合

1-1-5・1-1-6 （略）

1-1-7 鉄筋コンクリート台付管

- (1) 管断面の内側の形状が円形又は卵形であって、かつ、管断面の外側の下部もしくは上下部の一部が平坦になっている（管断面の外側の形状が方形もしくは六角形になっているものを含む。）プレキャスト製鉄筋コンクリート台付管の据付、撤去、据付・撤去の場合

1-1-8・1-1-9 （略）

（削る。）

1-1-10・1-1-11 （略）

1-2 適用できない範囲

1-2-1 （略）

1-2-2 ボックスカルバート

- (1) （略）
- (2) 製品長 1 m/個で縦締を行う場合
- (3)・(4) （略）

1-2-3 暗渠排水管

- (1) 人力施工で持上げ高が2 m以上の場合
- (2) 直管の呼び径 50 mm未満及び 400 mmを超える据付、撤去、据付・撤去の場合
- (3) 波状管の呼び径 50 mm未満及び 1,500 mmを超える据付、撤去、据付・撤去の場合
- (4) 網状管の呼び径 50 mm未満及び 400 mmを超える据付、撤去、据付・撤去の場合
- (5) 埋設を行わない地上露出配管の据付、撤去の場合

1-2-4 フィルター材

- (1) 暗渠排水管の据付に伴う現場発生土の敷設の場合
- (2) 暗渠排水管の据付を行わない場合

1-2-5 管（函）渠型側溝

- (1)・(2) （略）
- (3) 製品長が2 m ／個を超える場合

1-2-6・1-2-7 （略）

（削る。）

1-2-8・1-2-9 （略）

1-2-10 現場打ちの排水構造物

- (1) 現場打ちの排水構造物の据付作業の場合

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。

- (1)～(5) （略）

⑭排水構造物工

1. 適用範囲

本資料は、プレキャスト製排水構造物の据付、撤去、据付・撤去作業に適用する。

1-1 適用できる範囲

1-1-1 ヒューム管（B形管）

- (1) ヒューム管 、B形管（ソケット管）の据付、撤去、据付・撤去の場合
- (2) ヒューム管 、B形管（ソケット管）を仮設に使用する場合

1-1-2・1-1-3 （略）

1-1-4 フィルター材

- (1) 暗渠排水管の敷設に伴うフィルター材（クラッシュラン・単粒度碎石等）の敷設の場合

1-1-5・1-1-6 （略）

1-1-7 鉄筋コンクリート台付管

- (1) 管断面の内側の形状が円形又は卵形であって、かつ、管断面の外側の下部もしくは上下部の一部がフラットになっている（管断面の外側の形状が方形もしくは六角形になっているものを含む。）プレキャスト製鉄筋コンクリート台付管の据付、撤去、据付・撤去の場合

1-1-8・1-1-9 （略）

1-1-10 P C管

- (1) P C管の据付、撤去、据付・撤去の場合
- (2) P C管を仮設に使用する場合

1-1-11・1-1-12 （略）

1-2 適用できない範囲

1-2-1 （略）

1-2-2 ボックスカルバート

- (1) （略）
- (2) 製品長 1.0 m/個で縦締を行う場合
- (3)・(4) （略）

1-2-3 暗渠排水管

- (1) 持上げ高が2 m以上の場合
(新設)
- (新設)
- (新設)
- (2) 埋設を行わない地上露出配管の敷設の場合

1-2-4 フィルター材

- (1) 暗渠排水管の敷設を行わない場合

1-2-5 管（函）渠型側溝

- (1)・(2) （略）
- (3) 製品長が2 mを超える場合

1-2-6・1-2-7 （略）

1-2-8 P C管

- (1) 巻きコンクリート（固定基礎）を含む撤去、据付・撤去の場合
- (2) 管径 1,800 mmを超える P C管の据付、据付・撤去の場合

1-2-9・1-2-10 （略）

（新設）

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。

- (1)～(5) （略）

(削る。)

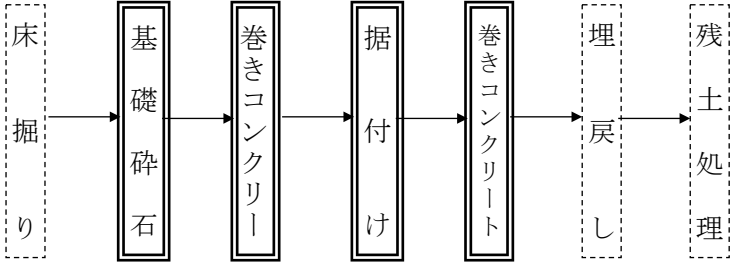
(6) (略)

3. 施工パッケージ
- 3-1 (略)
- 3-2 ボックスカルバート
- (1) (略)
- (2) 代表機労材規格
- (略)

表3. 10 ボックスカルバート 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型(2014 年規制)] 25 t 吊	・ 賃料 ・ 内空高 2. 5m以下の場合
	K 2	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型(2011 年規制)] 50 t 吊	・ 賃料 ・ 内空高 2. 5m超の場合
	K 3	(略)	
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

(6) PC管



- (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重線部分のみである。
2. 巻きコンクリートは、必要に応じて計上する。
3. 基礎碎石の有無にかかわらず、本施工パッケージを適用できる。

(7) (略)

3. 施工パッケージ
- 3-1 (略)
- 3-2 ボックスカルバート
- (1) (略)
- (2) 代表機労材規格
- (略)

表3. 10 ボックスカルバート 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型(2011 年規制)] 25 t 吊	・ 賃料 ・ 内空高 2. 5m以下の場合
	K 2	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型(第 1 次基準値)] 50 t 吊	・ 賃料 ・ 内空高 2. 5m超の場合
	K 3	(略)	
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

3－3 暗渠排水管
(1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表3. 11 暗渠排水管 積算条件区分一覧
(積算単位：m)

作業区分	管種別	呼び径	継手材料費
据付	直管	(略)	
	網状管	50～150mm	(略)
		200～400mm	(略)
		(削る。)	(削る。)
			(削る。)
	波状管	50～150mm	要 不要
		200～400mm	要 不要
		450～600mm	要 不要
		100～1,000mm	要 不要
		1,000～1,500mm	要 不要
	撤去	直管	(略)
網状管		50～150mm	
		200～400mm	
		(削る。)	
波状管		50～150mm	
		200～400mm	
		450～600mm	
		100～1,000mm	
		1,000～1,500mm	
据付・撤去		直管	(略)
	網状管	50～150mm	(略)
		200～400mm	(略)
		(削る。)	(削る。)
			(削る。)
	波状管	50～150mm	要 不要
		200～400mm	要 不要
		450～600mm	要 不要
		100～1,000mm	要 不要
		1,000～1,500mm	要 不要

(注) 1. 上表は、暗渠排水管（浅層地下排水除去のために行う）の据付、継手の取付（波状管及び網状管の場合）、運搬距離 60m程度まで現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む。）を含む。
2. 暗渠排水管の敷設であり、埋設を行わない地上露出配管の据付は別途考慮する。
3 (略)

3－3 暗渠排水管
(1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表3. 11 暗渠排水管 積算条件区分一覧
(積算単位：m)

作業区分	管種別	呼び径	継手材料費
据付	直管	(略)	
	波状管及び網状管	50～150mm	(略)
		200～400mm	(略)
		450～600mm	要 不要
	(新設)	(新設)	(新設)
		(新設)	(新設)
		(新設)	(新設)
		(新設)	(新設)
		(新設)	(新設)
		(新設)	(新設)
		(新設)	(新設)
		(新設)	(新設)
	撤去	直管	(略)
波状管及び網状管		50～150mm	
		200～400mm	
		450～600mm	
(新設)		(新設)	
		(新設)	
		(新設)	
		(新設)	
	(新設)		
据付・撤去	直管	(略)	
	波状管及び網状管	50～150mm	(略)
		200～400mm	(略)
		450～600mm	要 不要
	(新設)	(新設)	(新設)
		(新設)	(新設)
		(新設)	(新設)
		(新設)	(新設)
		(新設)	(新設)
		(新設)	(新設)
		(新設)	(新設)
		(新設)	(新設)

(注) 1. 上表は、暗渠排水管（浅層地下排水除去のために行う）の敷設、継手の取付（波状管及び網状管の場合のみ）、運搬距離 100m程度まで現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む。）を含む。
2. 暗渠排水管の敷設であり、埋設を行わない地上露出配管の敷設は別途考慮する。
3 (略)

4. 波状管、網状管の継手は、形状にかかわらず適用できる。
5・6 （略）

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 12 暗渠排水管 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	<u>バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014年規制）〕 山積 0.5 m³（平積 0.4 m³）吊能力 2.9 t</u>	<u>管種別が波状管、呼び径が 700～1,500 の場合</u>
	K 2	—	
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員（山林砂防工）	
	R 2	土木一般世話役	
	R 3	<u>特殊作業員</u>	<u>管種別が波状管、呼び径が 700～1,500 の場合</u>
	R 4	<u>運転手（特殊）</u>	<u>管種別が波状管、呼び径が 700～1,500 の場合</u>
材料	Z 1	暗渠排水管 直管 呼び径 75mm ポリエチレン吸水管	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が直管、呼び径が 50～150mm の場合
		暗渠排水管 直管 呼び径 300mm ポリエチレン吸水管	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が直管、呼び径が 200～400mm の場合
		暗渠排水管 波状管 呼び径 75mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 50～150mm の場合
		暗渠排水管 波状管 呼び径 300mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 200～400mm の場合
		暗渠排水管 波状管 呼び径 500mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管、呼び径が 450～600mm の場合
		<u>暗渠排水管 波状管 呼び径 800mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）</u>	<u>作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管、呼び径が 700～1,000mm の場合</u>
		<u>暗渠排水管 波状管 呼び径 1,000mm 高密度ポリエチレン管（ダブル構造）</u>	<u>作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管、呼び径が 1,100～1,500mm の場合</u>
	Z 2	<u>軽油 パトロール給油</u>	<u>管種別が波状管及び網状管、呼び径が 700～1,500mm の場合</u>
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

4. 波状管及び網状管の継手は、形状にかかわらず適用できる。
5・6 （略）

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 12 暗渠排水管 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	—	
	K 2	—	
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員（山林砂防工）	
	R 2	土木一般世話役	
	R 3	—	
	R 4	—	
材料	Z 1	暗渠排水管 直管 呼び径 75mm ポリエチレン吸水管	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が直管、呼び径が 50～150mm の場合
		暗渠排水管 直管 呼び径 300mm ポリエチレン吸水管	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が直管、呼び径が 200～400mm の場合
		暗渠排水管 波状管 呼び径 75mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 50～150mm の場合
		暗渠排水管 波状管 呼び径 300mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 200～400mm の場合
		暗渠排水管 波状管 呼び径 500mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 450～600mm の場合
		（新設）	（新設）
		（新設）	（新設）
	Z 2	—	（新設）
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

3－4 フィルター材

（１）条件区分

表 3．13 フィルター材 積算条件区分一覧

表 （略）

（注） １． 上表は、暗渠排水管据付に伴うフィルター材（クラッシュラン、単粒度碎石、砂等）の設置、締固め、運搬距離 70m程度までの現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む。）。

２・３ （略）

（２）代表機労材規格

（略）

表 3．14 フィルター材 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	バックホウ（クローラ型） <u>〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014 年規制)〕</u> 山積 0.5 m³(平積 0.4 m³)吊能力 2.9 t	
	K 2	（略）	
	K 3	（略）	
労務	（略）		
材料	（略）		
市場単価	（略）		

3－5

（１） （略）

（２）代表機労材規格

（略）

表 3．16 管（函）渠型側溝 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・ <u>超低騒音型</u> ・クレーン機能付・排出ガス対策型（ <u>2014 年規制</u> ）〕 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³) 1.7 t 吊	・ 賃料 ・ 内径又は内空幅が 200mm 以上 400mm 以下の場合
		バックホウ（クローラ型）〔標準型・ <u>超低騒音型</u> ・クレーン機能付・排出ガス対策型（ <u>2014 年規制</u> ）〕 山積 <u>0.5 m³</u> (平積 <u>0.4 m³</u>) 2.9 t 吊	・ 賃料 ・ 内径又は内空幅が 400mm を超え 600mm 以下の場合
	K 2	(略)	
	K 3	(略)	
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

3－4 フィルター材

（１）条件区分

表 3．13 フィルター材 積算条件区分一覧

表 （略）

（注） １． 上表は、暗渠排水管敷設に伴うフィルター材（クラッシュラン及び単粒度碎石等）の設置、締固め、運搬距離 30m程度までの現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む。）。

２・３ （略）

（２）代表機労材規格

（略）

表 3．14 フィルター材 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	バックホウ（クローラ型） <u>〔標準型・排出ガス対策型(第 1 次基準値)〕</u> 山積 0.45 m³(平積 0.35 m³)	
	K 2	（略）	
	K 3	（略）	
労務	（略）		
材料	（略）		
市場単価	（略）		

3－5

（１） （略）

（２）代表機労材規格

（略）

表 3．16 管（函）渠型側溝 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(<u>第3次基準値</u>)] 山積 0.28 m³(平積 0.2 m³) 1.7 t 吊	・ 賃料 ・ 内径又は内空幅が 200mm 以上 400mm 以下の場合
		バックホウ（クローラ型）[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(<u>第2次基準値</u>)] 山積 <u>0.45 m³</u> (平積 <u>0.35 m³</u>) 2.9 t 吊	・ 賃料 ・ 内径又は内空幅が 400mm を超え 600mm 以下の場合
	K 2	(略)	
	K 3	(略)	
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

- 3－6 プレキャスト集水桝
(1) (略)
(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 19 プレキャスト集水桝 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・ <u>超低騒音型</u> ・クレーン機能付・排出ガス対策型（ <u>2014 年規制</u> ）〕 山積 0.28 m ³ （平積 0.2 m ³ ） 吊能力 1.7t	・賃料 ・製品質量が <u>50kg/基以上の場合</u> 、1,200kg/基以下の場合
		バックホウ（クローラ型）〔標準型・ <u>超低騒音型</u> ・クレーン機能付・排出ガス対策型（ <u>2014 年規制</u> ）〕 山積 <u>0.5 m³</u> （平積 <u>0.4 m³</u> ） 吊能力 2.9 t	製品質量が 1,200kg/基 <u>を</u> 超え <u>2,800kg/基以下</u> の場合
	K 2	（略）	
	K 3	（略）	
労務	（略）		
材料	（略）		
市場単価	（略）		

3－7・3－8 (略)

- 3－9 プレキャスト L 型側溝
(1) (略)
(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 25 プレキャスト L 形側溝 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・ <u>超低騒音型</u> ・クレーン機能付・排出ガス対策型（ <u>2014 年規制</u> ）] 山積 <u>0.5 m³</u> （平積 <u>0.4 m³</u> ） 吊能力 2.9 t	
	K 2	（略）	
	K 3	（略）	
労務	（略）		
材料	（略）		
市場単価	（略）		

- 3－6 プレキャスト集水桝
(1) (略)
(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 19 プレキャスト集水桝 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 山積 0.28 m ³ （平積 0.2 m ³ ） 吊能力 1.7t	・賃料 ・製品質量が 1,200kg/基以下の場合
		バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（ <u>第3次基準値</u> ）〕 山積 <u>0.45 m³</u> （平積 <u>0.35 m³</u> ） 吊能力 2.9 t	製品質量が 1,200kg/基超えの場合
	K 2	（略）	
	K 3	（略）	
労務	（略）		
材料	（略）		
市場単価	（略）		

3－7・3－8 (略)

- 3－9 プレキャスト L 型側溝
(1) (略)
(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 25 プレキャスト L 形側溝 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（ <u>第1次基準値</u> ）〕 山積 0.45 m ³ （平積 0.35 m ³ ） 吊能力 2.9 t	
	K 2	（略）	
	K 3	（略）	
労務	（略）		
材料	（略）		
市場単価	（略）		

3-10 プレキャストマンホール

- (1) (略)
- (2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 27 プレキャストマンホール 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・ <u>超低騒音型</u> ・クレーン機能付・排出ガス対策型（ <u>2014 年規制</u> ）〕 山積 <u>0.5 m³</u> (平積 <u>0.4 m³</u>) 吊能力 2.9 t	
	K 2	(略)	
	K 3	(略)	
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

(削る。)

3-10 プレキャストマンホール

- (1) (略)
- (2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 27 プレキャストマンホール 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（ <u>第 1 次基準値</u> ）〕 山積 <u>0.45 m³</u> (平積 <u>0.35 m³</u>) 吊能力 2.9 t	
	K 2	(略)	
	K 3	(略)	
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

3-11 P C 管

- (1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 28 P C 管 積算条件区分一覧

(積算単位：m)

作業区分	管 径	固定基礎	生コンクリート規格
据 付	(表 3. 29)	<u>90° 巻き</u>	(表 3. 5)
		<u>180° 巻き</u>	
		<u>無し</u>	二
撤 去		二	二
据付・撤去		二	二

- (注) 1. 上表は、P C 管の設置、基礎碎石、巻きコンクリート(コンクリート、型枠)、運搬距離 30m 程度までの現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む。）を含む。ただし、PC 管の材料費は含まない。
2. 撤去作業、据付・撤去作業は、P C 管のみを対象としている。
3. 基面整正は含まない。
4. コンクリート、基礎碎石の材料ロスを含む。標準ロス率は、コンクリートが+0.04、基礎碎石が+0.20 とする。
5. 作業区分が据付又は据付・撤去の場合、管径 2, 000 mmは適用できない。
6. P C 管の材料費は別途計上する。

表 3. 29 管径

積算条件	区分	積算条件	区分
管 径	<u>600mm</u>	管 径	<u>1, 200mm</u>
	<u>700mm</u>		<u>1, 350mm</u>
	<u>800mm</u>		<u>1, 500mm</u>
	<u>900mm</u>		<u>1, 650mm</u>
	<u>1, 000mm</u>		<u>1, 800mm</u>
	<u>1, 100mm</u>		<u>2, 000mm</u>

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

(削る。)

表 3. 30 P C 管 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	<u>K</u> <u>1</u>	<u>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]4.9t 吊</u>	<u>・賃料</u> <u>・管径が 600mm の場合</u>
		<u>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 1 次基準値)] 16t 吊</u>	<u>・賃料</u> <u>・管径が 700mm～1,350mm の場合</u>
		<u>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 1 次基準値)] 20t 吊</u>	<u>・賃料</u> <u>・管径が 1,500mm～1,650mm の場合</u>
		<u>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 1 次基準値)] 25t 吊</u>	<u>・賃料</u> <u>・管径が 1,800mm の場合</u>
		<u>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 1 次基準値)] 35t 吊</u>	<u>・賃料</u> <u>・作業区分が撤去、管径が 2,000mm の場合</u>
	<u>K</u> <u>2</u>	<u>バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2014 年規制)] 山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)</u>	<u>・賃料</u> <u>・作業区分が据付の場合</u>
労務	<u>K</u> <u>3</u>	<u>バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (2011 年規制)] 山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³) 吊能力 2.9t</u>	<u>・賃料</u> <u>・管径が 1,350 mm～1,800 mm、固定基礎が 180° 巻きの場合の場合</u>
	<u>R</u> <u>1</u>	<u>普通作業員 (山林砂防工)</u>	
	<u>R</u> <u>2</u>	<u>型わく工</u>	<u>固定基礎が有る場合</u>
		<u>運転手 (特殊)</u>	<u>上記以外の場合</u>
材料	<u>R</u> <u>3</u>	<u>土木一般世話役</u>	
	<u>R</u> <u>4</u>	<u>特殊作業員</u>	
	<u>Z</u> <u>1</u>	<u>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</u>	<u>固定基礎が有る場合</u>
	<u>Z</u> <u>2</u>	<u>軽油 パトロール給油</u>	
市場単価	<u>Z</u> <u>3</u>		
	<u>Z</u> <u>4</u>	<u>＝</u>	
		<u>S</u>	<u>＝</u>

3－12 PC 管（材料費）

（1）条件区分

PC 管（材料費）における積算条件区分はない。
積算単位は、mとする。

3-11 コルゲートパイプ

- (1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 28 コルゲートパイプ 積算条件区分一覧
(積算単位：m)

作業区分	規格	パイプ径
(表 3. 29)	(略)	(略)

- (注) 1・2 (略)
3. パッキングの有無にかかわらず適用できる。ただし、パッキング材料については、必要な費用を別途計上する。
4 (略)

表 3. 29 (略)

- (2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 30 (略)

3-12 コルゲートフリューム

- (1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 31 コルゲートフリューム 積算条件区分一覧
(積算単位：m)

作業区分	規格
(表 3. 29)	(略)

- (注) 1・2 (略)
3. パッキングの有無にかかわらず適用できる。ただし、パッキング材料については、必要な費用を別途計上する。
4 (略)

- (2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 32 (略)

⑮・⑯ (略)

3-13 コルゲートパイプ

- (1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 31 コルゲートパイプ 積算条件区分一覧
(積算単位：m)

作業区分	規格	パイプ径
(表 3. 32)	(略)	(略)

- (注) 1・2 (略)
3. パッキングの有無にかかわらず適用できる。ただし、パッキング材料は含まれていないため、別途計上する。
4 (略)

表 3. 32 (略)

- (2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 33 (略)

3-14 コルゲートフリューム

- (1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 34 コルゲートフリューム 積算条件区分一覧
(積算単位：m)

作業区分	規格
(表 3. 32)	(略)

- (注) 1・2 (略)
3. パッキングの有無にかかわらず適用できる。ただし、パッキング材料は含まれていないため、別途計上する。
4 (略)

- (2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 35 (略)

⑮・⑯ (略)

⑰ 軟弱地盤処理工(サンドマット工)

1・2 (略)

3. 施工パッケージ

3－1 サンドマット

(1) (略)

(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 27 プレキャストマンホール 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	ブルドーザ〔湿地・低騒音型・排出ガス対策型（2014 年規制）〕 7 t 級	賃料
	K 2	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（2014 年規制）〕 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ）	
	K 3	(略)	
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

3－2 (略)

(削る。)

⑰ 軟弱地盤処理工(サンドマット工)

1・2 (略)

3. 施工パッケージ

3－1 サンドマット

(1) (略)

(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 27 プレキャストマンホール 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	ブルドーザ〔湿地・低騒音型・排出ガス対策型（第 3 次基準値）〕 7 t 級	賃料
	K 2	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第 3 次基準値）〕 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ）	
	K 3	(略)	
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

3－2 (略)

⑱ 軟弱地盤処理工(粉体噴射攪拌工(DJM工法))

1. 適用範囲

本資料は、粘性土、砂質土、シルト及び有機質土等の軟弱地盤を対象として行う粉体噴射攪拌工（改良材がセメ

ント系及び石灰系の場合）に適用する。

1－1 適用できる範囲

1－1－1 粉体噴射攪拌

以下のいずれかの条件に該当する場合

(1) 杭径 1,000 mm、打設長が 3 m を超え 33m 以下で軸間距離 800 mm から 1、500 mm の二軸施工の場合

(2) 杭径 1,000 mm、打設長が 3 m を超え 20m 以下で下記条件のいずれかに該当する単軸施工の場合

・作業面積が狭く、二軸施工機の移動が困難な場合、又は二軸用改良材供給プラントの設置が困難な場合

・杭の配列により二軸施工が困難な場合

・地盤条件により二軸施工が困難な場合

1－1－2 粉体噴射攪拌（移設）

以下のいずれかの条件に該当する場合

(1) 施工範囲が改良材供給機を中心に半径約 75m を超え、改良材供給設備を移設しなければならない場合

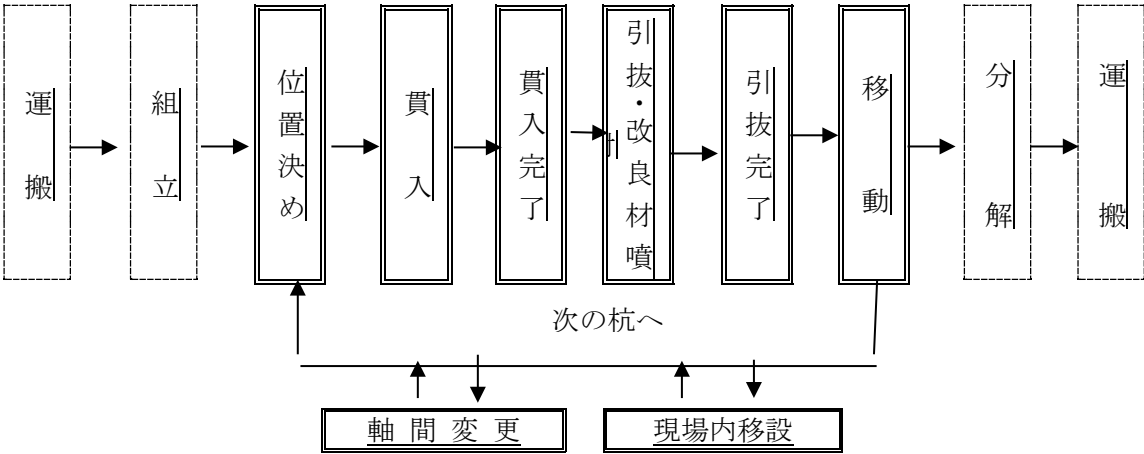
(2) 同一現場内に施工箇所が 2 カ所以上あり、改良材供給設備を移設しなければならない場合

1－1－3 粉体噴射攪拌（軸間変更）

(1) 二軸施工の場合に同一現場において、粉体噴射攪拌機の軸間変更を必要とする場合

2. 施 工 概 要

(1) 施工フロー



(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。

3. 施工パッケージ

3-1 粉体噴射攪拌

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表3. 1 粉体噴射攪拌 積算条件区分一覧

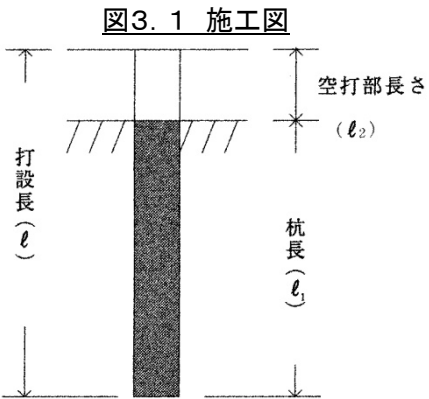
(積算単位：本)

現場制約の有無	打設長	杭長	改良材使用量
有り	3mを超え 6m 未満	2m 未満	実数入力 (t/m)
		2m 以上 3m 未満	
		3m 以上 4m 未満	
		4m 以上 5m 未満	
		5m 以上 6m 未満	
	6m 以上 10m 未満	4m 以上 5m 未満	
		5m 以上 6m 未満	
		6m 以上 7m 未満	
		7m 以上 8m 未満	
		8m 以上 9m 未満	
	10m 以上 14m 未満	9m 以上 10m 未満	
		8m 以上 9m 未満	
		9m 以上 10m 未満	
		10m 以上 12m 未満	
	14m 以上 17m 未満	12m 以上 14m 未満	
		14m 以上 15m 未満	
		15m 以上 17m 未満	
	17m 以上 20m 以下	15m 以上 17m 未満	
		17m 以上 20m 以下	
無し	3mを超え 6m 未満	2m 未満	
		2m 以上 3m 未満	
		3m 以上 4m 未満	

		4m 以上 5m 未満	実数入力 (t/m)
		5m 以上 6m 未満	
6m 以上 10m 未満		4m 以上 5m 未満	
		5m 以上 6m 未満	
		6m 以上 7m 未満	
		7m 以上 8m 未満	
		8m 以上 9m 未満	
		9m 以上 10m 未満	
10m 以上 15m 未満		8m 以上 9m 未満	
		9m 以上 10m 未満	
		10m 以上 12m 未満	
		12m 以上 14m 未満	
		14m 以上 15m 未満	
15m 以上 20m 以下		12m 以上 14m 未満	
		14m 以上 15m 未満	
		15m 以上 17m 未満	
		17m 以上 20m 以下	
20m を超え 27m 未満		17m 以上 20m 以下	
		20m 超え 23m 未満	
		23m 以上 27m 未満	
27m 以上 33m 以下		23m 以上 27m 未満	
		27m 以上 32m 未満	
		32m 以上 33m 以下	

- (注) 1. 上表は、粉体改良材の噴射攪拌による改良柱の形成、施工機械用及び改良材供給設備用足場材（敷鉄板）の設置・撤去、改良後の整地、足場材質料、空気圧縮機の賃料及び運転経費、特許使用料、電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等）を含む。
2. 攪拌翼が貫入できない場合や引抜きに障害となる転石等の除去は、掘削の施工パッケージを別途計上する。
3. 現場制約の有無について
有り：下記の条件のいずれかに該当する場合に選択
・作業面積が狭く、二軸施工機の移動が困難な場合、又は二軸用改良材供給ブランチの設置が困難な場合
・杭の配列により二軸施工が困難な場合
・地盤条件により二軸施工が困難な場合
4. 打設長（m）は次式による。
打設長（m）＝空打部長さ＋杭長
5. 安定処理工（土木用安定シートも含む。）の施工経費は、別途計上する。
6. 改良材使用量
改良材は、セメント系、石灰系を標準とし、現場条件により決定する。なお、改良材のロス（損失＋杭頭・着底部処理を含む。）を含んでいるので、改良材使用量は実数量（ロスによる割増をしない数量）とする。（標準ロス率は、＋0.15）
7. 施工本数は杭間の移動、位置決め、貫入、引抜き（改良材噴射）までの一連の作業のものである。
8. 現場内移設に伴い、粉体噴射攪拌機本体の分解・組立が必要となった場合は、分解・組立費

- を別途計上する。
9. 改良材供給設備の現場内移設は、3－2 粉体噴射攪拌（移設）より別途計上する。
10. 軸間変更を行う場合は、3－3 粉体噴射攪拌（軸間変更）より別途計上する。



(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表3. 2 粉体噴射攪拌 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	粉体噴射攪拌機 〔単軸(油圧)・スキッド式〕 攪拌モータ トルク 19.6kN・m×1 台 最大改良深度 2 0 m	現場制約有りの場合
		粉体噴射攪拌機 〔二軸(電動)・クローラ式〕 攪拌モータ 5 5 k W×2 台 最大改良深度 2 6 m	現場制約無し (打設長 20m 以下) の 場合
		粉体噴射攪拌機 〔二軸(電動)・クローラ式〕 攪拌モータ 9 0 k W×2 台 最大改良深度 3 3 m	現場制約無し (打設長 20m 超え) の 場合
	K 2	＝	
	K 3	＝	
	R 1	特殊作業員	
労務	R 2	土木一般世話役	
	R 3	運転手（特殊）	
	R 4	普通作業員（山林砂防工）	
材料	Z 1	セメント 高炉B	
	Z 2	軽油 1. 2 号 バトロール給油	現場制約無しの場合
	Z 3	＝	
	Z 4	＝	
市場単価	S	＝	

3－2 粉体噴射攪拌（移設）

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表3. 3 粉体噴射攪拌(移設) 積算条件区分一覧

積算単位（回）	
施工方法	
単軸施工	
二軸施工	

(注) 1. 上表は粉体噴射攪拌における改良材供給機、改良材貯蔵槽、発動発電機、空気圧縮機、圧縮空気除湿機、空気槽、制御室、ホース及びケーブル等の設備の移設、制御室移設後の調整費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等）を含む。

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表3. 4 粉体噴射攪拌(移設) 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型(第 1 次基準値)油圧伸縮ジブ型 25t 吊	賃料
	K 2	＝	
	K 3	＝	
労務	R 1	特殊作業員	
	R 2	普通作業員（山林砂防工）	
	R 3	土木一般世話役	
	R 4	＝	
材料	Z 1	＝	
	Z 2	＝	
	Z 3	＝	
	Z 4	＝	
市場単価	S	＝	

3－3 粉体噴射攪拌（軸間変更）

(1) 条件区分

軸間変更に条件区分はない。

積算単位は回とする。

(注) 粉体噴射攪拌における粉体噴射攪拌機の軸間変更等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等）を含む。

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表3. 5 粉体噴射攪拌(軸間変更) 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型(第 1 次基準値)油圧伸縮ジブ型 25t 吊	賃料
	K 2	＝	
	K 3	＝	
労務	R 1	特殊作業員	
	R 2	普通作業員（山林砂防工）	
	R 3	土木一般世話役	
	R 4	＝	
材料	Z 1	＝	
	Z 2	＝	
	Z 3	＝	
	Z 4	＝	
市場単価	S	＝	

⑱・⑲（略）

⑳ コンクリート削孔工

1. 適用範囲

本資料は、コンクリート構造物の削孔（用心鉄筋（さし筋）、あと施工アンカー、防護柵類、落石防止柵類、排水穴等）作業に適用する。

1－1 適用できる範囲

- （１）削孔機械における削孔径及び削孔深が表 1－1 及び図 1－1 に該当する場合

なお、削孔方向によらず適用できる。

表 1－1 （略）

図 1－1 （略）

1－2 （略）

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。

図 （略）

（注） （略）

図 2－1 施工フロー

3（略）

㉑・㉒（略）

㉓ 旧橋撤去工

1・2 （略）

3. 施工パッケージ

3－1 （略）

3－2 アスファルト舗装版破碎・積込み

- （１） （略）

- （２）代表機労材規格

（略）

表 3． 2 アスファルト舗装版破碎・積込み 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（ <u>2014 年規制</u> ）〕 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ）	（削る。）
	K 2	（略）	
	K 3	（略）	
労務	（略）		
材料	（略）		
市場単価	（略）		

⑲・⑳（略）

㉑ コンクリート削孔工

1. 適用範囲

本資料は、コンクリート構造物の削孔（用心鉄筋（さし筋）、あと施工アンカー、防護柵類、落石防止柵類、排水穴等）作業に適用する。

1－1 適用できる範囲

- （１）削孔機械における削孔径及び削孔深が表 1－1 及び図 1－1 に該当する場合

表 1－1 （略）

図 1－1 （略）

1－2 （略）

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。

図 （略）

（注） （略）

3（略）

㉒・㉓（略）

㉔ 旧橋撤去工

1・2 （略）

3. 施工パッケージ

3－1 （略）

3－2 アスファルト舗装版破碎・積込み

- （１） （略）

- （２）代表機労材規格

（略）

表 3． 2 アスファルト舗装版破碎・積込み 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（ <u>第 2 次基準値</u> ）〕 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ）	賃料
	K 2	（略）	
	K 3	（略）	
労務	（略）		
材料	（略）		
市場単価	（略）		

- 3－3 床版1次破碎・撤去
（1）（略）
（2）代表機労材規格
（略）

表3. 3 床版1次破碎・撤去 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 25t 吊	賃料
	K 2	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型 (2014年規制)〕 山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）	
	K 3	（略）	
労務	（略）		
材料	（略）		
市場単価	（略）		

- 3－4 床版1次及び2次破碎・撤去
（1）（略）
（2）代表機労材規格
（略）

表3. 4 床版1次及び2次破碎・撤去 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 25t 吊	賃料
	K 2	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型 (2014年規制)〕 山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）	
	K 3	（略）	
労務	（略）		
材料	（略）		
市場単価	（略）		

- 3－5 桁1次切断・撤去
（1）条件区分
（略）

表3. 5 （略）

表3. 6 クレーン規格（相吊クレーン規格）

積算条件	区分
クレーン規格 （相吊クレーン規格）	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊
	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 35 t 吊
	（削る。）
	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 50 t 吊
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 100 t 吊
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 120 t 吊
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 160 t 吊
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 200 t 吊
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 360 t 吊

- 3－3 床版1次破碎・撤去
（1）（略）
（2）代表機労材規格
（略）

表3. 3 床版1次破碎・撤去 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 25t 吊	賃料
	K 2	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)〕 山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）	
	K 3	（略）	
労務	（略）		
材料	（略）		
市場単価	（略）		

- 3－4 床版1次及び2次破碎・撤去
（1）（略）
（2）代表機労材規格
（略）

表3. 4 床版1次及び2次破碎・撤去 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 25t 吊	賃料
	K 2	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)〕 山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）	
	K 3	（略）	
労務	（略）		
材料	（略）		
市場単価	（略）		

- 3－5 桁1次切断・撤去
（1）条件区分
（略）

表3. 5 （略）

表3. 6 クレーン規格（相吊クレーン規格）

積算条件	区分
クレーン規格 （相吊クレーン規格）	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊
	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 35 t 吊
	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 45 t 吊
	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 50 t 吊
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 100 t 吊
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 120 t 吊
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 160 t 吊
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 200 t 吊
	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 360 t 吊

(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 7 桁 1 次切断・撤去 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014 年規制)〕 25t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011 年規制)〕 35t 吊	賃料
		(削る。)	(削る。)
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014 年規制)〕 50t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 100t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 120t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 160t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 200t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 360t 吊	賃料
	K2	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014 年規制)〕 25t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く。
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011 年規制)〕 35t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く。
		(削る。)	(削る。)
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014 年規制)〕 50t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く。
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 100t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く。
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 120t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く。
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 160t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く。
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 200t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く。
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 360t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く。
	K3	(略)	
	労務	(略)	
材料	(略)		
市場単価	(略)		

(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 7 桁 1 次切断・撤去 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 25t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 35t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕 45t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 50t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 100t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 120t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 160t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 200t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 360t 吊	賃料
		K2	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 25t 吊(相吊)
	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 35t 吊(相吊)		・ 賃料 ・ 相吊クレーン無しの場合を除く。
	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕 45t 吊(相吊)		・ 賃料 ・ 相吊クレーン無しの場合を除く。
	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 50t 吊(相吊)		・ 賃料 ・ 相吊クレーン無しの場合を除く。
	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 100t 吊(相吊)		・ 賃料 ・ 相吊クレーン無しの場合を除く。
	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 120t 吊(相吊)		・ 賃料 ・ 相吊クレーン無しの場合を除く。
	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 160t 吊(相吊)		・ 賃料 ・ 相吊クレーン無しの場合を除く。
	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 200t 吊(相吊)		・ 賃料 ・ 相吊クレーン無しの場合を除く。
	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 360t 吊(相吊)		・ 賃料 ・ 相吊クレーン無しの場合を除く。
	K3	(略)	
	労務	(略)	
材料	(略)		
市場単価	(略)		

- 3－6 桁1次及び2次切断・撤去
(1) (略)
(2) 代表機材規格
(略)

表3. 9 桁1次及び2次切断・撤去 代表機材規格一覧

項目		代表機材規格	備考
機械	K1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 25t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制)〕 35t 吊	賃料
		(削る。)	(削る。)
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 50t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 100t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 120t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 160t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 200t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 360t 吊	賃料
	K2	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 25t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く。
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制)〕 35t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く。
		(削る。)	(削る。)
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)〕 50t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く。
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 100t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く。
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 120t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く。
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 160t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く。
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 200t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く。
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 360t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く。
	K3	(略)	
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

- 3－7～3－8 (略)
(参考) (略)

- ②4・②5 (略)
②6 現場取卸費

1. 適用範囲

鋼桁等（鋼桁、門扉）の現場荷卸作業で、運搬車両から直接架設せずに仮置きをするために現場取卸しする場合及び鋼管杭の現場荷卸作業に適用する。

1－1 適用できる範囲

- 1－1－1 現場取卸(鋼桁、門扉)
(1) (略)

1－1－2 (略)

1－2 適用できない範囲

- (1) 運搬車両から地組用架台に取卸す場合
(2) P C 桁を現場取卸する場合。

- 3－6 桁1次及び2次切断・撤去
(1) (略)
(2) 代表機材規格
(略)

表3. 9 桁1次及び2次切断・撤去 代表機材規格一覧

項目		代表機材規格	備考
機械	K1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 25t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 35t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕 45t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 50t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 100t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 120t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 160t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 200t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 360t 吊	賃料
	K2	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 25t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く。
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 35t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く。
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕 45t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く。
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 50t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く。
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 100t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く。
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 120t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く。
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 160t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く。
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 200t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く。
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 360t 吊(相吊)	・賃料 ・相吊クレーン無しの場合を除く。
	K3	(略)	
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

- 3－7～3－8 (略)
(参考) (略)

- ②5・②6 (略)
②7 現場取卸費

1. 適用範囲

鋼桁等（鋼桁、門扉）の現場荷卸作業で、トレーラから直接架設せずに、地組立てや仮置きをするために現場取卸しする場合及び鋼管杭の現場荷卸作業に適用する。

1－1 適用できる範囲

- 1－1－1 現場取卸(鋼桁)
(1) (略)

1－1－2 (略)

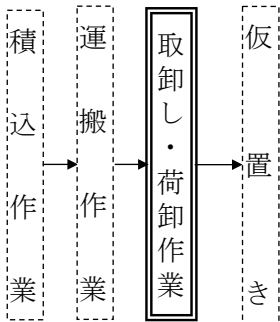
1－2 適用できない範囲

- (新設)
P C 桁を現場取卸する場合。

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。
(削る。)

(削る。)



(注) (略)

図 2-1 施工フロー

3. 施工パッケージ

3-1 現場取卸 (鋼桁、門扉)

(1) 条件区分
(略)

表 3. 1 現場取卸(鋼桁、門扉) 積算条件区分一覧

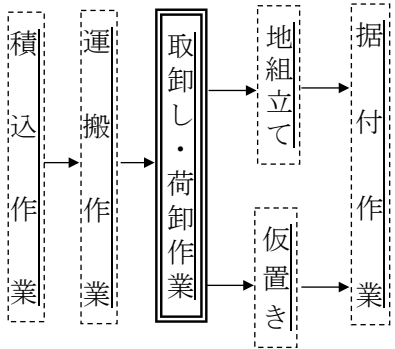
(積算単位：t)

クレーン規格	
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]	16t 吊
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]	20t 吊
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]	25t 吊
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]	35t 吊
(削る。)	
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]	50t 吊
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	100t 吊
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	120t 吊
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	160t 吊
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	200t 吊

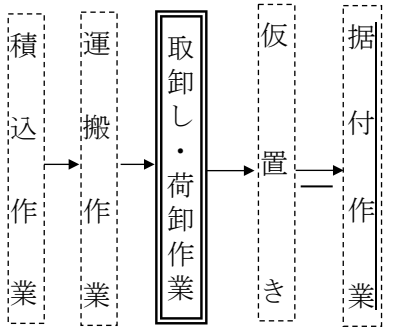
(注) (略)

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。
(1) 現場取卸し (鋼桁等)



(2) 現場取卸し (鋼管杭)



(注) (略)

3. 施工パッケージ

3-1 現場取卸 (鋼桁)

(1) 条件区分
(略)

表 3. 1 現場取卸(鋼桁) 積算条件区分一覧

(積算単位：t)

クレーン規格	
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]	16t 吊
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]	20t 吊
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]	25t 吊
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]	35t 吊
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	45t 吊
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]	50t 吊
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	100t 吊
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	120t 吊
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	160t 吊
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	200t 吊

(注) (略)

(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 2 現場取卸 (鋼桁、門扉) 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 16t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 20t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 25t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 35t 吊	賃料
		(削る。)	(削る。)
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 50t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕100t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕120t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕160t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕200t 吊	賃料
	K 2	(略)	
	K 3	(略)	
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

3-2 現場取卸 (鋼管杭)
(1) 条件区分
(略)

表 3. 3 現場取卸 (鋼管杭) 積算条件区分一覧

(積算単位 : t)

クレーン規格	
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 16t 吊	
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 20t 吊	
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊	
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 35t 吊	
(削る。)	
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 50t 吊	
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 65t 吊	

(注) (略)

(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 2 現場取卸 (鋼桁) 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 16t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 20t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 25t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 35t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕 45t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 50t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕100t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕120t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕160t 吊	賃料
		トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕200t 吊	賃料
	K 2	(略)	
	K 3	(略)	
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

3-2 現場取卸 (鋼管杭)
(1) 条件区分
(略)

表 3. 3 現場取卸 (鋼管杭) 積算条件区分一覧

(積算単位 : t)

クレーン規格	
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 16t 吊	
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 20t 吊	
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊	
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 35t 吊	
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 45t 吊	
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 50t 吊	
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 65t 吊	

(注) (略)

(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 4 現場取卸（鋼管杭） 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 2 次基準値)〕 16t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 2 次基準値)〕 20t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 2 次基準値)〕 25t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 2 次基準値)〕 35t 吊	賃料
		(削る。)	(削る。)
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 2 次基準値)〕 50t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 2 次基準値)〕 65t 吊	賃料
	K 2	(略)	
	K 3	(略)	
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

㉓ 函渠工(1)

1・2 (略)

3. 施工パッケージ

3－1 函渠

(1) 条件区分

表 3. 1・3. 2 (略)

表 3. 3 内空寸法

積算条件	区分	
内空寸法 (幅×高さ)m	①	幅：1.0 以上 2.5 未満かつ高さ：1.0 以上 2.5 未満
	②	幅：2.5 以上 4.0 以下かつ高さ：1.0 以上 2.5 未満
	③	幅：1.0 以上 2.5 未満かつ高さ：2.5 以上 4.0 以下
	④	幅：2.5 以上 4.0 未満かつ高さ：2.5 以上 4.0 以下
	⑤	幅：4.0 以上 5.5 未満かつ高さ：2.5 以上 4.0 未満
	⑥	幅：5.5 以上 7.0 以下かつ高さ：2.5 以上 4.0 未満
	⑦	幅：4.0 以上 5.5 未満かつ高さ：4.0 以上 5.5 未満
	⑧	幅：5.5 以上 7.0 <u>以下</u> かつ高さ：4.0 以上 5.5 未満
	⑨	幅：7.0 <u>超</u> 8.5 未満かつ高さ：4.0 以上 5.5 以下
	⑩	幅：8.5 以上 10.0 以下かつ高さ：4.0 以上 5.5 以下
	⑪	幅：4.0 以上 5.5 未満かつ高さ：5.5 以上 7.0 以下
	⑫	幅：5.5 以上 7.0 以下かつ高さ：5.5 以上 7.0 以下

図 (略)

図 3－1 函渠工内空寸法区分

表 3. 4 (略)

(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 4 現場取卸（鋼管杭） 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 2 次基準値)〕 16t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 2 次基準値)〕 20t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 2 次基準値)〕 25t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 2 次基準値)〕 35t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 1 次基準値)〕 45t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 2 次基準値)〕 50t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 2 次基準値)〕 65t 吊	賃料
	K 2	(略)	
	K 3	(略)	
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

㉔ 函渠工(1)

1・2 (略)

3. 施工パッケージ

3－1 函渠

(1) 条件区分

表 3. 1・3. 2 (略)

表 3. 3 内空寸法

積算条件	区分	
内空寸法 (幅×高さ)m	①	幅：1.0 以上 2.5 未満かつ高さ：1.0 以上 2.5 未満
	②	幅：2.5 以上 4.0 以下かつ高さ：1.0 以上 2.5 未満
	③	幅：1.0 以上 2.5 未満かつ高さ：2.5 以上 4.0 以下
	④	幅：2.5 以上 4.0 未満かつ高さ：2.5 以上 4.0 以下
	⑤	幅：4.0 以上 5.5 未満かつ高さ：2.5 以上 4.0 未満
	⑥	幅：5.5 以上 7.0 以下かつ高さ：2.5 以上 4.0 未満
	⑦	幅：4.0 以上 5.5 未満かつ高さ：4.0 以上 5.5 未満
	⑧	幅：5.5 以上 7.0 <u>未満</u> かつ高さ：4.0 以上 5.5 未満
	⑨	幅：7.0 <u>以上</u> 8.5 未満かつ高さ：4.0 以上 5.5 以下
	⑩	幅：8.5 以上 10.0 以下かつ高さ：4.0 以上 5.5 以下
	⑪	幅：4.0 以上 5.5 未満かつ高さ：5.5 以上 7.0 以下
	⑫	幅：5.5 以上 7.0 以下かつ高さ：5.5 以上 7.0 以下

図 3－1 函渠工内空寸法区分

図 (略)

表 3. 4 (略)

(2) 代表機労材規格
(略)

表3. 5 函渠 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	(略)	
	K 2	(略)	
	K 3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 <u>5kVA</u>	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

3-2 (略)

28 函渠工(2)

1 (略)

2. 施工パッケージ

2-1 コンクリート (場所打函渠)

(1) (略)

(2) 代表機労材規格
(略)

表3. 5 函渠 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	(略)	
	K 2	(略)	
	K 3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 <u>5kVA</u>	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

2-2~2-6 (略)

29 (略)

3章 (略)

(2) 代表機労材規格
(略)

表3. 5 函渠 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	(略)	
	K 2	(略)	
	K 3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 <u>(50/60Hz) 2.7/3kVA</u>	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

3-2 (略)

29 函渠工(2)

1 (略)

2. 施工パッケージ

2-1 コンクリート (場所打函渠)

(1) (略)

(2) 代表機労材規格
(略)

表3. 5 函渠 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	(略)	
	K 2	(略)	
	K 3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 <u>(50/60Hz) 2.7/3kVA</u>	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

2-2~2-6 (略)

30 (略)

3章 (略)

4章 河川海岸

①消波根固めブロック工

1. 適用範囲

本資料は、治山工事等において河川・海岸部に使用する消波根固めブロックの現地製作、陸上よりの敷設工事に適用する。

1－1 （略）

1－2 適用できない範囲

1－2－1 消波根固めブロック製作

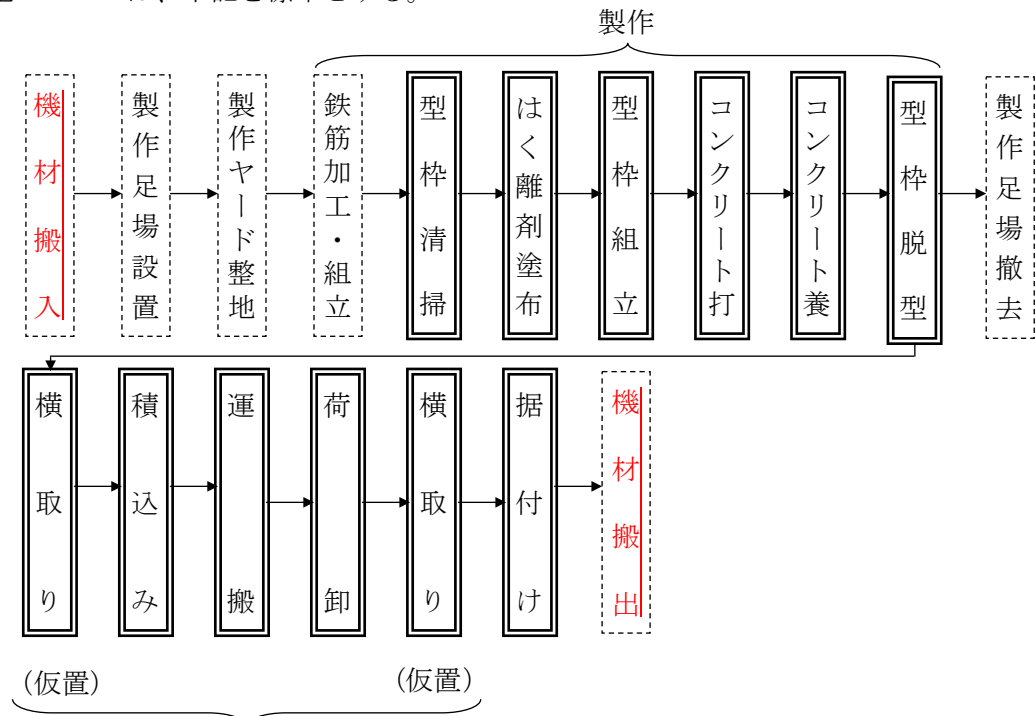
（1） （略）

（2）ハーフプレキャスト製品の場合

1－2－2～1－2－6 （略）

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



必要に応じて計上

（注） （略）

（1）横取り：ブロックの移動（型枠脱型場所～製作場所仮置場又は据付場所仮置場～据付場所）を行う作業をいう。ブロック移動距離はバックハウの場合は12m、ラフテレーンクレーンの場合はブロック実質量、作業範囲、地盤等の現場条件に応じて選定した規格能力までとする。

ただし、クレーンによる移動の範囲内で、型枠脱型場所から直接製作場所仮置場へ現場内小運搬をする場合は「型枠脱型」として取扱う。

（2）運搬：横取り作業の範囲外におけるトラック等による運搬作業をいう。

（3）荷卸：トラック等から地面に置く作業をいう。

一旦地面に置くことなく、直接トラック等からブロック据付作業を行う場合は、荷卸しはせず据付のみ計上する。

（4）据付：ブロックの敷設を行う作業をいう。ブロック移動距離はバックハウの場合は12m、ラフテレーンクレーンの場合はブロック実質量、作業範囲、地盤等の現場条件に応じて選定した規格能力までとする。

4章 河川海岸

① 消波根固めブロック工

1. 適用範囲

本資料は、治山工事等において河川・海岸部に使用する消波根固めブロックの現地製作、陸上よりの敷設工事に適用する。

1－1 （略）

1－2 適用できない範囲

1－2－1 消波根固めブロック製作

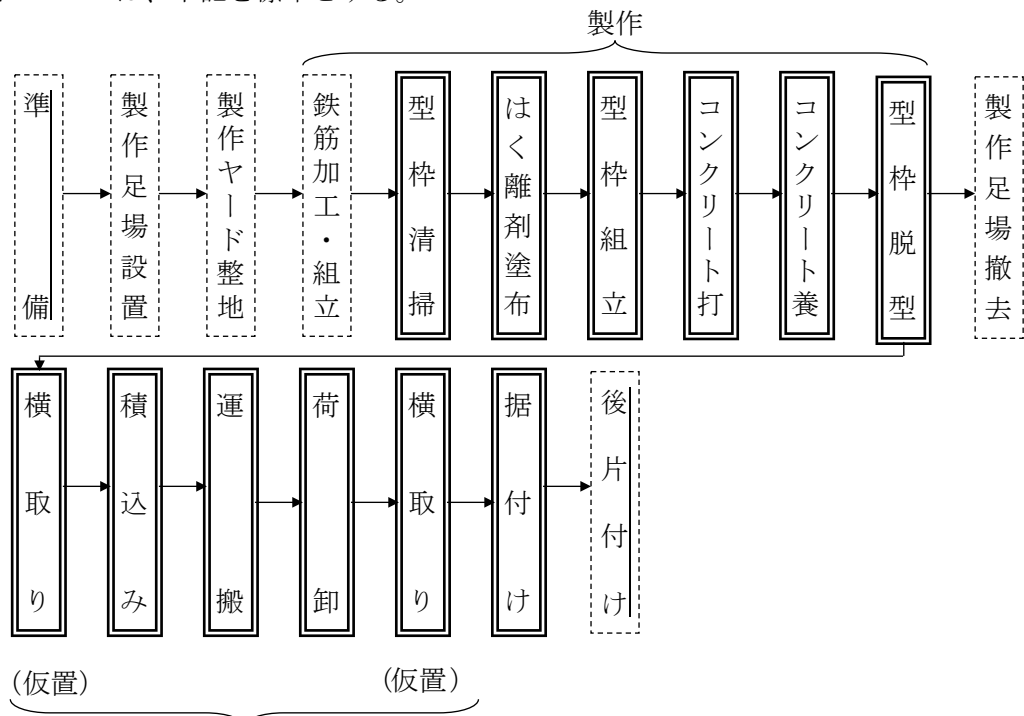
（1） （略）

（新設）

1－2－2～1－2－6 （略）

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



必要に応じて計上

（注） （略）

（1）横取り：ブロックの移動（型枠脱型場所～製作場所仮置場又は据付場所仮置場～据付場所）を目的としたもので、クレーンによるブロックの移動距離 50m未満の範囲内の作業をいう。

ただし、クレーンによる移動の範囲内で、型枠脱型場所から直接製作場所仮置場へ現場内小運搬をする場合は「型枠脱型」として取扱う。

（2）運搬：トラック等による運搬作業をいう。ただし、運搬距離が 50m未満の場合は横取りとして取扱う。

（3）荷卸：トラック等から地面に置く作業をいう。

一旦地面に置くことなく、直接ブロック据付作業を行う場合は据付作業とする。

（新設）

3. 施工パッケージ

3－1 消波根固めブロック製作

- (1) 条件区分
(略)

表 3. 1 消波根固めブロック製作 積算条件区分一覧
表 (略)

(注) 1. 上表は、消波根固めブロックの製作（現地で製作するコンクリート投入打設、型枠の組立・脱型及び清掃、はく離剤塗布）、養生（給熱養生を含む。）のほか、コンクリート バケツト、パイプレータの損料、型枠はく離剤、養生シート、練炭火鉢及び養生囲い材料（シート、栈木等）、電力に関する経費等、その施工に要する全ての機械・労務・材料費（損料を含む。）を含む。
2～5 (略)

表 3. 2～表 3. 6 (略)

- (2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 7 消波根固めブロック製作 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K1	<u>バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）〕山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）吊能力 2.9 t</u>	賃料
	K2	－	
	K3	－	
労務	R1	普通作業員	
	R2	特殊作業員	
	R3	土木一般世話役	
	R4	<u>運転手（特殊）</u>	
材料	Z1	生コンクリート 高炉 2 1－8－2 5（2 0） W／C 5 5％	
	Z2	鋼製型枠 異形ブロック 1 0 t 未満	賃料
	Z3	練炭 マッチ練炭 4 号	給熱養生の場合
	Z4	<u>軽油 パトロール給油</u>	
市場単価	S	－	

3－2 消波根固めブロック横取り

- (1) 条件区分
(略)

表 3. 8 消波根固めブロック横取り積算条件区分一覧

(積算単位：個)

消波根固めブロック規格	<u>ブロック移動距離</u>	<u>据付面高さ (H)</u>	クレーン <u>規格</u>
2.5 t 以下	<u>12m以下</u>	<u>－3m ≤ H ≤ 3m</u>	<u>－</u>
		<u>H < －3m、3m < H</u>	(表 3. 9)
	<u>12m超</u>	<u>－</u>	
2.5 t を超え5.5 t 以下	<u>－</u>	<u>－</u>	
5.5 t を超え11.0 t 以下	<u>－</u>	<u>－</u>	

- (注) 1 (略)
2. クレーン規格はブロック実質量、作業範囲、地盤等の現場条件に応じて選定する。

3. 施工パッケージ

3－1 消波根固めブロック製作

- (1) 条件区分
(略)

表 3. 1 消波根固めブロック製作 積算条件区分一覧
表 (略)

(注) 1. 上表は、消波根固めブロックの製作（現地で製作するコンクリート投入打設、型枠の組立・脱型及び清掃、はく離剤塗布）、養生（給熱養生を含む。）のほか、コンクリート 打設小器材、型枠はく離剤、インパクトレンチ損料、養生シート、練炭火鉢及び養生囲い材料（シート、栈木等）、電力に関する経費等、その施工に要する全ての機械・労務・材料費（損料を含む。）を含む。
2～5 (略)

表 3. 2～表 3. 6 (略)

- (2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 7 消波根固めブロック製作 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K1	<u>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 1 次基準値)〕25t 吊</u>	賃料
	K2	－	
	K3	－	
労務	R1	普通作業員	
	R2	特殊作業員	
	R3	土木一般世話役	
	R4	－	
材料	Z1	生コンクリート 高炉 2 1－8－2 5（2 0） W／C 5 5％	
	Z2	鋼製型枠 異形ブロック 1 0 t 未満	賃料
	Z3	練炭 マッチ練炭 4 号	給熱養生の場合
	Z4	－	
市場単価	S	－	

3－2 消波根固めブロック横取り

- (1) 条件区分
(略)

表 3. 8 消波根固めブロック横取り積算条件区分一覧

(積算単位：個)

消波根固めブロック規格	(新設)	(新設)	クレーン機種
2.5 t 以下	(新設)	(新設)	(新設)
		(新設)	(表 3. 9)
	(新設)	(新設)	
2.5 t を超え5.5 t 以下	(新設)	(新設)	
5.5 t を超え11.0 t 以下	(新設)	(新設)	

- (注) 1 (略)
2. クレーンによるブロックの移動距離 50m 未満の範囲とする。

表 3. 9 クレーン規格	
積算条件	区分
クレーン規格	ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 25 t 吊
	ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 35 t 吊
	(削る。)
	ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 50 t 吊

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 10 消波根固めブロック横取り 代表機労材規格一覧			
項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	<u>バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (2014 年規制)] 山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³) 吊能力 2.9 t</u>	<u>賃料</u> <u>消波固めブロック規格「2.5 t 以下」かつブロック移動距離「12m 以下」かつ据付面高さ (H) 「-3m ≤ H ≤ 3m」の場合</u>
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (<u>第 3 次基準値</u>)] 25 t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (<u>第 3 次基準値</u>)] 35 t 吊	賃料
		(削る。)	(削る。)
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (<u>第 3 次基準値</u>)] 50 t 吊	賃料
	K 2	-	
	K 3	-	
労務	R 1	土木一般世話役	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	普通作業員	
	R 4	<u>運転手 (特殊)</u>	<u>消波固めブロック規格「2.5 t 以下」かつブロック移動距離「12m 以下」かつ据付面高さ (H) 「-3m ≤ H ≤ 3m」の場合</u>
材料	Z 1	<u>軽油 パトロール給油</u>	<u>消波固めブロック規格「2.5 t 以下」かつブロック移動距離「12m 以下」かつ据付面高さ (H) 「-3m ≤ H ≤ 3m」の場合</u>
	Z 2	-	
	Z 3	-	
	Z 4	-	
市場単価	S	-	

表 3. 9 クレーン機種	
積算条件	区分
クレーン機種	ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 25 t 吊
	ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 35 t 吊
	ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 45 t 吊
	ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ型) 50 t 吊

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 10 消波根固めブロック横取り 代表機労材規格一覧			
項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	(新設)	(新設)
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (<u>第 1 次基準値</u>)] 25 t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (<u>第 1 次基準値</u>)] 35 t 吊	賃料
		<u>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第 1 次基準値)] 45 t 吊</u>	<u>賃料</u>
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (<u>第 1 次基準値</u>)] 50 t 吊	賃料
	K 2	-	
	K 3	-	
労務	R 1	土木一般世話役	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	普通作業員	
	R 4	＝	(新設)
材料	Z 1	＝	(新設)
	Z 2	-	
	Z 3	-	
	Z 4	-	
市場単価	S	-	

3－3 消波根固めブロック積込み

(1) 条件区分
(略)

表 3. 11 消波根固めブロック積込み積算条件区分一覧
(積算単位：個)

消波根固めブロック	クレーン規格
2.5 t 以下	＝
2.5 t を超え 5.5 t 以	(表 3.9)
5.5 t を超え 11.0 t	

(注) (略)

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 12 消波根固めブロック積込み 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	<u>バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）〕山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）吊能力 2.9 t</u>	<u>賃料</u> <u>消波固めブロック規格</u> <u>「2.5 t 以下」</u>
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 3 次基準値)〕25 t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 3 次基準値)〕35 t 吊	賃料
		(削る。)	(削る。)
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 3 次基準値)〕50 t 吊	賃料
	K 2	－	
	K 3	－	
労務	R 1	土木一般世話役	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	普通作業員	
	R 4	<u>運転手（特殊）</u>	<u>消波固めブロック規格</u> <u>「2.5 t 以下」</u>
材料	Z 1	<u>軽油 パトロール給油</u>	<u>消波固めブロック規格</u> <u>「2.5 t 以下」</u>
	Z 2	－	
	Z 3	－	
	Z 4	－	
市場単価	S	－	

3－3 消波根固めブロック積込み

(1) 条件区分
(略)

表 3. 11 消波根固めブロック積込み積算条件区分一覧
(積算単位：個)

消波根固めブロック	クレーン機種
2.5 t 以下	(新設)
2.5 t を超え 5.5 t 以	(表 3.9)
5.5 t を超え 11.0 t	

(注) (略)

(2) 代表機労材規格

(略)

表 3. 12 消波根固めブロック積込み 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	(新設)	(新設)
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 1 次基準値)〕25 t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 1 次基準値)〕35 t 吊	賃料
		<u>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 1 次基準値)〕45 t 吊</u>	<u>賃料</u>
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 1 次基準値)〕50 t 吊	賃料
	K 2	－	
	K 3	－	
労務	R 1	土木一般世話役	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	普通作業員	
	R 4	＝	(新設)
材料	Z 1	＝	(新設)
	Z 2	－	
	Z 3	－	
	Z 4	－	
市場単価	S	－	

3－4 消波根固めブロック荷卸

(1) 条件区分
(略)

表 3. 13 消波根固めブロック荷卸積算条件区分一覧

(積算単位：個)

消波根固めブロック規格	クレーン規格
2.5 t 以下	二
2.5 t を超え 5.5 t 以下	(表 3.9)
5.5 t を超え 11.0 t 以下	

(注) 1. 上表は、消波根固めブロックの荷卸、ワイヤーロープ等、その施工に要する全ての機械・労務・材料費(損料を含む。)を含む。
2. トラック等から直接ブロック据付作業を行う場合は据付作業とする。

(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 14 消波根固めブロック荷卸 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	<u>バックハウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (2014 年規制)] 山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³) 吊能力 2.9 t</u>	<u>賃料</u> <u>消波固めブロック規格「2.5 t 以下」</u>
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (<u>第 3 次</u> 基準値)] 25 t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (<u>第 3 次</u> 基準値)] 35 t 吊	賃料
		(削る。)	(削る。)
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (<u>第 3 次</u> 基準値)] 50 t 吊	賃料
	K 2	-	
	K 3	-	
労務	R 1	土木一般世話役	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	普通作業員	
	R 4	<u>運転手 (特殊)</u>	<u>消波固めブロック規格「2.5 t 以下」</u>
材料	Z 1	<u>軽油 パトロール給油</u>	<u>消波固めブロック規格「2.5 t 以下」</u>
	Z 2	-	
	Z 3	-	
	Z 4	-	
市場単価	S	-	

3－4 消波根固めブロック荷卸

(1) 条件区分
(略)

表 3. 13 消波根固めブロック荷卸積算条件区分一覧

(積算単位：個)

消波根固めブロック規格	クレーン機種
2.5 t 以下	(新設)
2.5 t を超え 5.5 t 以下	(表 3.9)
5.5 t を超え 11.0 t 以下	

(注) 上表は、消波根固めブロックの荷卸、ワイヤーロープ等、その施工に要する全ての機械・労務・材料費(損料を含む。)を含む。

(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 14 消波根固めブロック荷卸 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	(新設)	(新設)
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (<u>第 1 次</u> 基準値)] 25 t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (<u>第 1 次</u> 基準値)] 35 t 吊	賃料
		<u>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第 1 次基準値)] 45 t 吊</u>	<u>賃料</u>
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (<u>第 1 次</u> 基準値)] 50 t 吊	賃料
	K 2	-	
	K 3	-	
労務	R 1	土木一般世話役	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	普通作業員	
	R 4	二	(新設)
材料	Z 1	二	(新設)
	Z 2	-	
	Z 3	-	
	Z 4	-	
市場単価	S	-	

3－5 消波根固めブロック据付け
(1) 条件区分
(略)

表 3．15 消波根固めブロック据付け 積算条件区分一覧

(積算単位：個)

消波根固め ブロック規格	据付場所	<u>ブロック 移動距離</u>	<u>据付面高さ (H)</u>	消波根固めブロック 10 個当たり連結金具 設置数量	据付 方法	クレーン <u>規格</u>				
2.5 t 以下	陸上	<u>12m以下</u>	<u>－3m≦H≦3m</u>	実数入力	<u>乱積</u>	<u>二</u>				
			<u>層積</u>							
		<u>12m超</u>	<u>H<－3m、3m<H</u>		<u>乱積</u>	(表 3. 9)				
			<u>層積</u>							
	水中	<u>二</u>	<u>二</u>		乱積					
					層積					
2.5 t を超え 5.5 t 以下	陸上				乱積					
					層積					
	水中				乱積					
					層積					
5.5 t を超え 11.0 t 以下	陸上				乱積					
					層積					
	水中				乱積					
					層積					

(注) 1・2 (略)

3. クレーン規格はブロック実質量、作業範囲、地盤等の現場条件に応じて選定する。
4. 連結金具設置の有無にかかわらず適用できる。

3－5 消波根固めブロック据付け
(1) 条件区分
(略)

表 3．15 消波根固めブロック据付け 積算条件区分一覧

(積算単位：個)

消波根固め ブロック規格	据付場所	(新設)	(新設)	消波根固めブロック 10 個当たり連結金具 設置数量	据付 方法	クレーン 機種
2.5 t 以下	陸上	(新設)	(新設)	実数入力	(新設)	(新設)
			(新設)		(新設)	
		(新設)	(新設)		(新設)	(新設)
			(新設)		(新設)	乱積
	水中	(新設)	(新設)		層積	
					乱積	
層積						
乱積						
層積						
乱積						
層積						
乱積						
層積						
2.5 t を超え 5.5 t 以下	陸上				(新設)	(新設)
	水中	層積				
5.5 t を超え 11.0 t 以下	陸上	乱積				
		層積				
	水中	乱積				
		層積				

(注) 1・2 (略)

(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 16 消波根固めブロック据付け 代表機労材規格一覧			
項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	<u>バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）〕 山積 0.8 m³（平積 0.6 m³） 吊能力 2.9 t</u>	<u>賃料</u> <u>据付場所が「陸上」かつ消波固めブロック規格「2.5 t 以下」かつブロック移動距離「12m以下」かつ据付面高さ（H）「－3m≦H≦3 m」の場合</u>
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（ <u>第 3 次</u> 基準値）〕 25 t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（ <u>第 3 次</u> 基準値）〕 35 t 吊	賃料
		（削る。）	（削る。）
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（ <u>第 3 次</u> 基準値）〕 50 t 吊	賃料
	K 2	－	
	K 3	－	
労務	R 1	土木一般世話役	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	普通作業員	
	R 4	<u>運転手（特殊）</u>	<u>据付場所が「陸上」かつ消波固めブロック規格「2.5 t 以下」かつブロック移動距離「12m以下」かつ据付面高さ（H）「－3m≦H≦3 m」の場合</u>
		潜水送気員	据付の場所が「水中」の場合
材料	Z 1	連結金具(根固めブロック用) φ 16mm	
	Z 2	<u>軽油</u> <u>パトロール給油</u>	<u>据付場所が「陸上」かつ消波固めブロック規格「2.5 t 以下」かつブロック移動距離「12m以下」かつ据付面高さ（H）「－3m≦H≦3 m」の場合</u>
	Z 3	－	
	Z 4	－	
市場単価	S	－	

3－6 (略)

②・③ (略)

(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 16 消波根固めブロック据付け 代表機労材規格一覧			
項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	(新設)	(新設)
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（ <u>第 1 次</u> 基準値）〕 25 t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（ <u>第 1 次</u> 基準値）〕 35 t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（ <u>第 1 次</u> 基準値）〕 45 t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（ <u>第 1 次</u> 基準値）〕 50 t 吊	賃料
	K 2	－	
	K 3	－	
労務	R 1	土木一般世話役	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	普通作業員	
	R 4	(新設)	(新設)
		潜水送気員	据付の場所が「水中」の場合
材料	Z 1	連結金具(根固めブロック用) φ 16mm	
	Z 2	＝	(新設)
	Z 3	－	
	Z 4	－	
市場単価	S	－	

3－6 (略)

②・③ (略)

- ① (略)
- ② 木杭打工
- 1・2 (略)
- 3. 施工パッケージ
 - 3－1 木杭打工
 - (1) (略)
 - (2) 代表機労材規格 (略)

表 3. 1 木杭打 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（ <u>第 3 次基準値</u> ）〕 山積 <u>0.5 m³</u> （平積 <u>0.4 m³</u> ）	
	K 2	(略)	
	K 3	(略)	
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

③ 護岸基礎ブロック工

1. 適用範囲

本資料は、治山工事等における河川・海岸部の護岸のプレキャスト基礎ブロック（ブロック長 1,000 mm以上 5,000 mm以下、ブロック質量 4,000kg／個以下）の据付及び中詰コンクリート打設の施工に適用する。

1－1 適用できる範囲

1－1－1 護岸基礎ブロック据付
(削る。)

(削る。)

- (1) ブロック長が 1,000 mm以上 5,000 mm以下の場合
- (2) ブロック質量 4,000kg／個以下の場合
- (3) 作業半径が 14.0m以下の場合

1－1－2 中詰コンクリート打設

- (1) 護岸基礎ブロック工における中詰（プレキャスト基礎）に適用できる。
- (2) 作業半径が 8.0m以下の場合

- ① (略)
- ② 木杭打工
- 1・2 (略)
- 3. 施工パッケージ
 - 3－1 木杭打工
 - (1) (略)
 - (2) 代表機労材規格 (略)

表 3. 1 木杭打 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（ <u>第 1 次基準値</u> ）〕 山積 <u>0.45 m³</u> （平積 <u>0.35 m³</u> ）	
	K 2	(略)	
	K 3	(略)	
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

③ 護岸基礎ブロック工

1. 適用範囲

本資料は、治山工事等における河川・海岸部の護岸のプレキャスト基礎ブロック（ブロック長 2 m、3.3 m、4 m、5 m）の施工に適用する。

1－1 適用できる範囲

1－1－1 プレキャスト基礎

(1) 中詰材の種類がコンクリートの場合

- ・ブロック長が 2 m、3.3 m、5 mの場合
- ・ブロック下幅が 500mm 以上、1、100mm 以下の場合

(2) 中詰材の種類がコンクリート以外又は無しの場合

- ・ブロック長が 2 m、3.3 m、4 m、5 mの場合
- ・ブロック下幅が 400mm 以上、1、100mm 以下の場合
- ・中詰材料にコンクリート以外のものを使用する場合
- ・中詰作業を行わない場合（ただし、連結部分にだけ中詰作業を行うものは含む。）

(新設)

(新設)

(新設)

1－1－2 中詰コンクリート打設

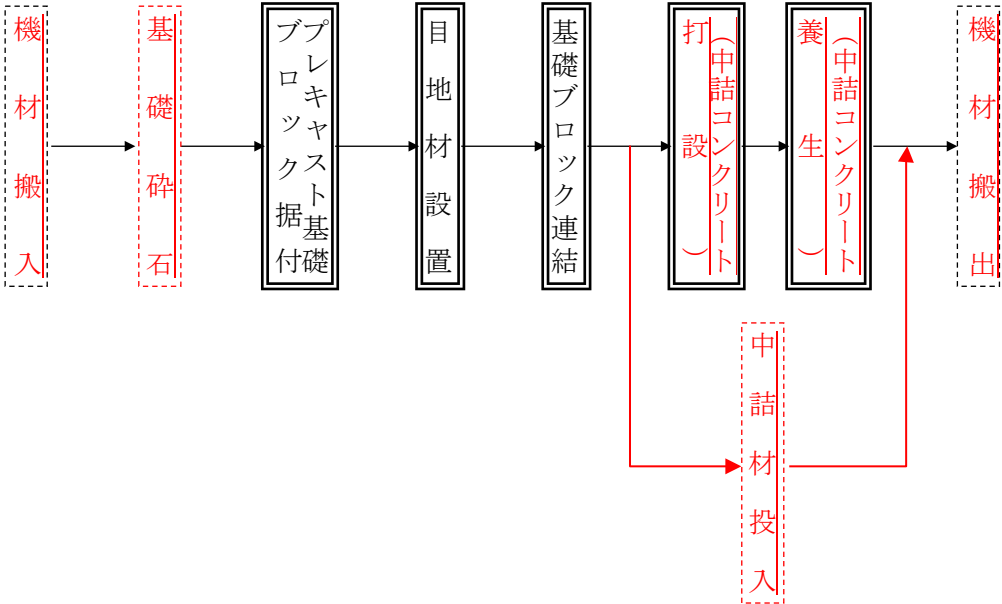
- ・護岸基礎ブロック工における中詰（プレキャスト基礎）に適用できる。

(新設)

2. 施工概要

(削る。)

施工フローは、下記を標準とする。



- (注) 1 (略)
2. 基礎砕石は、必要に応じて別途考慮する。
3 (略)
4. 中詰コンクリート打設及び養生は、必要に応じて計上する。
5. 中詰材投入は、中詰めにコンクリート以外のものを使用する場合、必要に応じて別途考慮する。

図 2-1 施工フロー

(削る。)

3. 施工パッケージ

3-1 プレキャスト基礎

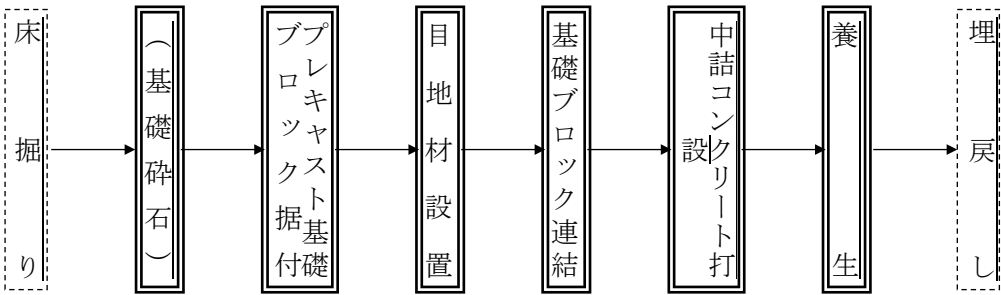
- (1) 条件区分
(略)

2. 施工概要

2-1 中詰材の種類 (コンクリート)

施工フローは、下記を標準とする。

図 2-1 施工フロー

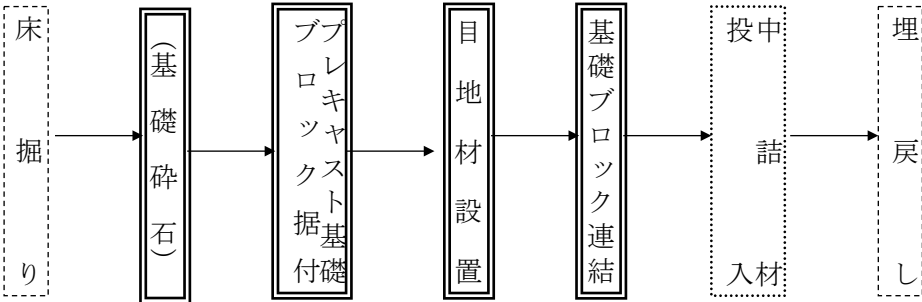


- (注) 1 (略)
2. 基礎砕石は、必要に応じて計上する。
3 (略)
4. 一般養生、特殊養生にかかわらず適用できる。

2-2 中詰材の種類 (コンクリート以外又は無し)

施工フローは、下記を標準とする。

図2-2 施工フロー



- (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重線部分のみである。
2. 基礎砕石は、必要に応じて計上する。
3. 目地材設置の有無にかかわらず適用できる。
4. 一般養生、特殊養生にかかわらず適用できる。
5. 中詰材は、必要に応じて計上する。

3. 施工パッケージ

3-1 プレキャスト基礎

- (1) 条件区分
(略)

(削る。)

表 3. 1 プレキャスト基礎 積算条件区分一覧

(積算単位：m)			
中詰材の種類	ブロック製品長	ブロック下幅	基礎碎石規格
コンクリート	2,000mm	(表 3. 2)	(表 3. 4)
	3,300mm		
	5,000mm		
コンクリート以外 又は無し	2,000mm	(表 3. 3)	
	3,300mm		
	4,000mm		
	5,000mm		

(注) 1. 上表は、基礎材、プレキャスト基礎ブロック（据付け、連結、目地材）、中詰コンクリート投入、養生（中詰材の種類がコンクリートの場合）等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む。）を含む。ただし、プレキャスト基礎（材料費）、中詰コンクリート（材料費）及び連結金具は含まない。
2. プレキャスト基礎ブロック、連結金具及び中詰コンクリートの材料費は別途計上する。
3. 基礎碎石の敷均し厚は、20cm 以下を標準としており、これにより難しい場合は、基礎碎石規格は無しとし、「2 章④基礎・裏込碎石工」より基礎碎石を別途計上する。

表 3. 1 護岸基礎ブロック据付 積算条件区分一覧

(積算単位：m)			
<u>ブロック質量</u>	<u>据付作業半径</u>	<u>据付高さ (H)</u>	<u>ブロック製品長</u>
<u>2,000kg／個以下</u>	<u>5.0m以下</u>	<u>$H < -5.0\text{m}$</u>	<u>(表 3.2)</u>
		<u>$-5.0\text{m} \leq H$</u>	<u>(表 3.3)</u>
	<u>5.0mを超え 8.0m以下</u>	<u>$H < -2.0\text{m}$</u>	<u>(表 3.2)</u>
		<u>$-2.0\text{m} \leq H$</u>	<u>(表 3.3)</u>
	<u>8.0mを超え 14.0m以下</u>	＝	
<u>2,000kg／個を超え 4,000kg／個以下</u>	＝		

(注) 1. 上表は、プレキャスト基礎ブロックの据付け、連結、目地材の設置、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む。）を含む。ただし、プレキャスト基礎（材料費）、連結金具の材料費、中詰コンクリート打設（材料含む。）及び養生は含まない。なお、目地材の設置の有無にかかわらず適用できる。
2. プレキャスト基礎、連結金具の材料費、中詰コンクリート打設（材料含む。）及び養生は別途計上する。

(新設)

表 3. 2 ブロック製品長 (1,000 mm以上 5,000 mm以下)

積算条件	区 分
ブロック製品長	1,000 mm以上 1,500 mm以下
	1,500 mmを超え 2,000 mm以下
	2,000 mmを超え 2,500 mm以下
	2,500 mmを超え 3,000 mm以下
	3,000 mmを超え 3,500 mm以下
	3,500 mmを超え 4,000 mm以下
	4,000 mmを超え 4,500 mm以下
	4,500 mmを超え 5,000 mm以下

表 3. 3 ブロック製品長 (2,000 mm以上 5,000 mm以下)

積算条件	区 分
ブロック製品長	2,000 mm以上 2,500 mm以下
	2,500 mmを超え 3,000 mm以下
	3,000 mmを超え 3,500 mm以下
	3,500 mmを超え 4,000 mm以下
	4,000 mmを超え 4,500 mm以下
	4,500 mmを超え 5,000 mm以下

表 3. 2 ブロック下幅 (中詰材の種類がコンクリートの場合)

積算条件	区 分
ブロック下幅	500 mm以上 600 mm未満
	600 mm以上 700 mm未満
	700 mm以上 900 mm未満
	900 mm以上 1,100 mm未満
	1,100 mm
	(新設)
	(新設)
	(新設)

表 3. 3 ブロック下幅 (中詰材の種類がコンクリート以外又は無しの場合)

積算条件	区 分
ブロック下幅	400 mm以上 500 mm未満
	500 mm以上 600 mm未満
	600 mm以上 700 mm未満
	700 mm以上 900 mm未満
	900 mm以上 1,100 mm未満
	1,100 mm

(削る。)

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 4 護岸基礎ブロック据付 代表機労材規格一覧

<u>ブロック質量</u> <u>作業半径、据付高さ (H)</u>		項目	代表機労材規格	備考
<u>質量：2,000kg／個以下</u> <u>据付作業半径：5m以下</u> <u>据付高さ：H<－5.0m</u>	機械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (<u>2011 年基準値</u>) 〕 25 t 吊	賃料
		K 2	<u>＝</u>	(削る。)
		K 3	－	
	労務	R 1	普通作業員	
		R 2	特殊作業員	
		R 3	土木一般世話役	
		R 4	<u>＝</u>	(削る。)
	材料	Z 1	<u>＝</u>	(削る。)
		Z 2	<u>＝</u>	(削る。)
		Z 3	－	
		Z 4	－	
<u>質量：2,000kg／個を超え</u> <u>4,000kg／個以下</u> <u>据付作業半径：</u> <u>14.0m以下</u>	市場単価	S	－	
<u>質量：2,000kg／個以下</u> <u>据付作業半径：5m以下</u> <u>据付高さ：－5.0m≦H</u>	機械	<u>K 1</u>	<u>バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（2014 年規制）〕</u> <u>山積 0.8 m³（平積 0.6 m³）</u> <u>吊能力 2.9 t</u>	<u>賃料</u>
		<u>K 2</u>	<u>＝</u>	
		<u>K 3</u>	<u>＝</u>	
	労務	<u>R 1</u>	<u>普通作業員</u>	
		<u>R 2</u>	<u>特殊作業員</u>	
		<u>R 3</u>	<u>土木一般世話役</u>	
		<u>R 4</u>	<u>運転手（特殊）</u>	
	材料	<u>Z 1</u>	<u>軽油パトロール給油</u>	
		<u>Z 2</u>	<u>＝</u>	
		<u>Z 3</u>	<u>＝</u>	
		<u>Z 4</u>	<u>＝</u>	
	市場単価	<u>S</u>	<u>＝</u>	

表 3. 4 基礎碎石規格

積算条件	区 分
基礎碎石規格	<u>クラッシャラン C-40</u>
	<u>再生クラッシャラン RC-40</u>
	<u>碎石（各種）</u>
	<u>無し</u>

(2) 代表機労材規格

(略)

表 3. 5 プレキャスト基礎 代表機労材規格一覧

(新設)	項目		代表機労材規格	備考
(新設)	機械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (<u>第 1 次基準値</u>) 〕 25 t 吊	賃料
		K 2	<u>バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014 年規制）〕</u> 山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)	<u>・賃料</u> <u>・基礎碎石有りの場合</u> <u>合</u>
		K 3	－	
	労務	R 1	普通作業員	
		R 2	特殊作業員	
		R 3	土木一般世話役	
		R 4	<u>運転手（特殊）</u>	<u>基礎碎石有りの場合</u>
	材料	Z 1	<u>再生クラッシャラン RC-40</u>	<u>基礎碎石有りの場合</u>
		Z 2	<u>軽油パトロール給油</u>	<u>基礎碎石有りの場合</u>
		Z 3	－	
		Z 4	－	
	市場単価	S	－	
(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)
		(新設)	(新設)	
		(新設)	(新設)	
	(新設)	(新設)	(新設)	
		(新設)	(新設)	
		(新設)	(新設)	
		(新設)	(新設)	
	(新設)	(新設)	(新設)	
		(新設)	(新設)	
		(新設)	(新設)	
		(新設)	(新設)	
	(新設)	(新設)	(新設)	

3－2 プレキャスト基礎（材料費）

（1）条件区分

プレキャスト基礎ブロック（材料費）における積算条件区分はない。
積算単位はmとする。

（削る。）

3－3 中詰コンクリート 打設

（1）条件区分

条件区分は、次表を標準とする。
作業半径が 8.0mを超える場合は別途考慮する。

表 3. 5 中詰コンクリート 打設 積算条件区分一覧
(積算単位：m)

コンクリート規格	<u>養生工の有無</u>
(表 3. 6)	<u>有り</u>
	<u>無し</u>

(注) (削る。)

(削る。)

1. 上表は中詰コンクリート打設及び養生等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む。）を含む。
2. 養生は、養生マットによる被覆養生を標準とする。
3. 特殊養生を必要とする場合は養生工無しを選択し、別途考慮する。
4. レディーミクストコンクリートの材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.05）

表 3. 6 生コンクリート規格
(略)

3－2 プレキャスト基礎（材料費）

（1）条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 6 プレキャスト基礎（材料費） 積算条件区分一覧
(積算単位：m)

<u>ブロック製品長</u>
<u>2,000mm</u>
<u>3,300mm</u>
<u>4,000mm</u>
<u>5,000mm</u>

(注) 上表は、プレキャスト基礎ブロック、連結金具及びコンクリート以外の中詰材の材料費を含む。

3－3 中詰コンクリート (材料費)

（1）条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 7 中詰コンクリート (材料費) 積算条件区分一覧
(積算単位：m)

コンクリート規格	(新設)
(表 3. 9)	(新設)
	(新設)

- (注) 1. 上表は、プレキャスト基礎ブロックの中詰コンクリートに適用し、使用量はプレキャスト基礎ブロック 1 m 当たりの必要量を計上する。
2. レディーミクストコンクリートの使用量は、次式による。
使用量 (m³/m) = 設計量 (m³/m) × (1 + K) … 式 3. 1
K：ロス率

表 3. 8 ロス率(K)

<u>材 料</u>	<u>ロス率</u>
<u>レディーミクストコンクリート</u>	<u>+0.05</u>

(新設)
(新設)
(新設)
(新設)

表 3. 9 生コンクリート規格
(略)

(2) 代表機労材規格
下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 7 中詰コンクリート打設 代表機労材規格一覧			
項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（2014 年規制）〕 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ） 吊能力 2.9 t	賃料
	K 2	—	
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	土木一般世話役	
	R 4	運転手（特殊）	
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	
	Z 2	軽油 パトロール給油	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

(削る。)

(新設)

3－4 中詰コンクリート打設

- (1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 10 中詰コンクリート打設 積算条件区分一覧
(積算単位：m³)

コンクリート規格
(表 3.9)

- (注) 1. 上表は、中詰コンクリートクレーン車打設及び養生等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む。）を含む。
2. 養生は、養生材の被覆、散水養生、被覆養生程度とする。
3. レディーミクストコンクリートの材料ロスを含む。（標準ロス率は、＋0.05）

- (2) 代表機労材規格
下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 11 中詰コンクリート打設 代表機労材規格一覧			
項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 1 次基準値）〕 25 t 吊	賃料
	K 2	—	
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	土木一般世話役	
	R 4	—	
材料	Z	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	

④ かごマット工

1. 適用範囲

本資料は、一般部又は曲線部の鉄線かごを使用した護岸でのかごマット（スロープ型）の施工に適用する。粗面のカゴ蓋を使用する場合にも適用する。

1－1 （略）

1－2 適用できない範囲

（1） （略）

（2） 吸出防止材をかごマットの下面以外にも設置する場合

2 （略）

3. 施工パッケージ

3－1 かごマット設置（スロープ型）

（1）条件区分

（略）

表3. 1 かごマット設置（スロープ型） 積算条件区分
（表） （略）

（注）1・2 （略）

3. 吸出し防止材はかごマット下面への設置とし、厚さ 10 mm を標準とする。

4・5 （略）

（2） （略）

⑤・⑥ （略）

	1		
	Z	－	
	2		
	Z	－	
	3		
	Z	－	
	4		
	Z	－	
市場単価	S	－	

④ かごマット工

1. 適用範囲

本資料は、一般部又は曲線部の鉄線かごを使用した護岸でのかごマット（スロープ型）の施工に適用する。粗面のカゴ蓋を使用する場合にも適用する。

1－1 （略）

1－2 適用できない範囲

（1） （略）

（新設）

2 （略）

3. 施工パッケージ

3－1 かごマット設置（スロープ型）

（1）条件区分

（略）

表3. 1 かごマット設置（スロープ型） 積算条件区分
（表） （略）

（注）1・2 （略）

3. 吸出し防止材は厚さ 10 mm を標準とする。

4・5 （略）

（2） （略）

⑤・⑥ （略）

6章 治山・地すべり防止工

① ソイルセメント工

1・2 (略)

3. 施工パッケージ

3－1・3－2 (略)

3－3 粒径処理土運搬

粒径処理土の運搬は、「森林整備保全事業標準歩掛 運搬工」による。ただし、これにより
難しい場合は、別途考慮する。

3－4 (略)

3－5 混合材料運搬

混合材料の運搬は、「森林整備保全事業標準歩掛 運搬工」による。ただし、これにより難
い場合は、別途考慮する。

3－6・3－7 (略)

② (略)

6章 治山・地すべり防止工

① ソイルセメント工

1・2 (略)

3. 施工パッケージ

3－1・3－2 (略)

3－3 粒径処理土運搬

粒径処理土の運搬は、「森林整備保全事業標準歩掛 山地治山土工」による。ただし、これ
により難しい場合は、別途考慮する。

3－4 (略)

3－5 混合材料運搬

混合材料の運搬は、「森林整備保全事業標準歩掛 山地治山土工」による。ただし、これに
より難しい場合は、別途考慮する。

3－6・3－7 (略)

② (略)

7章 道路舗装

① 路盤工

1. 適用範囲

(略)

1－1 適用できる範囲

(1) (略)

(2) 車道・路肩部における上層路盤（粒度調整碎石路盤）及び下層路盤の施工幅が3.1m以上の場合

(3) ～ (5) (略)

1－2 (略)

2 (略)

3. 施工パッケージ

3－1 不陸整正

(1) 条件区分

(略)

表3. 1 (略)

表3. 2 補足材料平均厚さ

積算条件	区分
補足材料平均厚さ	<u>1mm 以上 6mm 未満</u>
	<u>6mm 以上 11mm 未満</u>
	<u>11mm 以上 16mm 未満</u>
	<u>16mm 以上 22mm 未満</u>
	<u>22mm 以上 28mm 未満</u>
	<u>28mm 以上 34mm 未満</u>
	<u>34mm 以上 40mm 未満</u>
	<u>40mm 以上 46mm 未満</u>
	<u>46mm 以上 53mm 未満</u>
	<u>53mm 以上 60mm 未満</u>
	<u>60mm 以上 68mm 未満</u>
	<u>68mm 以上 75mm 未満</u>
	(削る。)
	(削る。)
	(削る。)
	(削る。)

表3. 3 (略)

7章 道路舗装

① 路盤工

1. 適用範囲

(略)

1－1 適用できる範囲

(1) (略)

(新設)

(2) ～ (4) (略)

1－2 (略)

2 (略)

3. 施工パッケージ

3－1 不陸整正

(1) 条件区分

(略)

表3. 1 (略)

表3. 2 補足材料平均厚さ

積算条件	区分
補足材料平均厚さ	<u>1mm 以上 3mm 未満</u>
	<u>3mm 以上 6mm 未満</u>
	<u>6mm 以上 9mm 未満</u>
	<u>9mm 以上 13mm 未満</u>
	<u>13mm 以上 17mm 未満</u>
	<u>17mm 以上 21mm 未満</u>
	<u>21mm 以上 25mm 未満</u>
	<u>25mm 以上 29mm 未満</u>
	<u>29mm 以上 34mm 未満</u>
	<u>34mm 以上 39mm 未満</u>
	<u>39mm 以上 44mm 未満</u>
	<u>44mm 以上 49mm 未満</u>
	<u>49mm 以上 55mm 未満</u>
	<u>55mm 以上 61mm 未満</u>
	<u>61mm 以上 67mm 未満</u>
	<u>67mm 以上 75mm 未満</u>

表3. 3 (略)

(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 4 不陸整正 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K1	モータグレーダ〔土工用・排出ガス対策型 (2014 年規制)〕 ブレード幅 3.1m	
	K2	ロードローラ〔マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型 (2014 年規制)〕 運転質量 10t	賃料
	K3	タイヤローラ〔普通型・超低騒音型・排出ガス対策型 (2014 年規制)〕 運転質量 13～14t	賃料
労務	R1	運転手 (特殊)	
	R2	普通作業員	
	R3	特殊作業員	
	R4	土木一般世話役	
材料	(略)		
市場単価	(略)		

3－2 下層路盤（車道・路肩部）

(1) (略)

(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 7 下層路盤（車道・路肩部） 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K1	モータグレーダ〔土工用・排出ガス対策型 (2014 年規制)〕 ブレード幅 3.1m	
	K2	ロードローラ〔マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型 (2014 年規制)〕 運転質量 10t	賃料
	K3	タイヤローラ〔普通型・超低騒音型・排出ガス対策型 (2014 年規制)〕 運転質量 13～14t	賃料
労務	R1	運転手 (特殊)	
	R2	普通作業員	
	R3	特殊作業員	
	R4	土木一般世話役	
材料	(略)		
市場単価	(略)		

(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 4 不陸整正 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K1	モータグレーダ〔土工用・排出ガス対策型 (第 2 次基準値)〕 ブレード幅 3.1m	
	K2	ロードローラ〔マカダム・排出ガス対策型 (第 2 次基準値)〕 運転質量 10t 締固め幅 2.1m	(新設)
	K3	タイヤローラ〔普通型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値)〕 運転質量 8～20t	賃料
労務	R1	運転手 (特殊)	
	R2	特殊作業員	
	R3	普通作業員	
	R4	土木一般世話役	
材料	(略)		
市場単価	(略)		

3－2 下層路盤（車道・路肩部）

(1) (略)

(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 7 下層路盤（車道・路肩部） 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K1	モータグレーダ〔土工用・排出ガス対策型 (第 2 次基準値)〕 ブレード幅 3.1m	
	K2	ロードローラ〔マカダム・排出ガス対策型 (第 2 次基準値)〕 運転質量 10t 締固め幅 2.1m	(新設)
	K3	タイヤローラ〔普通型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値)〕 運転質量 8～20t	賃料
労務	R1	特殊作業員	
	R2	運転手 (特殊)	
	R3	普通作業員	
	R4	土木一般世話役	
材料	(略)		
市場単価	(略)		

- 3－3 下層路盤（歩道部）
- （１）（略）
- （２）代表機労材規格
（略）

表 3. 10 下層路盤（歩道部） 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K1	小型バックホウ（クローラ型）〔 <u>後方超小旋回型・超低騒音型</u> ・排出ガス対策型（ <u>第3次基準値</u> ）〕 山積 <u>0.09 m³</u> （平積 <u>0.07 m³</u> ）	（削る。）
	K2	振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式・ <u>超低騒音型</u> ・排出ガス対策型（ <u>第3次基準値</u> ）〕 質量 3～4 t	賃料
	K3	—	
労務	R1	<u>運転手（特殊）</u>	
	R2	<u>普通作業員</u>	
	R3	<u>特殊作業員</u>	
	R4	<u>土木一般世話役</u>	
材料	（略）		
市場単価	（略）		

- 3－4 上層路盤（車道・路肩部）
- （１）（略）
- （２）代表機労材規格
（略）

表 3. 15 上層路盤（車道・路肩部） 代表機労材規格一覧

材料	平均幅員	項目		代表機労材規格		備考	
瀝青安定処理	(略)						
粒度調整碎石	—	機械	K1	モータグレーダ〔土工用・排出ガス対策型 (<u>2014 年規制</u>)〕 ブレード幅 3.1 m			
			K2	ロードローラ〔マカダム・ <u>超低騒音型</u> ・排出ガス対策型 (<u>2014 年規制</u>)〕 運転質量 10t		<u>賃料</u>	
			K3	タイヤローラ〔普通型・ <u>超低騒音型</u> ・排出ガス対策型 (<u>2014 年規制</u>)〕 運転質量 <u>13～14t</u>		賃料	
		労務	R1	運転手（特殊）			
			R2	<u>普通作業員</u>			
			R3	<u>特殊作業員</u>			
			R4	土木一般世話役			
		材料	(略)				
		市場単価	(略)				

- 3－3 下層路盤（歩道部）
- （１）（略）
- （２）代表機労材規格
（略）

表 3. 10 下層路盤（歩道部） 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K1	小型バックホウ（クローラ型）〔 <u>標準型</u> ・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 山積 <u>0.11 m³</u> （平積 <u>0.08 m³</u> ）	<u>賃料</u>
	K2	振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 質量 3～4 t	賃料
	K3	—	
労務	R1	<u>普通作業員</u>	
	R2	<u>運転手（特殊）</u>	
	R3	<u>特殊作業員</u>	
	R4	<u>二</u>	
材料	（略）		
市場単価	（略）		

- 3－4 上層路盤（車道・路肩部）
- （１）（略）
- （２）代表機労材規格
（略）

表 3. 15 上層路盤（車道・路肩部） 代表機労材規格一覧

材料	平均幅員	項目		代表機労材規格	備考	
瀝青安定処理	(略)					
粒度調整碎石	—	機械	K1	モータグレーダ〔土工用・排出ガス対策型（ <u>第2次基準値</u> ）〕 ブレード幅 3.1m		
			K2	ロードローラ〔マカダム・排出ガス対策型（ <u>第2次基準値</u> ）〕 運転質量 10t <u>締固め幅 2.1m</u>	(新設)	
			K3	タイヤローラ〔普通型・排出ガス対策型（ <u>第2次基準値</u> ）〕 運転質量 8～20t	賃料	
		労務	R1	運転手（特殊）		
			R2	<u>特殊作業員</u>		
			R3	<u>普通作業員</u>		
			R4	土木一般世話役		
		材料	(略)			
		市場単価	(略)			

- 3－5 上層路盤（歩道部）
（１）（略）
（２）代表機労材規格
（略）

表 3. 18 上層路盤（歩道部） 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K1	小型バックホウ（クローラ型）〔 <u>後方超小旋回型・超低騒音型</u> ・排出ガス対策型（ <u>第3次基準値</u> ）〕 山積 <u>0.09 m³</u> （平積 <u>0.07 m³</u> ）	（削る。）
	K2	振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式・ <u>超低騒音型</u> ・排出ガス対策型（ <u>第3次基準値</u> ）〕 質量 3～4 t	賃料
	K3	－	
労務	R1	<u>運転手（特殊）</u>	
	R2	<u>普通作業員</u>	
	R3	特殊作業員	
	R4	<u>土木一般世話役</u>	
材料	（略）		
市場単価	（略）		

② 路盤工(ICT)

1. 適用範囲

（略）

1－1 適用できる範囲

（１）～（５）（略）

（６）3D-MCモータグレーダによる施工幅が3.1m以上の路盤

1－2 （略）

2 （略）

- 3－5 上層路盤（歩道部）
（１）（略）
（２）代表機労材規格
（略）

表 3. 18 上層路盤（歩道部） 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K1	小型バックホウ（クローラ型）〔 <u>標準型</u> ・排出ガス対策型（ <u>第2次基準値</u> ）〕 山積 <u>0.11 m³</u> （平積 <u>0.08 m³</u> ）	
	K2	振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（ <u>第1次基準値</u> ）〕 運転質量 3～4 t	賃料
	K3	－	
労務	R1	<u>普通作業員</u>	
	R2	<u>運転手（特殊）</u>	
	R3	特殊作業員	
	R4	二	
材料	（略）		
市場単価	（略）		

② 路盤工(ICT)

1. 適用範囲

（略）

1－1 適用できる範囲

（１）～（５）（略）

（新設）

1－2 （略）

2 （略）

3. 施工パッケージ

3-1 不陸整正（ICT）
（1）条件区分
（略）

表3.1 （略）
表3.2 補足材料平均厚さ

積算条件	区分
補足材料平均厚さ	<u>1mm 以上 6mm 未満</u>
	<u>6mm 以上 11mm 未満</u>
	<u>11mm 以上 16mm 未満</u>
	<u>16mm 以上 22mm 未満</u>
	<u>22mm 以上 28mm 未満</u>
	<u>28mm 以上 34mm 未満</u>
	<u>34mm 以上 40mm 未満</u>
	<u>40mm 以上 46mm 未満</u>
	<u>46mm 以上 53mm 未満</u>
	<u>53mm 以上 60mm 未満</u>
	<u>60mm 以上 68mm 未満</u>
	<u>68mm 以上 75mm 未満</u>
	(削る。)
	(削る。)
	(削る。)
	(削る。)

表3.3 （略）

（2）代表機労材規格
（略）

表3.4 不陸整正（ICT） 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K1	ICT建設機械経費賃料加算額（モータグレーダ）	賃料
	K2	モータグレーダ〔土工用・排出ガス対策型（ <u>2014 年規制</u> ）〕 ブレード幅 3.1m	賃料
	K3	ロードローラ〔マカダム・ <u>超低騒音型</u> ・排出ガス対策型（ <u>2014 年規制</u> ）〕 運転質量 10t	賃料
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

（注）（略）

3. 施工パッケージ

3-1 不陸整正（ICT）
（1）条件区分
（略）

表3.1 （略）
表3.2 補足材料平均厚さ

積算条件	区分
補足材料平均厚さ	<u>1mm 以上 3mm 未満</u>
	<u>3mm 以上 6mm 未満</u>
	<u>6mm 以上 9mm 未満</u>
	<u>9mm 以上 13mm 未満</u>
	<u>13mm 以上 17mm 未満</u>
	<u>17mm 以上 21mm 未満</u>
	<u>21mm 以上 25mm 未満</u>
	<u>25mm 以上 29mm 未満</u>
	<u>29mm 以上 34mm 未満</u>
	<u>34mm 以上 39mm 未満</u>
	<u>39mm 以上 44mm 未満</u>
	<u>44mm 以上 49mm 未満</u>
	<u>49mm 以上 55mm 未満</u>
	<u>55mm 以上 61mm 未満</u>
	<u>61mm 以上 67mm 未満</u>
	<u>67mm 以上 75mm 未満</u>

表3.3 （略）

（2）代表機労材規格
（略）

表3.4 不陸整正（ICT） 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K1	ICT建設機械経費賃料加算額（モータグレーダ）	賃料
	K2	モータグレーダ〔土工用・排出ガス対策型（ <u>第2次基準値</u> ）〕 ブレード幅 3.1m	賃料
	K3	ロードローラ〔マカダム・排出ガス対策型（ <u>第2次基準値</u> ）〕 運転質量 10t <u>締固め幅 2.1m</u>	賃料
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

（注）（略）

3－2 下層路盤（車道・路肩部）（I C T）

（1）条件区分
（略）

表 3. 5 下層路盤（車道・路肩部）（I C T） 積算条件区分
表 （略）

（注） 1. 上表は、車道部及び路肩部の下層路盤（凍上抑制層がある場合も含む。）の路盤材敷均し・締固めのほか、散水、振動ローラによる補助作業等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む。）を含む。

2・3 （略）

表 3. 6 （略）

（2）代表機労材規格
（略）

表 3. 7 下層路盤（車道・路肩部） 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K1	I C T建設機械経費賃料加算額（モータグレーダ）	賃料
	K2	モータグレーダ〔土工用・排出ガス対策型（ <u>2014 年規制</u> ）〕 ブレード幅 3.1m	賃料
	K3	ロードローラ〔マカダム・ <u>超低騒音型</u> ・排出ガス対策型（ <u>2014 年規制</u> ）〕 運転質量 10t	賃料
労務	（略）		
材料	（略）		
市場単価	（略）		

（注） （略）

3－3 上層路盤（車道・路肩部）（I C T）

（1）条件区分
（略）

表 3. 8 上層路盤（車道・路肩部）（I C T） 積算条件区分
表 （略）

（注） 1. 上表は、上層路盤（車道・路肩部）の路盤材敷均し・締固めのほか、散水、振動ローラによる補助作業等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む。）を含む。

2・3 （略）

表 3. 9 （略）

3－2 下層路盤（車道・路肩部）（I C T）

（1）条件区分
（略）

表 3. 5 下層路盤（車道・路肩部）（I C T） 積算条件区分
表 （略）

（注） 1. 上表は、車道部及び路肩部の下層路盤（凍上抑制層がある場合も含む。）の路盤材敷均し・締固めのほか、散水等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む。）を含む。

2・3 （略）

表 3. 6 （略）

（2）代表機労材規格
（略）

表 3. 7 下層路盤（車道・路肩部） 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K1	I C T建設機械経費賃料加算額（モータグレーダ）	賃料
	K2	モータグレーダ〔土工用・排出ガス対策型（ <u>第2次基準値</u> ）〕 ブレード幅 3.1m	賃料
	K3	ロードローラ〔マカダム・排出ガス対策型（ <u>第2次基準値</u> ）〕 運転質量 10t <u>締固め幅 2.1m</u>	賃料
労務	（略）		
材料	（略）		
市場単価	（略）		

（注） （略）

3－3 上層路盤（車道・路肩部）（I C T）

（1）条件区分
（略）

表 3. 8 上層路盤（車道・路肩部）（I C T） 積算条件区分
表 （略）

（注） 1. 上表は、上層路盤（車道・路肩部）の路盤材敷均し・締固めのほか、散水等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む。）を含む。

2・3 （略）

表 3. 9 （略）

(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 10 上層路盤（車道・路肩部）（I C T） 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K1	I C T建設機械経費賃料加算額（モータグレーダ）	賃料
	K2	モータグレーダ〔土工用・排出ガス対策型（ <u>2014 年規制</u> ）〕 ブレード幅 3.1m	賃料
	K3	ロードローラ〔マカダム・ <u>超低騒音型</u> ・排出ガス対策型（ <u>2014 年規制</u> ）〕 運転質量 10t	賃料
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

4・5 (略)

8章 (略)

(2) 代表機労材規格
(略)

表 3. 10 上層路盤（車道・路肩部）（I C T） 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K1	I C T建設機械経費賃料加算額（モータグレーダ）	賃料
	K2	モータグレーダ〔土工用・排出ガス対策型（ <u>第 2 次基準値</u> ）〕 ブレード幅 3.1m	賃料
	K3	ロードローラ〔マカダム・排出ガス対策型（ <u>第 2 次基準値</u> ）〕 運転質量 10t <u>締固め幅 2.1m</u>	賃料
労務	(略)		
材料	(略)		
市場単価	(略)		

4・5 (略)

8章 (略)

9章 道路維持修繕

①～③（略）

④ 舗装版クラック補修工

1・2（略）

3. 施工パッケージ

3－1 クラック補修

（1）条件区分

（略）

（注） 1～3 （略）

4. 諸雑費は、空気圧縮機、アスファルトケツトルの各機械損料・運転経費及びほうき、ハケ、プライマ等の費用である。

5 （略）

（2） （略）

3－2 （略）

3－3 クラック防止シート張

（1）条件区分

（略）

（注） 1～3 （略）

4. 諸雑費は、空気圧縮機の各機械損料・運転経費及びほうき、ハケ、プライマ、クラック防止シートロス分等の費用である。

5 （略）

（2）代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表3. 2 クラック防止シート張 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	タイヤローラ〔普通型・排出ガス対策型（ <u>2014年規制</u> ）〕 運転質量 <u>13</u> ～ <u>14</u> t	
	K 2	－	
	K 3	－	
労務	（略）		
材料	（略）		
市場単価	（略）		

3－4 クラック防止シート（材料費）

（1）条件区分

クラック防止シート（材料費）における積算条件区分はない。

積算単位は、mとする。

（注） クラック防止シート（材料費）は、ロス率を考慮した数量を入力すること。なお、ロス率は±0.15とする。

⑤～⑪（略）

9章 道路維持修繕

①～③（略）

④ 舗装版クラック補修工

1・2（略）

3. 施工パッケージ

3－1 クラック補修

（1）条件区分

（略）

（注） 1～3 （略）

4. 諸雑費は、空気圧縮機（排出ガス対策型（第1次基準値））、アスファルトケツトルの各機械損料・運転経費及びほうき、ハケ、プライマ等の費用である。

5 （略）

（2） （略）

3－2 （略）

3－3 クラック防止シート張

（1）条件区分

（略）

（注） 1～3 （略）

4. 諸雑費は、空気圧縮機（排出ガス対策型（第1次基準値））の各機械損料・運転経費及びほうき、ハケ、プライマ等の費用である。

5 （略）

（2）代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表3. 2 クラック防止シート張 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	タイヤローラ〔普通型・排出ガス対策型（ <u>第2次基準値</u> ）〕 運転質量 <u>8</u> ～ <u>20</u> t	
	K 2	－	
	K 3	－	
労務	（略）		
材料	（略）		
市場単価	（略）		

3－4 クラック防止シート（材料費）

（1）条件区分

クラック防止シート（材料費）における積算条件区分はない。

積算単位は、mとする。

（注） クラック防止シート（材料費）は、ロス率を考慮した数量を入力すること。なお、ロス率は±0.11とする。

⑤～⑪（略）

⑩ 沓座拡幅工	
1 (略)	
2. 施工概要	
施工フローは、下記を標準とする。	
2-1 コンクリート沓座拡幅工	
フロー図 (略)	
(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。	
2. また、() 書きは必要な場合計上する。	
図 2-1 施工フロー	
2-2 鋼製ブラケット沓座拡幅工	
フロー図 (略)	
(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。	
2. また、() 書きは必要な場合計上する。	
図 2-2 施工フロー	
3. 施工パッケージ	
3-1 <u>コンクリート</u> 削孔工	
<u>コンクリート</u> 削孔工は、「9 章道路維持修繕⑫落橋防止装置工」を適用する。	
3-2・3-3 (略)	
3-4 アンカー筋挿入 <u>(コンクリート沓座拡幅)</u>	
(1) 条件区分	
アンカー筋挿入 <u>(コンクリート沓座拡幅)</u> における積算条件区分はない。	
積算単位は本とする。	
(注) 1. コンクリート沓座拡幅工における孔内清掃、アンカー筋挿入、エポキシ樹脂注入材 <u>(現場調合式)</u> によるアンカー筋定着のほか、集塵機、ハンドミキサ、樹脂注入ポンプ損料、電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む。）を含む。ただし、アンカー筋、注入材の材料は含まない。	
2. アンカー筋、注入材の材料費は別途計上する。	
3-5・3-6 (略)	
3-7 アンカーボルト挿入 <u>(鋼製ブラケット沓座拡幅)</u>	
アンカーボルト挿入 <u>(鋼製ブラケット沓座拡幅)</u> は、「9 章道路維持修繕⑫落橋防止装置工」を適用する。	
3-8 鉄筋（沓座拡幅工）	
(1) 条件区分	
(略)	
表 3. 3 鉄筋（沓座拡幅工） 積算条件区分一覧	
表 (略)	
(注) 1. コンクリート沓座拡幅工における鉄筋加工・組立のほか、結束線、スペーサー <u>の材料費及び</u> 鉄筋加工機、切断機損料、電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む。）を含む。	
2 (略)	
表 3. 4 (略)	
(2) (略)	

⑩ 沓座拡幅工	
1 (略)	
2. 施工概要	
施工フローは、下記を標準とする。	
2-1 コンクリート沓座拡幅工	
フロー図 (略)	
(新設)	
(新設)	
2-2 鋼製ブラケット沓座拡幅工	
フロー図 (略)	
(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。	
2. また、() 書きは必要な場合計上する。	
(新設)	
3. 施工パッケージ	
3-1 削孔工	
削孔工は、「9 章道路維持修繕⑫落橋防止装置工」を適用する。	
3-2・3-3 (略)	
3-4 アンカー筋挿入	
(1) 条件区分	
アンカー筋挿入における積算条件区分はない。	
積算単位は本とする。	
(注) 1. コンクリート沓座拡幅工における孔内清掃、アンカー筋挿入、エポキシ樹脂注入によるアンカー筋定着のほか、集塵機、ハンドミキサ、樹脂注入ポンプ損料、電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む。）を含む。ただし、アンカー筋、注入材の材料は含まない。	
2. アンカー筋、注入材の材料費は別途計上する。	
3-5・3-6 (略)	
3-7 アンカーボルト挿入	
アンカーボルト挿入は、「9 章道路維持修繕⑫落橋防止装置工」を適用する。	
3-8 鉄筋（沓座拡幅工）	
(1) 条件区分	
(略)	
表 3. 3 鉄筋（沓座拡幅工） 積算条件区分一覧	
表 (略)	
(注) 1. コンクリート沓座拡幅工における鉄筋加工・組立のほか、結束線、スペーサー、鉄筋加工機、切断機損料、電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む。）を含む。	
2 (略)	
表 3. 4 (略)	
(2) (略)	

3－9 型枠（沓座拡幅工）

（１）条件区分

型枠（沓座拡幅工）における積算条件区分はない。

積算単位は、㎡とする。

- （注） １． コンクリート沓座拡幅工における型枠製作・設置・撤去、ケレン、剥離剤塗布、支保設置・撤去のほか、型枠用合板、型枠用金物、組立支持材、支保工材及び電気ドリル、電気ノコギリ損料、電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む。）を含む。

（２）代表機労材規格
（略）

表 3． 6 型枠（沓座拡幅工） 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	（略）		
労務	R 1	型枠工	
	R 2	普通作業員	
	R 3	土木一般世話役	
	R 4	－	
材料	（略）		
市場単価	（略）		

3－10 コンクリート（沓座拡幅工）

（１） （略）

（２）代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3． 9 コンクリート（沓座拡幅工） 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 40～50 ㎥/h	
	K 2	－	
	K 3	－	
労務	R 1	特殊作業員	
	R 2	普通作業員	
	R 3	運転手（特殊）	
	R 4	土木一般世話役	
材料	（略）		
市場単価	（略）		

3－11 （略）

3－9 型枠（沓座拡幅工）

（１）条件区分

型枠（沓座拡幅工）における積算条件区分はない。

積算単位は、㎡とする。

- （注） １． コンクリート沓座拡幅工における型枠製作・設置・撤去、ケレン、剥離剤塗布、支保設置・撤去のほか、型枠用合板、型枠用金物、組立支持材、支保工材、電気ドリル、電気ノコギリ損料、電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む。）を含む。

（２）代表機労材規格
（略）

表 3． 6 型枠（沓座拡幅工） 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	（略）		
労務	R 1	型枠工	
	R 2	土木一般世話役	
	R 3	普通作業員	
	R 4	－	
材料	（略）		
市場単価	（略）		

3－10 コンクリート（沓座拡幅工）

（１） （略）

（２）代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3． 9 コンクリート（沓座拡幅工） 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 65～85 ㎥/h	
	K 2	－	
	K 3	－	
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	運転手（特殊）	
	R 4	土木一般世話役	
材料	（略）		
市場単価	（略）		

3－11 （略）

3-12 足場工及び防護工

(1) 足場工は「9章道路維持修繕⑩橋梁補修工（支承取替工）」の足場工を適用する。

(削る。)

(削る。)

(削る。)

(削る。)

(2) (略)

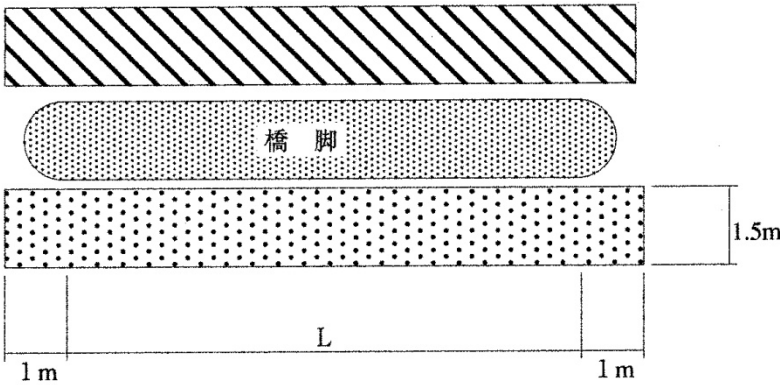
3-12 足場工及び防護工

(1) 足場工は「9章道路維持修繕⑩橋梁補修工（支承取替工）」の足場工を適用する。

足場工面積 $A = (L + 2) \times 2 \times 1.5 \times n$

L ：橋台及び橋脚の長さ（m）

n ：橋台及び橋脚の数（ただし橋台の場合は1/2とする。）



(2) (略)

① 鋼橋床版工

1 (略)

2. 施工パッケージ

2－1～2－4 (略)

2－5 養生（鋼橋床版）

(1) 条件区分

養生（鋼橋床版）における積算条件区分はない。

積算単位は、㎡とする。

(注) 1. 鋼橋床版工における養生、ポンプ運転経費のほか、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む。）を含む。ただし、養生マット（材料費）は含まない。

2・3 (略)

(2) (略)

2－6 (略)

② (略)

① 鋼橋床版工

1 (略)

2. 施工パッケージ

2－1～2－4 (略)

2－5 養生（鋼橋床版）

(1) 条件区分

養生（鋼橋床版）における積算条件区分はない。

積算単位は、㎡とする。

(注) 1. 鋼橋床版工における養生、ポンプ運転経費のほか、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む。）を含む。

2・3 (略)

(2) (略)

2－6 (略)

② (略)

11 章 その他

- ①（略）
- ② 作業日当たり標準作業量

1. 適用

本章に掲載した作業日当たり標準作業量は、施工パッケージ型積算基準に沿った条件、工法での設定であり、工程、作業日数等の検討のための参考としてとりまとめたものである。

設定した作業量は、あくまでも標準施工の場合であるので、当該工事の施工条件、施工方法、制約条件等十分考慮し、適用の可否を検討の上、使用されたい。

2. 作業日当たり標準作業量

工種名	設 定 内 容									
土工	① 掘削									
	土質	施工方法	(削る。)	押土の有無	障害の有無	施工数量	火薬使用	破砕片除去の有無	集積押土の有無	作業日当たり標準作業量
	土砂	オープンカット	(削る。)	有り	－	普通土30,000㎡未満又は湿地軟弱土	－	－	－	320㎡/日
				無し	無し	30,000㎡以上	－	－	－	710㎡/日
						5,000㎡未満	－	－	－	230㎡/日
						5,000㎡以上10,000㎡未満	－	－	－	270㎡/日
						10,000㎡以上50,000㎡未満	－	－	－	330㎡/日
					50,000㎡以上	－	－	－	500㎡/日	
					有り	5,000㎡未満	－	－	－	140㎡/日
						5,000㎡以上10,000㎡未満	－	－	－	170㎡/日
						10,000㎡以上50,000㎡未満	－	－	－	210㎡/日
				50,000㎡以上		－	－	－	320㎡/日	
		片切掘削	(削る。)	－	－	－	－	－	220 ㎡/日	
		水中掘削	(削る。)	－	－	－	－	－	260 ㎡/日	
		現場制約あり	(削る。)	－	－	－	－	－	4 ㎡/日	
		上記以外(小規模)	(削る。)	－	－	1箇所100㎡以下(標準)	－	－	－	37 ㎡/日
						1箇所100㎡以下(標準以外)	－	－	－	15 ㎡/日
	岩塊・玉石	オープンカット	(削る。)	有り	－	普通土30,000㎡未満又は湿地軟弱土	－	－	－	200 ㎡/日
				無し	無し	30,000㎡以上	－	－	－	440 ㎡/日
						5,000㎡未満	－	－	－	180 ㎡/日
						5,000㎡以上10,000㎡未満	－	－	－	210 ㎡/日
						10,000㎡以上50,000㎡未満	－	－	－	250 ㎡/日
					50,000㎡以上	－	－	－	410 ㎡/日	
					有り	5,000㎡未満	－	－	－	110 ㎡/日
						5,000㎡以上10,000㎡未満	－	－	－	130 ㎡/日
		10,000㎡以上50,000㎡未満	－			－	－	150 ㎡/日		
	50,000㎡以上	－	－	－		260 ㎡/日				
	水中掘削	(削る。)	－	－	－	－	－	180 ㎡/日		
	現場制約あり	(削る。)	－	－	－	－	－	3 ㎡/日		

11 章 その他

- ①（略）
- ② 作業日当たり標準作業量

1. 適用

本章に掲載した作業日当たり標準作業量は、施工パッケージ型積算基準及び標準歩掛に沿った条件、工法での設定であり、工程、作業日数等の検討のための参考としてとりまとめたものである。

設定した作業量は、あくまでも標準施工の場合であるので、当該工事の施工条件、施工方法、制約条件等十分考慮し、適用の可否を検討の上、使用されたい。

2. 作業日当たり標準作業量

工種名	設 定 内 容										
土工	① 掘削										
	土質	施工方法	岩質	押土の有無	障害の有無	施工数量	火薬使用	破砕片除去の有無	集積押土の有無	作業日当たり標準作業量	
	土砂	オープンカット	＝	有り	－	普通土30,000m³未満又は湿地軟弱土	－	－	－	320m³/日	
						30,000m³以上	－	－	－	710m³/日	
				無し	無し	5,000m³未満	－	－	－	230m³/日	
						5,000m³以上10,000m³未満	－	－	－	270m³/日	
						10,000m³以上50,000m³未満	－	－	－	330m³/日	
						50,000m³以上	－	－	－	500m³/日	
					有り	5,000m³未満	－	－	－	140m³/日	
						5,000m³以上10,000m³未満	－	－	－	170m³/日	
						10,000m³以上50,000m³未満	－	－	－	210m³/日	
						50,000m³以上	－	－	－	320m³/日	
		片切掘削	＝	－	－	－	－	－	－	220 m³/日	
		水中掘削	＝	－	－	－	－	－	－	260 m³/日	
		現場制約あり	＝	－	－	－	－	－	－	4 m³/日	
		上記以外(小規模)	＝	－	－	1箇所100m³以下(標準)	－	－	－	37 m³/日	
						1箇所100m³以下(標準以外)	－	－	－	15 m³/日	
		岩塊・玉石	オープンカット	＝	有り	－	普通土30,000m³未満又は湿地軟弱土	－	－	－	200 m³/日
							30,000m³以上	－	－	－	440 m³/日
	無し				無し	5,000m³未満	－	－	－	180 m³/日	
						5,000m³以上10,000m³未満	－	－	－	210 m³/日	
						10,000m³以上50,000m³未満	－	－	－	250 m³/日	
						50,000m³以上	－	－	－	410 m³/日	
					有り	5,000m³未満	－	－	－	110 m³/日	
						5,000m³以上10,000m³未満	－	－	－	130 m³/日	
						10,000m³以上50,000m³未満	－	－	－	150 m³/日	
						50,000m³以上	－	－	－	260 m³/日	
	水中掘削		＝	－	－	－	－	－	－	180 m³/日	
	現場制約あり		＝	－	－	－	－	－	－	3 m³/日	

	土質	施工方法	(削る。)	押土の有無	障害の有無	施工数量	火薬使用	破砕片除去の有無	集積押土の有無	作業日当たり標準作業量
軟岩	オープンカット	(削る。)	(削る。)	－	無し	1,000 m ³ 未満	－	無し	無し	59 m ³ /日
								有り	有り	59 m ³ /日
								有り(5万m ³ 未満)	無し	59 m ³ /日
								有り(5万m ³ 以上)	無し	59 m ³ /日
						1,000 m ³ 以上 5,000 m ³ 未満	－	無し	無し	91 m ³ /日
								有り	有り	91 m ³ /日
								有り(5万m ³ 未満)	無し	91 m ³ /日
								有り(5万m ³ 以上)	無し	91 m ³ /日
					5,000 m ³	－	－	－	－	340 m ³ /日
								無し	無し	32 m ³ /日
									有り	32 m ³ /日
					有り	5,000 m ³ 未満	－	有り(5万m ³ 未満)	無し	32 m ³ /日
								有り(5万m ³ 以上)	無し	32 m ³ /日
	片切掘削	(削る。)	(削る。)	－	－	－	－	無し	無し	49 m ³ /日
									有り	49 m ³ /日
								有り(5万m ³ 未満)	無し	49 m ³ /日
								有り(5万m ³ 以上)	無し	49 m ³ /日
	(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)	可	(削る。)	(削る。)	(削る。)
								(削る。)	(削る。)	(削る。)
硬岩	オープンカット	(削る。)	(削る。)	－	無し	－	不可	無し	無し	45 m ³ /日
									有り	45 m ³ /日
								有り(5万m ³ 未満)	無し	45 m ³ /日
								有り(5万m ³ 以上)	無し	45 m ³ /日
					有り	－	不可	無し	無し	21 m ³ /日
									有り	21 m ³ /日
								有り(5万m ³ 未満)	無し	21 m ³ /日
								有り(5万m ³ 以上)	無し	21 m ³ /日
	片切掘削	(削る。)	(削る。)	－	－	－	不可	無し	無し	29 m ³ /日
									有り	29 m ³ /日
								有り(5万m ³ 未満)	無し	29 m ³ /日
								有り(5万m ³ 以上)	無し	29 m ³ /日
					有り	－	可	無し	無し	55 m ³ /日
									有り	55 m ³ /日
								有り(5万m ³ 未満)	無し	55 m ³ /日
								有り(5万m ³ 以上)	無し	55 m ³ /日
	(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)	可	(削る。)	(削る。)	(削る。)
								(削る。)	(削る。)	(削る。)

	土質	施工方法	岩質	押土の有無	障害の有無	施工数量	火薬使用	破砕片除去の有無	集積押土の有無	作業日当たり標準作業量
軟岩	オープンカット	オープンカット	二	－	無し	1,000 m ³ 未満	－	無し	無し	59 m ³ /日
									有り	59 m ³ /日
								有り(5万m ³ 未満)	無し	59 m ³ /日
								有り(5万m ³ 以上)	無し	59 m ³ /日
						1,000 m ³ 以上 5,000 m ³ 未満	－	無し	無し	91 m ³ /日
									有り	91 m ³ /日
								有り(5万m ³ 未満)	無し	91 m ³ /日
								有り(5万m ³ 以上)	無し	91 m ³ /日
				有り	有り	5,000 m ³ 未満	－	無し	－	340 m ³ /日
									－	340 m ³ /日
								有り	無し	32 m ³ /日
								有り(5万m ³ 未満)	無し	32 m ³ /日
								有り(5万m ³ 以上)	無し	32 m ³ /日
	片切掘削	二	－	－	－	－	－	無し	無し	49 m ³ /日
									有り	49 m ³ /日
								有り(5万m ³ 未満)	無し	49 m ³ /日
								有り(5万m ³ 以上)	無し	49 m ³ /日
	現場制約あり	軟岩(Ⅰ)	二	二	二	二	二	二	二	25 m ³ /日
									二	17 m ³ /日
硬岩	オープンカット	オープンカット	二	－	無し	－	不可	無し	無し	45 m ³ /日
									有り	45 m ³ /日
								有り(5万m ³ 未満)	無し	45 m ³ /日
								有り(5万m ³ 以上)	無し	45 m ³ /日
				有り	－	－	可	無し	－	190 m ³ /日
									－	190 m ³ /日
								有り	無し	21 m ³ /日
								有り(5万m ³ 未満)	無し	21 m ³ /日
								有り(5万m ³ 以上)	無し	21 m ³ /日
	片切掘削	二	－	－	－	－	不可	無し	無し	29 m ³ /日
									有り	29 m ³ /日
								有り(5万m ³ 未満)	無し	29 m ³ /日
								有り(5万m ³ 以上)	無し	29 m ³ /日
				有り	－	－	可	無し	無し	55 m ³ /日
									有り	55 m ³ /日
								有り(5万m ³ 未満)	無し	55 m ³ /日
								有り(5万m ³ 以上)	無し	55 m ³ /日
	現場制約あり	中硬岩(Ⅰ)	二	二	二	二	二	二	二	13 m ³ /日
									二	8 m ³ /日

② 土砂等運搬

土砂等 発生現場	積込機種 ・ 規格	土質	DID区間 の有無	運搬距離	作業日当たり 標準作業量
標準	バックホウ 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	(略)	(略)	(略)	(略)
	バックホウ 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	(略)	(略)	(略)	(略)
	バックホウ 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	土 砂（ 岩 塊・玉石 混り土含 む。）	無し	0.5km 以下	91 m ³ /日
				1.0km 以下	83 m ³ /日
				2.0km 以下	71 m ³ /日
				2.5km 以下	63 m ³ /日
				3.5km 以下	56 m ³ /日
				4.5km 以下	48 m ³ /日
				6.0km 以下	42 m ³ /日
				7.5km 以下	37 m ³ /日
				10.0km 以下	32 m ³ /日
				13.5km 以下	26 m ³ /日
				19.5km 以下	21 m ³ /日
				39.0km 以下	16 m ³ /日
				60.0km 以下	11 m ³ /日
			有り	0.5km 以下	91 m ³ /日
				1.0km 以下	83 m ³ /日
				1.5km 以下	71 m ³ /日
				2.0km 以下	63 m ³ /日
				3.0km 以下	56 m ³ /日
				4.0km 以下	48 m ³ /日
				5.5km 以下	42 m ³ /日
	7.0km 以下	37 m ³ /日			
	9.0km 以下	32 m ³ /日			
	12.0km 以下	26 m ³ /日			
	17.5km 以下	21 m ³ /日			
	28.5km 以下	16 m ³ /日			
	60.0km 以下	11 m ³ /日			
	軟岩	—	—	土砂÷1.22	
	硬岩	—	—	土砂÷1.37	
	クラムシェル 平積0.4m ³ 又は 平積0.8m ³	(略)	(略)	(略)	(略)
小規模	バックホウ 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	(略)	(略)	(略)	(略)

② 土砂等運搬

土砂等発生現場	積込機種・規格	土質	DID区間の有無	運搬距離	作業日当たり標準作業量
標準	バックホウ 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	(略)	(略)	(略)	(略)
	バックホウ 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	(略)	(略)	(略)	(略)
	バックホウ 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	土砂（岩塊玉石混り土含む。）	無し	0.5km 以下	91 m ³ /日
				1.0km 以下	83 m ³ /日
				2.0km 以下	71 m ³ /日
				2.5km 以下	63 m ³ /日
				3.5km 以下	56 m ³ /日
				4.5km 以下	48 m ³ /日
				6.0km 以下	42 m ³ /日
				7.5km 以下	37 m ³ /日
				10.0km 以下	32 m ³ /日
				13.5km 以下	26 m ³ /日
				19.5km 以下	21 m ³ /日
				39.0km 以下	16 m ³ /日
				60.0km 以下	11 m ³ /日
			有り	0.5km 以下	91 m ³ /日
				1.0km 以下	83 m ³ /日
				1.5km 以下	71 m ³ /日
				2.0km 以下	63 m ³ /日
				3.0km 以下	56 m ³ /日
				4.0km 以下	48 m ³ /日
				5.5km 以下	42 m ³ /日
				7.0km 以下	37 m ³ /日
				9.0km 以下	32 m ³ /日
				12.0km 以下	26 m ³ /日
				17.5km 以下	21 m ³ /日
				28.5km 以下	16 m ³ /日
				60.0km 以下	11 m ³ /日
		軟岩	—	—	土砂÷1.22
		硬岩	—	—	土砂÷1.37
	クラムシエル 平積0.4m ³ 又は 平積0.8m ³	(略)	(略)	(略)	(略)
小規模	バックホウ 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	(略)	(略)	(略)	(略)

土砂等 発生現場	積込機種 ・ 規格	土質	DID区間 の有無	運搬距離	作業日当たり 標準作業量
小規模	バックホウ 山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	土砂(岩 塊・玉石 混 土 含 む。)	無し	0.3km 以下	22 m ³ /日
				1.0km 以下	20 m ³ /日
				1.5km 以下	17 m ³ /日
				2.5km 以下	14 m ³ /日
				3.0km 以下	13 m ³ /日
				3.5km 以下	11 m ³ /日
				4.5km 以下	10 m ³ /日
				5.5km 以下	9 m ³ /日
				7.0km 以下	8 m ³ /日
				9.0km 以下	7 m ³ /日
				12.0km 以下	6 m ³ /日
				17.0km 以下	4 m ³ /日
			28.5km 以下	3 m ³ /日	
			60.0km 以下	2 m ³ /日	
			有り	0.3km 以下	22 m ³ /日
				1.0km 以下	20 m ³ /日
				1.5km 以下	17 m ³ /日
				2.5km 以下	14 m ³ /日
				3.0km 以下	13 m ³ /日
				3.5km 以下	11 m ³ /日
4.5km 以下	10 m ³ /日				
5.0km 以下	9 m ³ /日				
6.5km 以下	8 m ³ /日				
8.0km 以下	7 m ³ /日				
11.0km 以下	6 m ³ /日				
15.0km 以下	4 m ³ /日				
24.0km 以下	3 m ³ /日				
60.0km 以下	2 m ³ /日				
現場制約 あり	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

③ · ④ (略)

⑤ 路床盛土

施工幅員	施工数量	障害の有無	作業日当たり標準作業量
2.5m未満	—	—	43 m ³ /日
2.5m以上4.0m未満	—	—	78 m ³ /日
4.0m以上	<u>20,000m³</u> 未満	無し	<u>260</u> m ³ /日
		有り	140 m ³ /日
	<u>20,000m³</u> 以上	無し	420 m ³ /日
		有り	140 m ³ /日

(注) 1 (略)

2. 敷均し・締固め作業一層の仕上り厚は20cm以下 とする。

⑥~⑨

土砂等 発生現場	積込機種 ・ 規格	土質	DID区間 の有無	運搬距離	作業日当たり 標準作業量
小規模	バックホウ 山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	土砂(岩 塊・玉石 混 土 含 む。)	無し	0.3km 以下	22 m ³ /日
				1.0km 以下	20 m ³ /日
				1.5km 以下	17 m ³ /日
				2.5km 以下	14 m ³ /日
				3.0km 以下	13 m ³ /日
				3.5km 以下	11 m ³ /日
				4.5km 以下	10 m ³ /日
				5.5km 以下	9 m ³ /日
				7.0km 以下	8 m ³ /日
				9.0km 以下	7 m ³ /日
				12.0km 以下	6 m ³ /日
				17.0km 以下	4 m ³ /日
			28.0km 以下	3 m ³ /日	
			60.0km 以下	2 m ³ /日	
			有り	0.3km 以下	22 m ³ /日
				1.0km 以下	20 m ³ /日
				1.5km 以下	17 m ³ /日
				2.5km 以下	14 m ³ /日
				3.0km 以下	13 m ³ /日
				3.5km 以下	11 m ³ /日
				4.5km 以下	10 m ³ /日
				5.0km 以下	9 m ³ /日
				6.5km 以下	8 m ³ /日
				8.0km 以下	7 m ³ /日
11.0km 以下	6 m ³ /日				
15.0km 以下	4 m ³ /日				
24.0km 以下	3 m ³ /日				
60.0km 以下	2 m ³ /日				
現場制約 あり	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

③ · ④ (略)

⑤ 路床盛土

施工幅員	施工数量	障害の有 無	作業日当たり標準作業 量
2.5m未満	—	—	43 m ³ /日
2.5m以上4.0m未 満	—	—	78 m ³ /日
4.0m以上	10,000m ³ 未 満	無し	280 m ³ /日
		有り	140 m ³ /日
	10,000m ³ 以 上	無し	420 m ³ /日
		有り	140 m ³ /日

(注) 1 (略)

2. 敷均し・締固め作業の一層の仕上り厚は0.2~0.3m以下 とする。

⑥～⑨

土工
(ICT)

①掘削（ICT）※[ICT建機使用割合 100%]

土質	施工方法	障害の有無	施工数量	作業日当たり 標準作業量
土砂	オープンカット	無し	5,000 m ³ 未満	250 m ³ /日
			5,000 m ³ 以上 10,000 m ³ 未満	290 m ³ /日
			10,000 m ³ 以上 50,000 m ³ 未満	350 m ³ /日
			50,000 m ³ 以上	410 m ³ /日
		有り	5,000 m ³ 未満	150 m ³ /日
			5,000 m ³ 以上 10,000 m ³ 未満	180 m ³ /日
			10,000 m ³ 以上 50,000 m ³ 未満	230 m ³ /日
			50,000 m ³ 以上	270 m ³ /日
	片桐掘削	－	－	242 m ³ /日
	岩塊・玉石	オープンカット	無し	5,000 m ³ 未満
5,000 m ³ 以上 10,000 m ³ 未満				220 m ³ /日
10,000 m ³ 以上 50,000 m ³ 未満				270 m ³ /日
50,000 m ³ 以上				340 m ³ /日
有り			5,000 m ³ 未満	120 m ³ /日
			5,000 m ³ 以上 10,000 m ³ 未満	140 m ³ /日
			10,000 m ³ 以上 50,000 m ³ 未満	170 m ³ /日
			50,000 m ³ 以上	220 m ³ /日

② 路体（築堤）盛土（ICT）

作業形態	施工数量	障害の有無	作業日当たり 標準作業量	ICT 標準作業量
敷均し＋ 締固め	20,000m ³ 未満	無し	550 m ³ /日	550 m ³ /日
		有り	280 m ³ /日	280 m ³ /日
	20,000m ³ 以上	無し	690 m ³ /日	690 m ³ /日
		有り	400 m ³ /日	430 m ³ /日

(注) (略)

③ 路床盛土（ICT）

施工数量	障害の有無	作業日当たり 標準作業量	ICT 標準作業量
20,000m ³ 未満	無し	430 m ³ /日	430 m ³ /日
	有り	140 m ³ /日	220 m ³ /日
20,000m ³ 以上	無し	500 m ³ /日	540 m ³ /日
	有り	140 m ³ /日	320 m ³ /日

(注) (略)

土工
(ICT)

① 掘削（ICT）※[ICT建機使用割合 100%]

土質	施工方法	障害の有無	施工数量	作業日当たり 標準作業量
土砂	オープンカット	無し	5,000 m ³ 未満	250 m ³ /日
			5,000 m ³ 以上 10,000 m ³ 未満	290 m ³ /日
			10,000 m ³ 以上 50,000 m ³ 未満	350 m ³ /日
			50,000 m ³ 以上	550 m ³ /日
		有り	5,000 m ³ 未満	150 m ³ /日
			5,000 m ³ 以上 10,000 m ³ 未満	180 m ³ /日
			10,000 m ³ 以上 50,000 m ³ 未満	230 m ³ /日
			50,000 m ³ 以上	352 m ³ /日
	片桐掘削	—	—	242 m ³ /日
岩塊・玉石	オープンカット	無し	5,000 m ³ 未満	190 m ³ /日
			5,000 m ³ 以上 10,000 m ³ 未満	220 m ³ /日
			10,000 m ³ 以上 50,000 m ³ 未満	270 m ³ /日
			50,000 m ³ 以上	451 m ³ /日
		有り	5,000 m ³ 未満	120 m ³ /日
			5,000 m ³ 以上 10,000 m ³ 未満	140 m ³ /日
			10,000 m ³ 以上 50,000 m ³ 未満	170 m ³ /日
			50,000 m ³ 以上	286 m ³ /日

② 路体（築堤）盛土（ICT）

作業形態	施工数量	障害の有無	作業日当たり 標準作業量	ICT 標準作業量
敷均し＋ 締固め	10,000m ³ 未満	無し	550 m ³ /日	550 m ³ /日
		有り	280 m ³ /日	280 m ³ /日
	10,000m ³ 以上	無し	690 m ³ /日	690 m ³ /日
		有り	400 m ³ /日	430 m ³ /日

(注) (略)

③ 路床盛土（ICT）

施工数量	障害の有無	作業日当たり 標準作業量	ICT 標準作業量
10,000m ³ 未満	無し	430 m ³ /日	430 m ³ /日
	有り	140 m ³ /日	220 m ³ /日
10,000m ³ 以上	無し	500 m ³ /日	540 m ³ /日
	有り	140 m ³ /日	320 m ³ /日

(注) (略)

床掘工・ 床掘工 (ICT)	(略)																																							
埋戻工	<div>① 埋戻し</div> <table><tr><th>施工方法</th><th>土質</th><th>締固めの 有無</th><th>作業日当たり 標準作業量</th></tr><tr><td>最小埋戻幅 4m 以上</td><td>—</td><td>—</td><td>270 m³/日</td></tr><tr><td>最大埋戻幅 4m 以上</td><td>—</td><td>—</td><td>89 m³/日</td></tr><tr><td>最大埋戻幅 1m 以上 4m</td><td>—</td><td>—</td><td>53 m³/日</td></tr><tr><td>最大埋戻幅 1m 未満</td><td>—</td><td>—</td><td>33 m³/日</td></tr><tr><td>上記以外（小規模）</td><td>土砂</td><td>—</td><td>40 m³/日</td></tr><tr><td rowspan="4">現場制約あり</td><td rowspan="2">土砂</td><td>有り</td><td>3.7 m³/日</td></tr><tr><td>無し</td><td>4.2 m³/日</td></tr><tr><td rowspan="2">岩塊・玉石</td><td>有り</td><td>3.5 m³/日</td></tr><tr><td>無し</td><td>3.8 m³/日</td></tr></table> <div>(注) 「現場制約あり」の作業日当たり標準作業量は、普通作業員 1 名の場合。</div> <div>② タンバ締固め</div> <table><tr><td>作業日当たり標準作業量</td><td>33 m³/日</td></tr></table>	施工方法	土質	締固めの 有無	作業日当たり 標準作業量	最小埋戻幅 4m 以上	—	—	270 m ³ /日	最大埋戻幅 4m 以上	—	—	89 m ³ /日	最大埋戻幅 1m 以上 4m	—	—	53 m ³ /日	最大埋戻幅 1m 未満	—	—	33 m ³ /日	上記以外（小規模）	土砂	—	40 m ³ /日	現場制約あり	土砂	有り	3.7 m ³ /日	無し	4.2 m ³ /日	岩塊・玉石	有り	3.5 m ³ /日	無し	3.8 m ³ /日	作業日当たり標準作業量	33 m ³ /日		
施工方法	土質	締固めの 有無	作業日当たり 標準作業量																																					
最小埋戻幅 4m 以上	—	—	270 m ³ /日																																					
最大埋戻幅 4m 以上	—	—	89 m ³ /日																																					
最大埋戻幅 1m 以上 4m	—	—	53 m ³ /日																																					
最大埋戻幅 1m 未満	—	—	33 m ³ /日																																					
上記以外（小規模）	土砂	—	40 m ³ /日																																					
現場制約あり	土砂	有り	3.7 m ³ /日																																					
		無し	4.2 m ³ /日																																					
	岩塊・玉石	有り	3.5 m ³ /日																																					
		無し	3.8 m ³ /日																																					
作業日当たり標準作業量	33 m ³ /日																																							
人力運搬工	<div>① 人力運搬</div> <table><tr><th rowspan="4">換算距離</th><th colspan="2">作業日当たり標準作業量</th></tr><tr><th colspan="2">土砂、岩塊・玉石</th></tr><tr><th>人力運搬（積込み～運搬～取卸し）</th><th>人力運搬（運搬～取卸し）</th></tr><tr><th>普通作業員</th><th>普通作業員</th></tr><tr><td>20m以下</td><td>5.0 m³/日</td><td>20 m³/日</td></tr><tr><td>40m以下</td><td>4.3 m³/日</td><td>11 m³/日</td></tr><tr><td>60m以下</td><td>3.7 m³/日</td><td>7.7 m³/日</td></tr><tr><td>80m以下</td><td>3.2 m³/日</td><td>6.3 m³/日</td></tr><tr><td>100m以下</td><td>2.9 m³/日</td><td>5.0 m³/日</td></tr><tr><td>120m以下</td><td>2.5 m³/日</td><td>4.3 m³/日</td></tr><tr><td>140m以下</td><td>2.3 m³/日</td><td>3.7 m³/日</td></tr><tr><td>160m以下</td><td>2.2 m³/日</td><td>3.2 m³/日</td></tr><tr><td>180m以下</td><td>2.0 m³/日</td><td>2.9 m³/日</td></tr><tr><td>200m以下</td><td>1.9 m³/日</td><td>2.6 m³/日</td></tr></table> <div>(注) 作業日当たり標準作業量は、普通作業員 1 名の場合。</div>	換算距離	作業日当たり標準作業量		土砂、岩塊・玉石		人力運搬（積込み～運搬～取卸し）	人力運搬（運搬～取卸し）	普通作業員	普通作業員	20m以下	5.0 m ³ /日	20 m ³ /日	40m以下	4.3 m ³ /日	11 m ³ /日	60m以下	3.7 m ³ /日	7.7 m ³ /日	80m以下	3.2 m ³ /日	6.3 m ³ /日	100m以下	2.9 m ³ /日	5.0 m ³ /日	120m以下	2.5 m ³ /日	4.3 m ³ /日	140m以下	2.3 m ³ /日	3.7 m ³ /日	160m以下	2.2 m ³ /日	3.2 m ³ /日	180m以下	2.0 m ³ /日	2.9 m ³ /日	200m以下	1.9 m ³ /日	2.6 m ³ /日
換算距離	作業日当たり標準作業量																																							
	土砂、岩塊・玉石																																							
	人力運搬（積込み～運搬～取卸し）		人力運搬（運搬～取卸し）																																					
	普通作業員	普通作業員																																						
20m以下	5.0 m ³ /日	20 m ³ /日																																						
40m以下	4.3 m ³ /日	11 m ³ /日																																						
60m以下	3.7 m ³ /日	7.7 m ³ /日																																						
80m以下	3.2 m ³ /日	6.3 m ³ /日																																						
100m以下	2.9 m ³ /日	5.0 m ³ /日																																						
120m以下	2.5 m ³ /日	4.3 m ³ /日																																						
140m以下	2.3 m ³ /日	3.7 m ³ /日																																						
160m以下	2.2 m ³ /日	3.2 m ³ /日																																						
180m以下	2.0 m ³ /日	2.9 m ³ /日																																						
200m以下	1.9 m ³ /日	2.6 m ³ /日																																						
安定処理工	<div>① (略)</div> <div>② 安定処理（バックホウ）</div> <table><tr><th>施工箇所</th><th>混合深さ</th><th>作業日当たり標準 作業量</th></tr><tr><td>路床</td><td>1m 以下</td><td>170 m²/日</td></tr><tr><td rowspan="2">構造物基礎</td><td>1m 以下</td><td>121 m²/日</td></tr><tr><td>1m を超え 2m 以下</td><td>74 m²/日</td></tr></table> <div>(注) 1 (略) 2. 上表には、50m程度の現場内小運搬（<u>固化材の荷卸を含む。</u>）が含まれている。</div>	施工箇所	混合深さ	作業日当たり標準 作業量	路床	1m 以下	170 m ² /日	構造物基礎	1m 以下	121 m ² /日	1m を超え 2m 以下	74 m ² /日																												
施工箇所	混合深さ	作業日当たり標準 作業量																																						
路床	1m 以下	170 m ² /日																																						
構造物基礎	1m 以下	121 m ² /日																																						
	1m を超え 2m 以下	74 m ² /日																																						

床掘工・ 床掘工 (ICT)	(略)																																							
埋戻工	<div>① 埋戻し</div> <table><tr><th>施工方法</th><th>土質</th><th>締固めの 有無</th><th>作業日当たり 標準作業量</th></tr><tr><td>最小埋戻幅 4m 以上</td><td>—</td><td>—</td><td>270 m³/日</td></tr><tr><td>最大埋戻幅 4m 以上</td><td>—</td><td>—</td><td>96 m³/日</td></tr><tr><td>最大埋戻幅 1m 以上 4m</td><td>—</td><td>—</td><td>61 m³/日</td></tr><tr><td>最大埋戻幅 1m 未満</td><td>—</td><td>—</td><td>33 m³/日</td></tr><tr><td>上記以外（小規模）</td><td>土砂</td><td>—</td><td>40 m³/日</td></tr><tr><td rowspan="4">現場制約あり</td><td rowspan="2">土砂</td><td>有り</td><td>3.7 m³/日</td></tr><tr><td>無し</td><td>4.2 m³/日</td></tr><tr><td rowspan="2">岩塊・玉 石</td><td>有り</td><td>3.5 m³/日</td></tr><tr><td>無し</td><td>3.8 m³/日</td></tr></table> <div>(注) 「現場制約あり」の作業日当たり標準作業量は、普通作業員 1 名の場合。</div> <div>② タンパ締固め</div> <table><tr><td>作業日当たり標準作業量</td><td>36 m³/日</td></tr></table>	施工方法	土質	締固めの 有無	作業日当たり 標準作業量	最小埋戻幅 4m 以上	—	—	270 m ³ /日	最大埋戻幅 4m 以上	—	—	96 m ³ /日	最大埋戻幅 1m 以上 4m	—	—	61 m ³ /日	最大埋戻幅 1m 未満	—	—	33 m ³ /日	上記以外（小規模）	土砂	—	40 m ³ /日	現場制約あり	土砂	有り	3.7 m ³ /日	無し	4.2 m ³ /日	岩塊・玉 石	有り	3.5 m ³ /日	無し	3.8 m ³ /日	作業日当たり標準作業量	36 m ³ /日		
施工方法	土質	締固めの 有無	作業日当たり 標準作業量																																					
最小埋戻幅 4m 以上	—	—	270 m ³ /日																																					
最大埋戻幅 4m 以上	—	—	96 m ³ /日																																					
最大埋戻幅 1m 以上 4m	—	—	61 m ³ /日																																					
最大埋戻幅 1m 未満	—	—	33 m ³ /日																																					
上記以外（小規模）	土砂	—	40 m ³ /日																																					
現場制約あり	土砂	有り	3.7 m ³ /日																																					
		無し	4.2 m ³ /日																																					
	岩塊・玉 石	有り	3.5 m ³ /日																																					
		無し	3.8 m ³ /日																																					
作業日当たり標準作業量	36 m ³ /日																																							
人力運搬 工	<div>① 人力運搬</div> <table><tr><th rowspan="4">換算距離</th><th colspan="2">作業日当たり標準作業量</th></tr><tr><th colspan="2">土砂、岩塊、玉石</th></tr><tr><th>人力運搬（積込み～運搬～取卸し）</th><th>人力運搬（運搬～取卸し）</th></tr><tr><th>普通作業員</th><th>普通作業員</th></tr><tr><td>20m以下</td><td>5.0 m³/日</td><td>20 m³/日</td></tr><tr><td>40m以下</td><td>4.3 m³/日</td><td>11 m³/日</td></tr><tr><td>60m以下</td><td>3.7 m³/日</td><td>7.7 m³/日</td></tr><tr><td>80m以下</td><td>3.2 m³/日</td><td>6.3 m³/日</td></tr><tr><td>100m以下</td><td>2.9 m³/日</td><td>5.0 m³/日</td></tr><tr><td>120m以下</td><td>2.5 m³/日</td><td>4.3 m³/日</td></tr><tr><td>140m以下</td><td>2.3 m³/日</td><td>3.7 m³/日</td></tr><tr><td>160m以下</td><td>2.2 m³/日</td><td>3.2 m³/日</td></tr><tr><td>180m以下</td><td>2.0 m³/日</td><td>2.9 m³/日</td></tr><tr><td>200m以下</td><td>1.9 m³/日</td><td>2.6 m³/日</td></tr></table> <div>(注) 作業日当たり標準作業量は、普通作業員 1 名の場合。</div>	換算距離	作業日当たり標準作業量		土砂、岩塊、玉石		人力運搬（積込み～運搬～取卸し）	人力運搬（運搬～取卸し）	普通作業員	普通作業員	20m以下	5.0 m ³ /日	20 m ³ /日	40m以下	4.3 m ³ /日	11 m ³ /日	60m以下	3.7 m ³ /日	7.7 m ³ /日	80m以下	3.2 m ³ /日	6.3 m ³ /日	100m以下	2.9 m ³ /日	5.0 m ³ /日	120m以下	2.5 m ³ /日	4.3 m ³ /日	140m以下	2.3 m ³ /日	3.7 m ³ /日	160m以下	2.2 m ³ /日	3.2 m ³ /日	180m以下	2.0 m ³ /日	2.9 m ³ /日	200m以下	1.9 m ³ /日	2.6 m ³ /日
換算距離	作業日当たり標準作業量																																							
	土砂、岩塊、玉石																																							
	人力運搬（積込み～運搬～取卸し）		人力運搬（運搬～取卸し）																																					
	普通作業員	普通作業員																																						
20m以下	5.0 m ³ /日	20 m ³ /日																																						
40m以下	4.3 m ³ /日	11 m ³ /日																																						
60m以下	3.7 m ³ /日	7.7 m ³ /日																																						
80m以下	3.2 m ³ /日	6.3 m ³ /日																																						
100m以下	2.9 m ³ /日	5.0 m ³ /日																																						
120m以下	2.5 m ³ /日	4.3 m ³ /日																																						
140m以下	2.3 m ³ /日	3.7 m ³ /日																																						
160m以下	2.2 m ³ /日	3.2 m ³ /日																																						
180m以下	2.0 m ³ /日	2.9 m ³ /日																																						
200m以下	1.9 m ³ /日	2.6 m ³ /日																																						
安定処理 工	<div>① (略)</div> <div>② 安定処理（バックホウ）</div> <table><tr><th>施工箇所</th><th>混合深さ</th><th>作業日当たり標準作 業量</th></tr><tr><td>路床</td><td>1m 以下</td><td>172 m²/日</td></tr><tr><td rowspan="2">構造物基礎</td><td>1m 以下</td><td>127 m²/日</td></tr><tr><td>1m を超え 2m 以下</td><td>74 m²/日</td></tr></table> <div>(注) 1 (略) 2. 上表には、50m程度の現場内小運搬が含まれている。</div>	施工箇所	混合深さ	作業日当たり標準作 業量	路床	1m 以下	172 m ² /日	構造物基礎	1m 以下	127 m ² /日	1m を超え 2m 以下	74 m ² /日																												
施工箇所	混合深さ	作業日当たり標準作 業量																																						
路床	1m 以下	172 m ² /日																																						
構造物基礎	1m 以下	127 m ² /日																																						
	1m を超え 2m 以下	74 m ² /日																																						

(削る。)	(削る。)
法面整形工（ICT） ～吹付法 面取壊し工	(略)
(削る。)	(削る。)
プレキャストコン クリート 板設置工 ・人工張 芝工	(略)

法面整形工	① 法面整形				
	整形箇所	法面締固めの有無	現場制約の有無	土質	作業日当たり標準作業量
	盛土部	有り	有り	砂及び砂質土，粘性土	120 m ² /日
			無し	レキ質土，砂及び砂質土，粘性土	140 m ² /日
		無し	無し	レキ質土，砂及び砂質土，粘性土	220 m ² /日
	切土部	二	有り	レキ質土，砂及び砂質土，粘性土	61 m ² /日
				軟岩Ⅰ，軟岩Ⅱ，中硬岩，硬岩	30 m ² /日
			無し	レキ質土，砂及び砂質土，粘性土	140 m ² /日
				軟岩Ⅰ	120 m ² /日
	(略)				
張りコンクリート工	①型枠工				
	対象構造物		作業日当たり標準作業量	摘要	
	縦排水溝		8 m ² /日		
	小段排水溝		8 m ² /日		
	防草コンクリート		15 m ² /日		
	②打設				
	対象構造物		打設方法	作業日当たり標準作業量	摘要
	縦排水溝	バックホウ		33 m ² /日	
		ラフレンクレーン		43 m ² /日	
	小段排水溝	バックホウ		65 m ² /日	
ラフレンクレーン		85 m ² /日			
防草コンクリート	バックホウ		113 m ² /日		
	人力		73 m ² /日		
(注) 1. 目地材設置は、打設に含む。					
2. 養生工は、現場、施工条件等により別途考慮する。					
プレキャストコンクリート板設置工・人工張芝工	(略)				

基礎・裏込 碎石工	① 基礎・裏込碎石工		
	工 種 名		作業日当たり標準作 業量
	基礎碎石		155 m ² ／日
	裏込碎石		38 m ³ ／日
	(削る。)	(削る。)	(削る。)
		(削る。)	(削る。)
	(削る。)	(削る。)	(削る。)
		(削る。)	(削る。)
	(注) 1. 上表には、現場内小運搬を含む。		
	2. 基礎碎石の敷均し厚は 20cm までを対象とし、それを超える場合は上表に 0.7 を乗じた数量を計上する。ただし、この場合の敷均し厚は 30cm を上限とする。		
コンクリ ートブロ ック 積 (張) 工	① コンクリートブロック積 (張) 工 (削る。)		

基礎・裏込
碎石工

① 基礎・裏込碎石工, 基礎・裏込栗石工

工 種 名		作業日当たり標準作 業量
基礎碎石		155 m ² ／日
裏込碎石		38 m ³ ／日
基礎栗石	敷均し	161 m ² ／日
	敷並べ	100 m ² ／日
裏込栗石	かき込み	31 m ³ ／日
	築立て	10 m ³ ／日

(注) 1. 上表には、20m程度の現場内小運搬を含む。

2. 基礎碎石の敷均し厚は 20cm までを対象とし、それを超える場合は上表に 0.7 を乗じた数量を計上する。ただし、この場合の敷均し厚は 30cm を上限とする。

コンクリ
ートブロ
ック 積
(張) 工

① コンクリートブロック積 (張) 工

工 種 名	ブロック質量 又は種類	基礎碎石の 有無	作業日当たり 標準作業量
コンクリートブロック積	150kg／個以上	二	13 m ² ／日
大型ブロック積	二	二	42 m ² ／日
間知ブロック張 平ブロック張 連節ブロック張	150kg／個未満	二	41 m ² ／日
	150kg／個以上	二	92 m ² ／日
緑化ブロック積	150kg／個未満	二	13 m ² ／日
	150kg／個以上	二	24 m ² ／日
胴込・裏込コンクリート	間知・平・連節・緑化 ブロック	二	9.1 m ³ ／日
	大型ブロック	二	20 m ³ ／日
胴込・裏込材 (碎石)	間知・平・連節・緑化 ブロック	二	20 m ³ ／日
	大型ブロック	二	50 m ³ ／日
遮水シート張	二	二	500 m ² ／日
吸出し防止材 (全面) 設置	二	二	500 m ² ／日
植樹	二	二	340 本／日
現場打基礎コンクリート	二	有り	3.7 m ³ ／日
	二	無し	4.5 m ³ ／日
天端コンクリート	二	二	3.4 m ³ ／日
プレキャスト基礎ブロック	二	二	20 m／日

(注) 1. 上表の作業日当たり標準作業量には、次の作業を含む。

・コンクリートブロック積、大型ブロック積、間知ブロック張、平ブロック張、連節ブロック張：ブロック積(張)、裏込・胴込C0、裏込材までの一連作業

・緑化ブロック積：緑化ブロック積、胴込C0、裏込材、客土までの一連作業

・植樹：植樹作業のみ

2. ブロック積 (張) は、裏込・胴込C0、裏込材を施工しない場合も上表による。

3. 緑化ブロック積は、胴込 C0、裏込材、客土を施工しない場合も上表による。

	<table><tr><th><u>工 種 名</u></th><th><u>ブロック質量 又は種類</u></th><th><u>作業日当たり 標準作業量</u></th></tr><tr><td><u>間知ブロック積</u></td><td><u>150kg／個以上730kg／個以下</u></td><td><u>13㎡／日</u></td></tr><tr><td rowspan="2"><u>大型ブロック積</u></td><td><u>2,000kg／個以下 (バックホウ据付)</u></td><td><u>43㎡／日</u></td></tr><tr><td><u>2,000kg／個を超え4,600kg／個以下 (クレーン据付)</u></td><td><u>47㎡／日</u></td></tr><tr><td rowspan="2"><u>間知ブロック張</u></td><td><u>150kg／個未満</u></td><td><u>45㎡／日</u></td></tr><tr><td><u>150kg／個以上770kg／個以下</u></td><td><u>96㎡／日</u></td></tr><tr><td rowspan="2"><u>平ブロック張</u></td><td><u>150kg／個未満</u></td><td><u>37㎡／日</u></td></tr><tr><td><u>150kg／個以上770kg／個以下</u></td><td><u>97㎡／日</u></td></tr><tr><td rowspan="3"><u>連節ブロック張</u></td><td><u>150kg／個未満</u></td><td><u>37㎡／日</u></td></tr><tr><td><u>150kg／個以上770kg／個以下 (鉄筋・鋼線)</u></td><td><u>90㎡／日</u></td></tr><tr><td><u>150kg／個以上770kg／個以下 (連結金具)</u></td><td><u>121㎡／日</u></td></tr><tr><td rowspan="2"><u>緑化ブロック積</u></td><td><u>150kg／個未満</u></td><td><u>12㎡／日</u></td></tr><tr><td><u>150kg／個以上980kg／個以下</u></td><td><u>22㎡／日</u></td></tr><tr><td rowspan="3"><u>胴込・裏込コンクリート</u></td><td><u>間知・緑化ブロック</u></td><td><u>10㎡／日</u></td></tr><tr><td><u>大型ブロック (バックホウ打設)</u></td><td><u>18㎡／日</u></td></tr><tr><td><u>大型ブロック (クレーン車打設)</u></td><td><u>23㎡／日</u></td></tr><tr><td rowspan="2"><u>胴込・裏込材 (砕石)</u></td><td><u>間知・平・連節・緑化ブロック</u></td><td><u>18㎡／日</u></td></tr><tr><td><u>大型ブロック</u></td><td><u>44㎡／日</u></td></tr><tr><td><u>遮水シート張</u></td><td><u>＝</u></td><td><u>540㎡／日</u></td></tr><tr><td><u>吸出し防止材 (全面) 設置</u></td><td><u>＝</u></td><td><u>480㎡／日</u></td></tr><tr><td rowspan="2"><u>現場打基礎コンクリート打設</u></td><td><u>基礎砕石有り</u></td><td><u>3.5㎡／日</u></td></tr><tr><td><u>基礎砕石無し</u></td><td><u>4.2㎡／日</u></td></tr><tr><td><u>現場打小口止コンクリート打設</u></td><td><u>＝</u></td><td><u>2.4㎡／日</u></td></tr><tr><td><u>現場打横帯 (隔壁) コンクリート打設</u></td><td><u>＝</u></td><td><u>2.5㎡／日</u></td></tr><tr><td><u>現場打天端コンクリート打設</u></td><td></td><td><u>24m／日</u></td></tr><tr><td><u>プレキャスト基礎ブロック設置</u></td><td><u>＝</u></td><td><u>15m／日</u></td></tr><tr><td><u>プレキャスト小口止ブロック 設置</u></td><td><u>＝</u></td><td><u>17m／日</u></td></tr><tr><td><u>プレキャスト横帯 (隔壁) ブロック設置</u></td><td><u>＝</u></td><td><u>33m／日</u></td></tr><tr><td><u>プレキャスト巻止 ブロック 設置</u></td><td><u>＝</u></td><td><u>310m／日</u></td></tr><tr><td><u>植樹</u></td><td><u>＝</u></td><td><u>310本／日</u></td></tr></table> <p>(注) 1. <u>上表の作業日当り標準作業量には、次の作業を含む。</u></p> <ul style="list-style-type: none">・<u>間知ブロック積、大型ブロック積、間知ブロック張、平ブロック張、連節ブ ロック張：ブロック積 (張)、裏込・胴込コンクリート、胴込・裏込材までの 一連作業</u>・<u>緑化ブロック積：緑化ブロック積、胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材、 客土までの一連作業</u>・<u>植樹：植樹作業のみ</u> <p>2. <u>ブロック積 (張) は、胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材を施工しない 場合も上表による。</u></p> <p>3. <u>緑化ブロック積は、胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材、客土を施工し ない場合も上表による。</u></p>	<u>工 種 名</u>	<u>ブロック質量 又は種類</u>	<u>作業日当たり 標準作業量</u>	<u>間知ブロック積</u>	<u>150kg／個以上730kg／個以下</u>	<u>13㎡／日</u>	<u>大型ブロック積</u>	<u>2,000kg／個以下 (バックホウ据付)</u>	<u>43㎡／日</u>	<u>2,000kg／個を超え4,600kg／個以下 (クレーン据付)</u>	<u>47㎡／日</u>	<u>間知ブロック張</u>	<u>150kg／個未満</u>	<u>45㎡／日</u>	<u>150kg／個以上770kg／個以下</u>	<u>96㎡／日</u>	<u>平ブロック張</u>	<u>150kg／個未満</u>	<u>37㎡／日</u>	<u>150kg／個以上770kg／個以下</u>	<u>97㎡／日</u>	<u>連節ブロック張</u>	<u>150kg／個未満</u>	<u>37㎡／日</u>	<u>150kg／個以上770kg／個以下 (鉄筋・鋼線)</u>	<u>90㎡／日</u>	<u>150kg／個以上770kg／個以下 (連結金具)</u>	<u>121㎡／日</u>	<u>緑化ブロック積</u>	<u>150kg／個未満</u>	<u>12㎡／日</u>	<u>150kg／個以上980kg／個以下</u>	<u>22㎡／日</u>	<u>胴込・裏込コンクリート</u>	<u>間知・緑化ブロック</u>	<u>10㎡／日</u>	<u>大型ブロック (バックホウ打設)</u>	<u>18㎡／日</u>	<u>大型ブロック (クレーン車打設)</u>	<u>23㎡／日</u>	<u>胴込・裏込材 (砕石)</u>	<u>間知・平・連節・緑化ブロック</u>	<u>18㎡／日</u>	<u>大型ブロック</u>	<u>44㎡／日</u>	<u>遮水シート張</u>	<u>＝</u>	<u>540㎡／日</u>	<u>吸出し防止材 (全面) 設置</u>	<u>＝</u>	<u>480㎡／日</u>	<u>現場打基礎コンクリート打設</u>	<u>基礎砕石有り</u>	<u>3.5㎡／日</u>	<u>基礎砕石無し</u>	<u>4.2㎡／日</u>	<u>現場打小口止コンクリート打設</u>	<u>＝</u>	<u>2.4㎡／日</u>	<u>現場打横帯 (隔壁) コンクリート打設</u>	<u>＝</u>	<u>2.5㎡／日</u>	<u>現場打天端コンクリート打設</u>		<u>24m／日</u>	<u>プレキャスト基礎ブロック設置</u>	<u>＝</u>	<u>15m／日</u>	<u>プレキャスト小口止ブロック 設置</u>	<u>＝</u>	<u>17m／日</u>	<u>プレキャスト横帯 (隔壁) ブロック設置</u>	<u>＝</u>	<u>33m／日</u>	<u>プレキャスト巻止 ブロック 設置</u>	<u>＝</u>	<u>310m／日</u>	<u>植樹</u>	<u>＝</u>	<u>310本／日</u>		(新設)
<u>工 種 名</u>	<u>ブロック質量 又は種類</u>	<u>作業日当たり 標準作業量</u>																																																																																	
<u>間知ブロック積</u>	<u>150kg／個以上730kg／個以下</u>	<u>13㎡／日</u>																																																																																	
<u>大型ブロック積</u>	<u>2,000kg／個以下 (バックホウ据付)</u>	<u>43㎡／日</u>																																																																																	
	<u>2,000kg／個を超え4,600kg／個以下 (クレーン据付)</u>	<u>47㎡／日</u>																																																																																	
<u>間知ブロック張</u>	<u>150kg／個未満</u>	<u>45㎡／日</u>																																																																																	
	<u>150kg／個以上770kg／個以下</u>	<u>96㎡／日</u>																																																																																	
<u>平ブロック張</u>	<u>150kg／個未満</u>	<u>37㎡／日</u>																																																																																	
	<u>150kg／個以上770kg／個以下</u>	<u>97㎡／日</u>																																																																																	
<u>連節ブロック張</u>	<u>150kg／個未満</u>	<u>37㎡／日</u>																																																																																	
	<u>150kg／個以上770kg／個以下 (鉄筋・鋼線)</u>	<u>90㎡／日</u>																																																																																	
	<u>150kg／個以上770kg／個以下 (連結金具)</u>	<u>121㎡／日</u>																																																																																	
<u>緑化ブロック積</u>	<u>150kg／個未満</u>	<u>12㎡／日</u>																																																																																	
	<u>150kg／個以上980kg／個以下</u>	<u>22㎡／日</u>																																																																																	
<u>胴込・裏込コンクリート</u>	<u>間知・緑化ブロック</u>	<u>10㎡／日</u>																																																																																	
	<u>大型ブロック (バックホウ打設)</u>	<u>18㎡／日</u>																																																																																	
	<u>大型ブロック (クレーン車打設)</u>	<u>23㎡／日</u>																																																																																	
<u>胴込・裏込材 (砕石)</u>	<u>間知・平・連節・緑化ブロック</u>	<u>18㎡／日</u>																																																																																	
	<u>大型ブロック</u>	<u>44㎡／日</u>																																																																																	
<u>遮水シート張</u>	<u>＝</u>	<u>540㎡／日</u>																																																																																	
<u>吸出し防止材 (全面) 設置</u>	<u>＝</u>	<u>480㎡／日</u>																																																																																	
<u>現場打基礎コンクリート打設</u>	<u>基礎砕石有り</u>	<u>3.5㎡／日</u>																																																																																	
	<u>基礎砕石無し</u>	<u>4.2㎡／日</u>																																																																																	
<u>現場打小口止コンクリート打設</u>	<u>＝</u>	<u>2.4㎡／日</u>																																																																																	
<u>現場打横帯 (隔壁) コンクリート打設</u>	<u>＝</u>	<u>2.5㎡／日</u>																																																																																	
<u>現場打天端コンクリート打設</u>		<u>24m／日</u>																																																																																	
<u>プレキャスト基礎ブロック設置</u>	<u>＝</u>	<u>15m／日</u>																																																																																	
<u>プレキャスト小口止ブロック 設置</u>	<u>＝</u>	<u>17m／日</u>																																																																																	
<u>プレキャスト横帯 (隔壁) ブロック設置</u>	<u>＝</u>	<u>33m／日</u>																																																																																	
<u>プレキャスト巻止 ブロック 設置</u>	<u>＝</u>	<u>310m／日</u>																																																																																	
<u>植樹</u>	<u>＝</u>	<u>310本／日</u>																																																																																	

石積(張) 工・平石 張工	(略)																								
場所打擁 壁工(1)	① 場所打擁壁																								
	<table><tr><th colspan="2">区 分</th><th>作業日当たり標準作業量 (m³/日)</th></tr><tr><td rowspan="3">小型擁壁</td><td>0.5m以上 0.6m未満</td><td>1.2</td></tr><tr><td>0.6m以上 0.8m未満</td><td>1.5</td></tr><tr><td>0.8m以上 1.0m以下</td><td>1.6</td></tr><tr><td rowspan="2">重力式擁壁</td><td>1m超え 2 m未満</td><td><u>4.5</u></td></tr><tr><td>2 m以上 5 m以下</td><td><u>6.3</u></td></tr><tr><td>もたれ式擁壁</td><td>3 mから 8 mまで</td><td>6.3</td></tr><tr><td>逆T型擁壁</td><td>3 mから 10mまで</td><td><u>5.0</u></td></tr><tr><td>L型擁壁</td><td>3 mから 7 mまで</td><td><u>4.0</u></td></tr></table>	区 分		作業日当たり標準作業量 (m³/日)	小型擁壁	0.5m以上 0.6m未満	1.2	0.6m以上 0.8m未満	1.5	0.8m以上 1.0m以下	1.6	重力式擁壁	1m超え 2 m未満	<u>4.5</u>	2 m以上 5 m以下	<u>6.3</u>	もたれ式擁壁	3 mから 8 mまで	6.3	逆T型擁壁	3 mから 10mまで	<u>5.0</u>	L型擁壁	3 mから 7 mまで	<u>4.0</u>
	区 分		作業日当たり標準作業量 (m³/日)																						
	小型擁壁	0.5m以上 0.6m未満	1.2																						
		0.6m以上 0.8m未満	1.5																						
		0.8m以上 1.0m以下	1.6																						
	重力式擁壁	1m超え 2 m未満	<u>4.5</u>																						
		2 m以上 5 m以下	<u>6.3</u>																						
	もたれ式擁壁	3 mから 8 mまで	6.3																						
	逆T型擁壁	3 mから 10mまで	<u>5.0</u>																						
L型擁壁	3 mから 7 mまで	<u>4.0</u>																							
(注) 1 (略)																									
2. 上表の作業日当たり標準作業量は、基礎材、均しコンクリート、足場の施工の有無、足場形式(枠組足場、単管足場、手摺先行型枠組足場)、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材の施工の有無にかかわらず適用できる。																									
3・4 (略)																									
場所打擁 壁工(2) ～ 補強土壁 工(帯鋼 補 強 土 壁, アン カー補強 土壁, ジ オテキス タイル補 強土壁) ・補強土 壁工	(略)																								
(削る。)	(削る。)																								
(削る。)	(削る。)																								

石積(張) 工・平石 張工	(略)																								
場所打擁 壁工(1)	<div>① 場所打擁壁</div> <table><tr><th colspan="2">区 分</th><th>作業日当たり標準作業量 (m³/日)</th></tr><tr><td rowspan="3">小型擁壁</td><td>0.5m以上 0.6m未満</td><td>1.2</td></tr><tr><td>0.6m以上 0.8m未満</td><td>1.5</td></tr><tr><td>0.8m以上 1.0m以下</td><td>1.6</td></tr><tr><td rowspan="2">重力式擁壁</td><td>1m超え 2 m未満</td><td>5.7</td></tr><tr><td>2 m以上 5 m以下</td><td>7.8 (7.5)</td></tr><tr><td>もたれ式擁壁</td><td>3 mから 8 mまで</td><td>6.3 (6.3)</td></tr><tr><td>逆T型擁壁</td><td>3 mから 10mまで</td><td>5.2 (5.0)</td></tr><tr><td>L型擁壁</td><td>3 mから 7 mまで</td><td>4.2 (4.0)</td></tr></table> <div>(注) 1 (略)</div> <div>2. 上表の作業日当たり標準作業量は、基礎材、均しコンクリート、足場の施工の有無、足場形式(枠組足場、単管足場、手摺先行型枠組足場)、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材の施工の有無にかかわらず適用できる。 なお、手摺先行型枠組足場を使用する場合は、() 書きの数値を適用する。</div> <div>3・4 (略)</div>	区 分		作業日当たり標準作業量 (m³/日)	小型擁壁	0.5m以上 0.6m未満	1.2	0.6m以上 0.8m未満	1.5	0.8m以上 1.0m以下	1.6	重力式擁壁	1m超え 2 m未満	5.7	2 m以上 5 m以下	7.8 (7.5)	もたれ式擁壁	3 mから 8 mまで	6.3 (6.3)	逆T型擁壁	3 mから 10mまで	5.2 (5.0)	L型擁壁	3 mから 7 mまで	4.2 (4.0)
区 分		作業日当たり標準作業量 (m³/日)																							
小型擁壁	0.5m以上 0.6m未満	1.2																							
	0.6m以上 0.8m未満	1.5																							
	0.8m以上 1.0m以下	1.6																							
重力式擁壁	1m超え 2 m未満	5.7																							
	2 m以上 5 m以下	7.8 (7.5)																							
もたれ式擁壁	3 mから 8 mまで	6.3 (6.3)																							
逆T型擁壁	3 mから 10mまで	5.2 (5.0)																							
L型擁壁	3 mから 7 mまで	4.2 (4.0)																							
場所打擁 壁工(2) ～ 補強土壁 工(帯鋼 補 強 土 壁, アン カー補強 土壁, ジ オテキス タイル補 強 土 壁 (二重壁 タイプ)) ・補強土 壁工	(略)																								
構造物補 修工(ひ び割れ補 修工(充 填工法))	<div>① ひび割れ補修工(充填工法)</div> <table><tr><th colspan="2">数量</th><th>作業日当たり標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">1 構造物当 り補修延べ延長</td><td>20m未満の場合</td><td>13.9 m/日</td></tr><tr><td>20m以上の場合</td><td>20.1 m/日</td></tr></table>	数量		作業日当たり標準作業量	1 構造物当 り補修延べ延長	20m未満の場合	13.9 m/日	20m以上の場合	20.1 m/日																
数量		作業日当たり標準作業量																							
1 構造物当 り補修延べ延長	20m未満の場合	13.9 m/日																							
	20m以上の場合	20.1 m/日																							
構造物補 修工(ひ び割れ補 修工(低 圧注入工 法))	<div>① ひび割れ補修工(低圧注入工法)</div> <table><tr><th colspan="2">数量</th><th>作業日当たり標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">1 構造物当 り補修延べ延長</td><td>25m未満の場合</td><td>13.4 m/日</td></tr><tr><td>25m以上の場合</td><td>25.6 m/日</td></tr></table>	数量		作業日当たり標準作業量	1 構造物当 り補修延べ延長	25m未満の場合	13.4 m/日	25m以上の場合	25.6 m/日																
数量		作業日当たり標準作業量																							
1 構造物当 り補修延べ延長	25m未満の場合	13.4 m/日																							
	25m以上の場合	25.6 m/日																							

(削る。)	(削る。)																																								
排水構造物工	<div>① ヒューム管</div> <div>(1) ヒューム管単体</div> <table><tr><td>管径 (mm)</td><td>200 300</td><td>250 350</td><td>400 500</td><td>450 600</td><td>700 800 900 1,000</td><td>1,100 1,200 1,350</td></tr><tr><td>作業日当たり標準作業量 (m/日)</td><td colspan="2"><u>31</u></td><td colspan="2"><u>29</u></td><td><u>24</u></td><td><u>18</u></td></tr></table> <div>(注) 撤去の作業日当たり標準作業量は、上表×2とする。</div> <div>(2) ヒューム管+ヒューム管用巻きコンクリート</div> <table><tr><td>管径 (mm)</td><td>200 300</td><td>250 350</td><td>400 500</td><td>450 600</td><td>700 800 900 1,000</td><td>1,100 1,200 1,350</td></tr><tr><td rowspan="3">作業日当たり標準作業量 (m/日)</td><td>90° 巻き</td><td colspan="2"><u>15</u></td><td><u>11</u></td><td><u>8</u></td><td><u>5</u></td></tr><tr><td>180° 巻き</td><td colspan="2"><u>11</u></td><td><u>8</u></td><td><u>5</u></td><td><u>3</u></td></tr><tr><td>360° 巻き</td><td colspan="2"><u>7</u></td><td><u>4</u></td><td>2</td><td>—</td></tr></table> <div>(注) (略)</div> <div>②～⑫ (略)</div>	管径 (mm)	200 300	250 350	400 500	450 600	700 800 900 1,000	1,100 1,200 1,350	作業日当たり標準作業量 (m/日)	<u>31</u>		<u>29</u>		<u>24</u>	<u>18</u>	管径 (mm)	200 300	250 350	400 500	450 600	700 800 900 1,000	1,100 1,200 1,350	作業日当たり標準作業量 (m/日)	90° 巻き	<u>15</u>		<u>11</u>	<u>8</u>	<u>5</u>	180° 巻き	<u>11</u>		<u>8</u>	<u>5</u>	<u>3</u>	360° 巻き	<u>7</u>		<u>4</u>	2	—
管径 (mm)	200 300	250 350	400 500	450 600	700 800 900 1,000	1,100 1,200 1,350																																			
作業日当たり標準作業量 (m/日)	<u>31</u>		<u>29</u>		<u>24</u>	<u>18</u>																																			
管径 (mm)	200 300	250 350	400 500	450 600	700 800 900 1,000	1,100 1,200 1,350																																			
作業日当たり標準作業量 (m/日)	90° 巻き	<u>15</u>		<u>11</u>	<u>8</u>	<u>5</u>																																			
	180° 巻き	<u>11</u>		<u>8</u>	<u>5</u>	<u>3</u>																																			
	360° 巻き	<u>7</u>		<u>4</u>	2	—																																			
(削る。)	(削る。)																																								
排水構造物工 (現場打ち水路 (本体)) ～ 粉体噴射攪拌工 (DJM工法)	(略)																																								

構造物補修工（断面修復工（左官工法））	① 鉄筋ケレン・防錆処理を含む。					
	数量		作業日当たり標準作業量			
	1 構造物当たり補修延べ延長	0.1 m³未満の場合 0.1 m³以上の場合	0.020 m³／日 0.069 m³／日			
	② 鉄筋ケレン・防錆処理を含まない					
	数量		作業日当たり標準作業量			
	1 構造物当たり補修延べ延長	0.1 m³未満の場合	0.024 m³／日			
排水構造物工	① ヒューム管					
	(1) ヒューム管単体					
	管 径 (mm)	200 250 300 350	400 450 500 600	700 800 900 1,000	1,100 1,200 1,350	
	作業日当たり標準作業量 (m／日)	50	25	17	14	
	(注) 撤去の作業日当たり標準作業量は、上表×2とする。					
	(2) ヒューム管+ヒューム管用巻きコンクリート					
	管 径 (mm)	200 250 300 350	400 450 500 600	700 800 900 1,000	1,100 1,200 1,350	
	作業日当たり標準作業量 (m／日)	90° 巻き	8	6	4	3
		180° 巻き	7	5	3	2
		360° 巻き	5	3	2	—
(注) (略)						
②～⑫ (略)						
排水構造物工（溶接金網及び埋設鋼板型枠）	① 溶接金網（現場打側溝蓋補強用）設置					
	作業日当たり標準作業量		500 m²／日			
	② 埋設鋼板型枠（現場打側溝蓋用）					
作業日当たり標準作業量		143 m²／日				
排水構造物工（現場打ち水路（本体）） ～ 粉体噴射攪拌工（DJM工法）	(略)					

アンカー工
(ロータリーパーカッション式)

① 削孔 (アンカー)	(削る。)	足場の有無	呼び径	作業日当たり標準作業量 (m／日)				
				粘性土 砂質土	硬質土	玉石 混り土	軟岩	硬岩
(削る。)	(削る。)		(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)
			(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)
			(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)
	(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)
			(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)
			(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)
(削る。)	有り (スキット型)		90mm	45	30	21	26	20
			115mm	28	23	16	20	16
			135mm	22	18	14	15	13
			146mm	19	16	12	14	10
	無し (クローラ型)		90mm	50	33	24	29	22
			115mm	31	26	18	22	18
			135mm	24	20	15	17	14
			146mm	21	18	14	15	11

(注) (略)

② アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理 (アンカー)

防食方式	アンカー鋼材種類	削孔長	設計荷重	作業日当たり標準作業量 (本／日)	
				頭部処理有り	頭部処理無し
二重防食	PC 鋼線より線	10m 以内	f < 400kN	3. 1	3. 4
			400 ≦ f < 1300kN	2. 5	2. 8
			1300 ≦ f < 2000kN	2. 2	2. 4
		10m を超える	f < 400kN	2. 7	2. 9
			400 ≦ f < 1300kN	2. 5	2. 8
			1300 ≦ f < 2000kN	2. 2	2. 4
	PC 鋼線より線 (工場組立)	—	f < 400kN	6. 4	8. 3
			400 ≦ f < 1300kN	5. 8	7. 1
			1300 ≦ f < 2000kN	4. 3	5. 1
	複合 PC 鋼線より線束	10m 以内	f < 400kN	5. 0	6. 0
			400 ≦ f < 1300kN	4. 3	5. 0
			1300 ≦ f < 2000kN	3. 3	3. 8
		10m を超える	f < 400kN	4. 6	5. 5
			400 ≦ f < 1300kN	4. 1	4. 7
			1300 ≦ f < 2000kN	3. 2	3. 6
	<u>PC 鋼棒</u>	10m 以内	f < 400kN	3. 7	4. 3
			400 ≦ f < 1300kN	3. 5	3. 9
		10m を超える	f < 400kN	3. 7	4. 3
			400 ≦ f < 1300kN	3. 5	3. 9
簡易防食	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

(参考) (略)

構造物取壊し工

(略)

アンカー工
(ロータリーパーカッション式)

① 削孔 (アンカー)	方式	足場の有無	呼び径	作業日当たり標準作業量 (m／日)				
				粘性土 砂質土	硬質土	玉石 混り土	軟岩	硬岩
単管	有り (スキット型)		90mm	48	32	22	二	二
			115mm	33	26	18	二	二
			135mm	26	22	15	二	二
	無し (クローラ型)		90mm	53	36	24	二	二
			115mm	37	29	20	二	二
			135mm	29	24	17	二	二
二重管	有り (スキット型)		90mm	45	30	21	26	20
			115mm	28	23	16	20	16
			135mm	22	18	14	15	13
			146mm	19	16	12	14	10
	無し (クローラ型)		90mm	50	33	24	29	22
			115mm	31	26	18	22	18
			135mm	24	20	15	17	14
			146mm	21	18	14	15	11

(注) (略)

② アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理 (アンカー)

防食方式	アンカー鋼材種類	削孔長	設計荷重	作業日当たり標準作業量 (本／日)	
				頭部処理有り	頭部処理無し
二重防食	PC 鋼線より線	10m 以内	f < 400kN	3. 1	3. 4
			400 ≦ f < 1300kN	2. 5	2. 8
			1300 ≦ f < 2000kN	2. 2	2. 4
		10m を超える	f < 400kN	2. 7	2. 9
			400 ≦ f < 1300kN	2. 5	2. 8
			1300 ≦ f < 2000kN	2. 2	2. 4
	PC 鋼線より線 (工場組立)	—	f < 400kN	6. 4	8. 3
			400 ≦ f < 1300kN	5. 8	7. 1
			1300 ≦ f < 2000kN	4. 3	5. 1
	複合 PC 鋼線より線束	10m 以内	f < 400kN	5. 0	6. 0
			400 ≦ f < 1300kN	4. 3	5. 0
			1300 ≦ f < 2000kN	3. 3	3. 8
		10m を超える	f < 400kN	4. 6	5. 5
			400 ≦ f < 1300kN	4. 1	4. 7
			1300 ≦ f < 2000kN	3. 2	3. 6
	<u>PC 鋼線</u> より線	10m 以内	f < 400kN	3. 7	4. 3
			400 ≦ f < 1300kN	3. 5	3. 9
		10m を超える	f < 400kN	3. 7	4. 3
			400 ≦ f < 1300kN	3. 5	3. 9
簡易防食	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

(参考) (略)

構造物取壊し工

(略)

コンクリート削孔工	① (略) ② コンクリート削孔 (さく岩機) (略) ③ (略)
吸出し防止材設置工	(略)
目地・止水板設置工	(削る。)

殻運搬	① 殻運搬 (略) (削る。)								
	(略)								
コンクリート工	① (略) ② モルタル練 <table><tr><td>混合比</td><td>作業日当たり標準作業量</td></tr><tr><td>(削る。)</td><td>(削る。)</td></tr><tr><td>(削る。)</td><td>(削る。)</td></tr><tr><td>1 : 3</td><td>1.4 m³/日</td></tr></table> (注) 作業日当たり標準作業量は、普通作業員 1 名の場合。	混合比	作業日当たり標準作業量	(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)	1 : 3	1.4 m ³ /日
混合比	作業日当たり標準作業量								
(削る。)	(削る。)								
(削る。)	(削る。)								
1 : 3	1.4 m ³ /日								
型枠工～アスファルト舗装工	(略)								
(削る。)	(削る。)								

殻運搬	① 殻運搬 (略)	殻発生作業	積込工法 区分	DID 区間 の有無	運搬距離	作業日当 たり 標準作業量																												
					0.3km 以下	15 m ³ /日																												
					0.5km 以下	14 m ³ /日																												
					1.5km 以下	13 m ³ /日																												
					2.0km 以下	11 m ³ /日																												
					2.5km 以下	10 m ³ /日																												
					3.0km 以下	9 m ³ /日																												
					4.0km 以下	8 m ³ /日																												
					5.0km 以下	7 m ³ /日																												
					6.5km 以下	6 m ³ /日																												
					8.5km 以下	5 m ³ /日																												
					11.0km 以下	4 m ³ /日																												
					16.0km 以下	3 m ³ /日																												
					27.5km 以下	3 m ³ /日																												
					60.0km 以下	2 m ³ /日																												
					無し	0.3km 以下	15 m ³ /日																											
						0.5km 以下	14 m ³ /日																											
						1.0km 以下	13 m ³ /日																											
						1.5km 以下	11 m ³ /日																											
						2.0km 以下	10 m ³ /日																											
						2.5km 以下	9 m ³ /日																											
						3.5km 以下	8 m ³ /日																											
						4.5km 以下	7 m ³ /日																											
						6.0km 以下	6 m ³ /日																											
						8.0km 以下	5 m ³ /日																											
						10.5km 以下	4 m ³ /日																											
						14.5km 以下	3 m ³ /日																											
						23.0km 以下	3 m ³ /日																											
						60.0km 以下	2 m ³ /日																											
						有り	0.3km 以下	15 m ³ /日																										
0.5km 以下	14 m ³ /日																																	
1.0km 以下	13 m ³ /日																																	
1.5km 以下	11 m ³ /日																																	
2.0km 以下	10 m ³ /日																																	
2.5km 以下	9 m ³ /日																																	
3.5km 以下	8 m ³ /日																																	
4.5km 以下	7 m ³ /日																																	
6.0km 以下	6 m ³ /日																																	
8.0km 以下	5 m ³ /日																																	
10.5km 以下	4 m ³ /日																																	
14.5km 以下	3 m ³ /日																																	
23.0km 以下	3 m ³ /日																																	
60.0km 以下	2 m ³ /日																																	
舗装版破砕	人力積込 み																																	

(削る。)	(削る。)														
(削る。)	(削る。)														
踏掛版設置工	<div>① 踏掛版設置</div> <table><tr><th>鉄筋量</th><th>作業日当たり標準作業量</th></tr><tr><td>0.08t/㎡以上0.10t/㎡未満</td><td>5.1㎡/日</td></tr><tr><td>0.10t/㎡以上0.16t/㎡未満</td><td>4.4㎡/日</td></tr><tr><td>(削る。)</td><td>(削る。)</td></tr><tr><td>0.16t/㎡以上0.24t/㎡未満</td><td>3.6㎡/日</td></tr><tr><td>0.24t/㎡以上0.30t/㎡未満</td><td>2.2㎡/日</td></tr><tr><td>0.30t/㎡以上0.36t/㎡未満</td><td>1.4㎡/日</td></tr></table> <div>(注) 上表の作業日当たり標準作業量には、コンクリート、型枠、鉄筋、目地材の作業を含む。</div> <div>(削る。)</div> <div>(削る。)</div>	鉄筋量	作業日当たり標準作業量	0.08t/㎡以上0.10t/㎡未満	5.1㎡/日	0.10t/㎡以上0.16t/㎡未満	4.4㎡/日	(削る。)	(削る。)	0.16t/㎡以上0.24t/㎡未満	3.6㎡/日	0.24t/㎡以上0.30t/㎡未満	2.2㎡/日	0.30t/㎡以上0.36t/㎡未満	1.4㎡/日
鉄筋量	作業日当たり標準作業量														
0.08t/㎡以上0.10t/㎡未満	5.1㎡/日														
0.10t/㎡以上0.16t/㎡未満	4.4㎡/日														
(削る。)	(削る。)														
0.16t/㎡以上0.24t/㎡未満	3.6㎡/日														
0.24t/㎡以上0.30t/㎡未満	2.2㎡/日														
0.30t/㎡以上0.36t/㎡未満	1.4㎡/日														
立入り防止柵工	(略)														

排水性アスファルト舗装工	① 排水性舗装・表層（車道・路肩部）	(1日・1層当たり)														
	<table><tr><th>平均施工幅員</th><th>導水パイプの設置</th><th>作業日当たり標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="2">1. 4m未満</td><td>有り</td><td>170 m²/日・層</td></tr><tr><td>無し</td><td>190 m²/日・層</td></tr><tr><td rowspan="2">2. 4m 以上</td><td>有り</td><td>1,500 m²/日・層</td></tr><tr><td>無し</td><td>1,700 m²/日・層</td></tr></table>	平均施工幅員	導水パイプの設置	作業日当たり標準作業量	1. 4m未満	有り	170 m ² /日・層	無し	190 m ² /日・層	2. 4m 以上	有り	1,500 m ² /日・層	無し	1,700 m ² /日・層		
	平均施工幅員	導水パイプの設置	作業日当たり標準作業量													
	1. 4m未満	有り	170 m ² /日・層													
無し		190 m ² /日・層														
2. 4m 以上	有り	1,500 m ² /日・層														
	無し	1,700 m ² /日・層														
透水性アスファルト舗装工	① フィルター層	(1日・1層当たり)														
	<table><tr><th>作 業 名</th><th>作業日当たり標準作業量</th></tr><tr><td>フィルター材の敷均し及び締固め</td><td>280 m²/日・層</td></tr></table>	作 業 名	作業日当たり標準作業量	フィルター材の敷均し及び締固め	280 m ² /日・層											
	作 業 名	作業日当たり標準作業量														
	フィルター材の敷均し及び締固め	280 m ² /日・層														
② 透水性アスファルト舗装	(1日・1層当たり)															
<table><tr><th>平均施工幅員</th><th>作業日当たり標準作業量</th></tr><tr><td>1. 4m未満</td><td>200 m²/日・層</td></tr><tr><td>1. 4m以上2. 4m未満</td><td>600 m²/日・層</td></tr><tr><td>2. 4m</td><td>620 m²/日・層</td></tr></table>	平均施工幅員	作業日当たり標準作業量	1. 4m未満	200 m ² /日・層	1. 4m以上2. 4m未満	600 m ² /日・層	2. 4m	620 m ² /日・層								
平均施工幅員	作業日当たり標準作業量															
1. 4m未満	200 m ² /日・層															
1. 4m以上2. 4m未満	600 m ² /日・層															
2. 4m	620 m ² /日・層															
踏掛版	① 踏掛版															
	<table><tr><th>鉄筋量</th><th>作業日当たり標準作業量</th></tr><tr><td>0. 08t/m³以上0. 10t/m³未満</td><td>11 m³/日</td></tr><tr><td>0. 10t/m³以上0. 14t/m³未満</td><td>10 m³/日</td></tr><tr><td>0. 14t/m³以上0. 18t/m³未満</td><td>9 m³/日</td></tr><tr><td>0. 18t/m³以上0. 24t/m³未満</td><td>8 m³/日</td></tr><tr><td>0. 24t/m³以上0. 30t/m³未満</td><td>7 m³/日</td></tr><tr><td>0. 30t/m³以上0. 34t/m³未満</td><td>6 m³/日</td></tr></table>	鉄筋量	作業日当たり標準作業量	0. 08t/m ³ 以上0. 10t/m ³ 未満	11 m ³ /日	0. 10t/m ³ 以上0. 14t/m ³ 未満	10 m ³ /日	0. 14t/m ³ 以上0. 18t/m ³ 未満	9 m ³ /日	0. 18t/m ³ 以上0. 24t/m ³ 未満	8 m ³ /日	0. 24t/m ³ 以上0. 30t/m ³ 未満	7 m ³ /日	0. 30t/m ³ 以上0. 34t/m ³ 未満	6 m ³ /日	
	鉄筋量	作業日当たり標準作業量														
	0. 08t/m ³ 以上0. 10t/m ³ 未満	11 m ³ /日														
	0. 10t/m ³ 以上0. 14t/m ³ 未満	10 m ³ /日														
	0. 14t/m ³ 以上0. 18t/m ³ 未満	9 m ³ /日														
	0. 18t/m ³ 以上0. 24t/m ³ 未満	8 m ³ /日														
	0. 24t/m ³ 以上0. 30t/m ³ 未満	7 m ³ /日														
	0. 30t/m ³ 以上0. 34t/m ³ 未満	6 m ³ /日														
	(注) 1. 上表の作業日当たり標準作業量には、コンクリート、型枠、鉄筋、目地材の作業を含む。															
	2. 各作業間の重複作業は考慮していない。															
	(参考) 各作業単独の場合の作業量															
<table><tr><th>作 業 名</th><th>作業日当たり標準作業量</th></tr><tr><td>目地板設置</td><td>14 m²/日</td></tr><tr><td>鉄筋加工・組立</td><td>3.5 t/日</td></tr><tr><td>型枠設置</td><td>38 m²/日</td></tr><tr><td>コンクリート打設</td><td>69 m³/日</td></tr></table>	作 業 名	作業日当たり標準作業量	目地板設置	14 m ² /日	鉄筋加工・組立	3.5 t/日	型枠設置	38 m ² /日	コンクリート打設	69 m ³ /日						
作 業 名	作業日当たり標準作業量															
目地板設置	14 m ² /日															
鉄筋加工・組立	3.5 t/日															
型枠設置	38 m ² /日															
コンクリート打設	69 m ³ /日															
立入り防止柵工	(略)															

(削る。)	(削る。)
(削る。)	(削る。)
雪崩予防 柵設置工 ・落下物 等防止柵 設置工	(略)
(削る。)	(削る。)

防雪柵設置及び撤去工	① 設置の場合			
	形式	取付方式	柵高	作業日当たり標準作業量
	吹溜式	仮設式(支柱＋張立材)	3.5m 以下	87 m/日
			3.5 超え 6.0m 以下	56 m/日
		仮設式(張立材のみ)	3.5m 以下	201 m/日
			3.5 超え 6.0m 以下	128 m/日
		固定式(支柱＋張立材)	5.0m 以下	29 m/日
		固定式(張立材のみ)	5.0m 以下	68 m/日
	吹払式	仮設式(支柱＋張立材)	4.0m 以下	67 m/日
		仮設式(張立材のみ)	4.0m 以下	155 m/日
		固定式(支柱＋張立材)	4.0m 以下	39 m/日
		固定式(張立材のみ)	4.0m 以下	90 m/日
	② 撤去の場合			
	形式	取付方式	柵高	作業日当たり標準作業量
	吹溜式	仮設式(支柱＋張立材)	3.5m 以下	114 m/日
3.5 超え 6.0m 以下			73 m/日	
仮設式(張立材のみ)		3.5m 以下	264 m/日	
		3.5 超え 6.0m 以下	170 m/日	
固定式(支柱＋張立材)		5.0m 以下	38 m/日	
固定式(張立材のみ)		5.0m 以下	88 m/日	
吹払式	仮設式(支柱＋張立材)	4.0m 以下	88 m/日	
	仮設式(張立材のみ)	4.0m 以下	203 m/日	
	固定式(支柱＋張立材)	4.0m 以下	51 m/日	
	固定式(張立材のみ)	4.0m 以下	118 m/日	
(注) 上表の作業日当たり標準作業量には、現場内小運搬を含む。				
防雪柵現地張出し・収納工	① 防雪柵現地張出し・収納			
	作 業 名	作業日当たり標準作業量		
	張 出 し	186 m/日		
	収 納	214 m/日		
雪崩予防柵設置工・落下物等防止柵設置工	(略)			
トンネル内装板設置工	① トンネル内装板設置			
	作業日当たり標準作業量		63.4 m ² /日	

道路付属物設置工～路面切削工

(略)

舗装版破碎工

① 舗装版破碎（障害無し）

(1) アスファルト舗装版

障害等の有無	騒音振動対策	舗装版厚	作業日当たり標準作業量		
			直接掘削・積込作業	舗装版破碎作業	掘削・積込作業
無し	不要	15cm以下	484 m ² ／日	－	－
		15cmを超え40cm以下	－	288 m ² ／日	354 m ² ／日
		15cm以下	－	260 m ² ／日	470 m ² ／日
	必要	15cmを超え35cm以下	－	180 m ² ／日	354 m ² ／日

(2) コンクリート舗装版

騒音振動対策	舗装版厚	作業日当たり標準作業量		
		直接掘削・積込作業	舗装版破碎作業	掘削・積込作業
不要	15cm以下	484 m ² ／日	－	－
	15cmを超え35cm以下	－	230 m ² ／日	242 m ² ／日
必要	15cm以下	－	190 m ² ／日	320 m ² ／日
	15cmを超え35cm以下	－	150 m ² ／日	242 m ² ／日

(3) (略)

② (略)

舗装版切断工

① 舗装版切断

(1) アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚	作業日当たり標準作業量
15cm以下	203 m／日
15cmを超え30cm以下	127 m／日
30cmを超え40cm以下	80 m／日

(2) コンクリート舗装版、コンクリート＋アスファルト（カバー）舗装版

コンクリート舗装版厚	作業日当たり標準作業量
15cm以下	129 m／日
15cmを超え30cm以下	67 m／日

(注) コンクリート＋アスファルト（カバー）舗装版の場合、舗装版厚はコンクリート舗装版のみの厚さである。

道路付属物設置工～路面切削工

舗装版破碎工

(略)

① 舗装版破碎（障害無し）

(1) アスファルト舗装版

障害等の有無	騒音振動対策	舗装版厚	作業日当たり標準作業量		
			直接掘削・積込作業	舗装版破碎作業	掘削・積込作業
無し	不要	15cm以下	510 m ² ／日	—	—
		15cmを超え40cm以下	—	310 m ² ／日	370 m ² ／日
		15cm以下	—	260 m ² ／日	490 m ² ／日
	必要	15cmを超え35cm以下	—	180 m ² ／日	370 m ² ／日

(2) コンクリート舗装版

騒音振動対策	舗装版厚	作業日当たり標準作業量		
		直接掘削・積込作業	舗装版破碎作業	掘削・積込作業
不要	15cm以下	510 m ² ／日	—	—
	15cmを超え35cm以下	—	230 m ² ／日	260 m ² ／日
必要	15cm以下	—	190 m ² ／日	320 m ² ／日
	15cmを超え35cm以下	—	150 m ² ／日	260 m ² ／日

(3) (略)

② (略)

舗装版切断工

① 舗装版切断

(1) アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚	作業日当たり標準作業量
15cm以下	230 m／日
15cmを超え30cm以下	130 m／日
30cmを超え40cm以下	80 m／日

(2) コンクリート舗装版、コンクリート＋アスファルト（カバー）舗装版

コンクリート舗装版厚	作業日当たり標準作業量
15cm以下	150 m／日
15cmを超え30cm以下	70 m／日

(注) コンクリート＋アスファルト（カバー）舗装版の場合、舗装版厚はコンクリート舗装版のみの厚さである。

舗装版クラック補修工・橋梁補強工（鋼板巻立て） （１） （２）	（略）												
橋梁補強工（コンクリート巻立て） （１） （２）	<div>① 橋梁補強工（コンクリート巻立て）</div> <table><tr><td>作 業 種 別</td><td>作業日当たり標準作業量</td></tr><tr><td>足場設置・撤去(枠組足場(手摺先行型))</td><td><u>64 掛</u>m²／日</td></tr><tr><td>下地処理</td><td><u>32 m²</u>／日</td></tr><tr><td>一般型枠製作・設置・撤去</td><td><u>23 m²</u>／日</td></tr><tr><td>合板円形型枠製作・設置・撤去</td><td><u>12 m²</u>／日</td></tr><tr><td>コンクリート打設</td><td><u>38 m³</u>／日</td></tr></table> <div>（略）</div>	作 業 種 別	作業日当たり標準作業量	足場設置・撤去(枠組足場(手摺先行型))	<u>64 掛</u> m ² ／日	下地処理	<u>32 m²</u> ／日	一般型枠製作・設置・撤去	<u>23 m²</u> ／日	合板円形型枠製作・設置・撤去	<u>12 m²</u> ／日	コンクリート打設	<u>38 m³</u> ／日
作 業 種 別	作業日当たり標準作業量												
足場設置・撤去(枠組足場(手摺先行型))	<u>64 掛</u> m ² ／日												
下地処理	<u>32 m²</u> ／日												
一般型枠製作・設置・撤去	<u>23 m²</u> ／日												
合板円形型枠製作・設置・撤去	<u>12 m²</u> ／日												
コンクリート打設	<u>38 m³</u> ／日												
橋梁地覆補修工～落橋防止装置工	（略）												
（削る。）	<div>（削る。）</div> <div>（削る。）</div>												
道路除草工～集水桝清掃工（人力清掃工）	（略）												
トンネル漏水対策工	<div>① 面導水</div> <table><tr><td>作業日当たり標準作業量</td><td><u>34 m²</u>／日</td></tr></table> <div>② 線導水</div> <table><tr><td>作業日当たり標準作業量</td><td><u>10 m</u>／日</td></tr></table>	作業日当たり標準作業量	<u>34 m²</u> ／日	作業日当たり標準作業量	<u>10 m</u> ／日								
作業日当たり標準作業量	<u>34 m²</u> ／日												
作業日当たり標準作業量	<u>10 m</u> ／日												
沓座拡張工～橋梁排水管設置工	（略）												

舗装版クラック補修工・橋梁補強工（鋼板巻立て） （１） （２）	（略）												
橋梁補強工（コンクリート巻立て） （１） （２）	<div>① 橋梁補強工（コンクリート巻立て）</div> <table><tr><td>作 業 種 別</td><td>作業日当たり標準作業量</td></tr><tr><td>足場設置・撤去(枠組足場(手摺先行型))</td><td><u>72 掛</u>m²／日</td></tr><tr><td>下地処理</td><td><u>36 m²</u>／日</td></tr><tr><td>一般型枠製作・設置・撤去</td><td><u>26 m²</u>／日</td></tr><tr><td>合板円形型枠製作・設置・撤去</td><td><u>13 m²</u>／日</td></tr><tr><td>コンクリート打設</td><td><u>43 m³</u>／日</td></tr></table> <div>（略）</div>	作 業 種 別	作業日当たり標準作業量	足場設置・撤去(枠組足場(手摺先行型))	<u>72 掛</u> m ² ／日	下地処理	<u>36 m²</u> ／日	一般型枠製作・設置・撤去	<u>26 m²</u> ／日	合板円形型枠製作・設置・撤去	<u>13 m²</u> ／日	コンクリート打設	<u>43 m³</u> ／日
作 業 種 別	作業日当たり標準作業量												
足場設置・撤去(枠組足場(手摺先行型))	<u>72 掛</u> m ² ／日												
下地処理	<u>36 m²</u> ／日												
一般型枠製作・設置・撤去	<u>26 m²</u> ／日												
合板円形型枠製作・設置・撤去	<u>13 m²</u> ／日												
コンクリート打設	<u>43 m³</u> ／日												
橋梁地覆補修工～落橋防止装置工	（略）												
トンネル漏水対策工	<div>① 面導水</div> <table><tr><td>作業日当たり標準作業量</td><td><u>34 m²</u>／日</td></tr></table> <div>② 線導水</div> <table><tr><td>作業日当たり標準作業量</td><td><u>10 m</u>／日</td></tr></table>	作業日当たり標準作業量	<u>34 m²</u> ／日	作業日当たり標準作業量	<u>10 m</u> ／日								
作業日当たり標準作業量	<u>34 m²</u> ／日												
作業日当たり標準作業量	<u>10 m</u> ／日												
道路除草工～集水桝清掃工（人力清掃工）	（略）												
（新設）	<div>（新設）</div> <div>（新設）</div>												
沓座拡張工～橋梁排水管設置工	（略）												

現場発生
品及び支
給品運搬

(削る。)

現場発生
品及び支
給品運搬

① 現場発生品・支給品運搬

片道運搬 距離	1回当たり 平均積載質量	作業日当たり 標準作業量	片道運搬 距離	1回当たり 平均積載質量	作業日当たり 標準作業量	
2.0km 以下	0.1t 以下	73 回/日	14.0km	2.0t 超 2.6t 以下	4.3 回/日	
	0.1t 超 0.2t 以下	56 回/日	以下	2.6t 超 2.95t 以下	4.0 回/日	
	0.2t 超 0.3t 以下	45 回/日	20.0km 以下	0.1t 以下	5.1 回/日	
	0.3t 超 0.5t 以下	35 回/日		0.1t 超 0.2t 以下	5.0 回/日	
	0.5t 超 0.8t 以下	25 回/日		0.2t 超 0.3t 以下	4.8 回/日	
	0.8t 超 1.1t 以下	19 回/日		0.3t 超 0.5t 以下	4.7 回/日	
	1.1t 超 1.5t 以下	15 回/日		0.5t 超 0.8t 以下	4.5 回/日	
	1.5t 超 2.0t 以下	12 回/日		0.8t 超 1.1t 以下	4.2 回/日	
	2.0t 超 2.6t 以下	9.0 回/日		1.1t 超 1.5t 以下	4.0 回/日	
	2.6t 超 2.95t 以下	7.6 回/日		1.5t 超 2.0t 以下	3.7 回/日	
5.0km 以下	0.1t 以下	24 回/日		27.0km 以下	2.0t 超 2.6t 以下	3.4 回/日
	0.1t 超 0.2t 以下	21 回/日			2.6t 超 2.95t 以下	3.2 回/日
	0.2t 超 0.3t 以下	20 回/日	0.1t 以下		3.7 回/日	
	0.3t 超 0.5t 以下	17 回/日	0.1t 超 0.3t 以下		3.6 回/日	
	0.5t 超 0.8t 以下	15 回/日	0.3t 超 0.5t 以下		3.5 回/日	
	0.8t 超 1.1t 以下	12 回/日	0.5t 超 0.8t 以下		3.4 回/日	
	1.1t 超 1.5t 以下	10 回/日	0.8t 超 1.1t 以下		3.2 回/日	
	1.5t 超 2.0t 以下	8.6 回/日	1.1t 超 1.5t 以下		3.1 回/日	
	2.0t 超 2.6t 以下	7.2 回/日	1.5t 超 2.0t 以下		2.9 回/日	
	2.6t 超 2.95t 以下	6.3 回/日	2.0t 超 2.6t 以下		2.7 回/日	
9.0km 以下	0.2t 以下	12 回/日	35.0km 以下	2.6t 超 2.95t 以下	2.6 回/日	
	0.2t 超 0.3t 以下	11 回/日		0.2t 以下	2.8 回/日	
	0.3t 超 0.5t 以下	10 回/日		0.2t 超 0.5t 以下	2.7 回/日	
	0.5t 超 0.8t 以下	9.2 回/日		0.5t 超 0.8t 以下	2.6 回/日	
	0.8t 超 1.1t 以下	8.2 回/日		0.8t 超 1.1t 以下	2.5 回/日	
	1.1t 超 1.5t 以下	7.3 回/日		1.1t 超 1.5t 以下	2.4 回/日	
	1.5t 超 2.0t 以下	6.4 回/日		1.5t 超 2.0t 以下	2.3 回/日	
	2.0t 超 2.6t 以下	5.6 回/日		2.0t 超 2.6t 以下	2.2 回/日	
	2.6t 超 2.95t 以下	5.0 回/日		2.6t 超 2.95t 以下	2.1 回/日	
14.0km 以下	0.1t 以下	7.4 回/日	46.0km 以下	0.5t 以下	2.1 回/日	
	0.1t 超 0.2t 以下	7.2 回/日		0.5t 超 1.1t 以下	2.0 回/日	
	0.2t 超 0.3t 以下	7.0 回/日		1.1t 超 1.5t 以下	1.9 回/日	
	0.3t 超 0.5t 以下	6.7 回/日		1.5t 超 2.6t 以下	1.8 回/日	
	0.5t 超 0.8t 以下	6.2 回/日		2.6t 超 2.95t 以下	1.7 回/日	
	0.8t 超 1.1t 以下	5.8 回/日	60.0km 以下	0.8t 以下	1.6 回/日	
	1.1t 超 1.5t 以下	5.3 回/日		0.8t 超 2.0t 以下	1.5 回/日	
	1.5t 超 2.0t 以下	4.8 回/日		2.0t 超 2.95t 以下	1.4 回/日	

	① 現場発生品及び支給品積み込み・荷卸し			(新設)																																																																							
	作業日当たり標準作業量	7.2t/日																																																																									
	② 現場発生品及び支給品運搬			(新設)																																																																							
	<table><tr><th>DID 区間の有無</th><th>運搬距離</th><th>作業日当たり標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="17">運搬距離</td><td>2.0km 以下</td><td>70t/日</td></tr><tr><td>4.0km 以下</td><td>35t/日</td></tr><tr><td>6.0km 以下</td><td>23t/日</td></tr><tr><td>8.5km 以下</td><td>16t/日</td></tr><tr><td>11.0km 以下</td><td>13t/日</td></tr><tr><td>14.0km 以下</td><td>10t/日</td></tr><tr><td>17.0km 以下</td><td>8.2t/日</td></tr><tr><td>20.5km 以下</td><td>6.8t/日</td></tr><tr><td>24.0km 以下</td><td>5.8t/日</td></tr><tr><td>28.0km 以下</td><td>5.0t/日</td></tr><tr><td>32.5km 以下</td><td>4.3t/日</td></tr><tr><td>37.5km 以下</td><td>3.7t/日</td></tr><tr><td>43.0km 以下</td><td>3.2t/日</td></tr><tr><td>49.0km 以下</td><td>2.8t/日</td></tr><tr><td>55.5km 以下</td><td>2.5t/日</td></tr><tr><td>62.5km 以下</td><td>2.2t/日</td></tr><tr><td>65.0km 以下</td><td>2.1t/日</td></tr><tr><td rowspan="17">運搬距離</td><td>1.5km 以下</td><td>82t/日</td></tr><tr><td>3.0km 以下</td><td>41t/日</td></tr><tr><td>5.0km 以下</td><td>25t/日</td></tr><tr><td>7.0km 以下</td><td>18t/日</td></tr><tr><td>9.0km 以下</td><td>14t/日</td></tr><tr><td>11.5km 以下</td><td>11t/日</td></tr><tr><td>14.0km 以下</td><td>8.8t/日</td></tr><tr><td>17.0km 以下</td><td>7.3t/日</td></tr><tr><td>20.0km 以下</td><td>6.2t/日</td></tr><tr><td>23.5km 以下</td><td>5.3t/日</td></tr><tr><td>27.5km 以下</td><td>4.5t/日</td></tr><tr><td>31.5km 以下</td><td>3.9t/日</td></tr><tr><td>36.0km 以下</td><td>3.4t/日</td></tr><tr><td>41.0km 以下</td><td>3.0t/日</td></tr><tr><td>46.5km 以下</td><td>2.7t/日</td></tr><tr><td>52.5km 以下</td><td>2.4t/日</td></tr><tr><td>59.0km 以下</td><td>2.1t/日</td></tr><tr><td>65.0km 以下</td><td>1.9t/日</td></tr></table>	DID 区間の有無			運搬距離	作業日当たり標準作業量	運搬距離	2.0km 以下	70t/日	4.0km 以下	35t/日	6.0km 以下	23t/日	8.5km 以下	16t/日	11.0km 以下	13t/日	14.0km 以下	10t/日	17.0km 以下	8.2t/日	20.5km 以下	6.8t/日	24.0km 以下	5.8t/日	28.0km 以下	5.0t/日	32.5km 以下	4.3t/日	37.5km 以下	3.7t/日	43.0km 以下	3.2t/日	49.0km 以下	2.8t/日	55.5km 以下	2.5t/日	62.5km 以下	2.2t/日	65.0km 以下	2.1t/日	運搬距離	1.5km 以下	82t/日	3.0km 以下	41t/日	5.0km 以下	25t/日	7.0km 以下	18t/日	9.0km 以下	14t/日	11.5km 以下	11t/日	14.0km 以下	8.8t/日	17.0km 以下	7.3t/日	20.0km 以下	6.2t/日	23.5km 以下	5.3t/日	27.5km 以下	4.5t/日	31.5km 以下	3.9t/日	36.0km 以下	3.4t/日	41.0km 以下	3.0t/日	46.5km 以下	2.7t/日	52.5km 以下	2.4t/日	59.0km 以下
DID 区間の有無	運搬距離	作業日当たり標準作業量																																																																									
運搬距離	2.0km 以下	70t/日																																																																									
	4.0km 以下	35t/日																																																																									
	6.0km 以下	23t/日																																																																									
	8.5km 以下	16t/日																																																																									
	11.0km 以下	13t/日																																																																									
	14.0km 以下	10t/日																																																																									
	17.0km 以下	8.2t/日																																																																									
	20.5km 以下	6.8t/日																																																																									
	24.0km 以下	5.8t/日																																																																									
	28.0km 以下	5.0t/日																																																																									
	32.5km 以下	4.3t/日																																																																									
	37.5km 以下	3.7t/日																																																																									
	43.0km 以下	3.2t/日																																																																									
	49.0km 以下	2.8t/日																																																																									
	55.5km 以下	2.5t/日																																																																									
	62.5km 以下	2.2t/日																																																																									
	65.0km 以下	2.1t/日																																																																									
運搬距離	1.5km 以下	82t/日																																																																									
	3.0km 以下	41t/日																																																																									
	5.0km 以下	25t/日																																																																									
	7.0km 以下	18t/日																																																																									
	9.0km 以下	14t/日																																																																									
	11.5km 以下	11t/日																																																																									
	14.0km 以下	8.8t/日																																																																									
	17.0km 以下	7.3t/日																																																																									
	20.0km 以下	6.2t/日																																																																									
	23.5km 以下	5.3t/日																																																																									
	27.5km 以下	4.5t/日																																																																									
	31.5km 以下	3.9t/日																																																																									
	36.0km 以下	3.4t/日																																																																									
	41.0km 以下	3.0t/日																																																																									
	46.5km 以下	2.7t/日																																																																									
	52.5km 以下	2.4t/日																																																																									
	59.0km 以下	2.1t/日																																																																									
65.0km 以下	1.9t/日																																																																										
③ (略)			③ (略)																																																																								

附 則
この通知は、令和 7 年 4 月 1 日から適用する。